

令和7年度老人保健事業推進費等補助金  
老人保健健康増進等事業

広域的長期浸水（湛水）・液状化被害による長期孤立が予測される  
海拔ゼロメートル地帯における  
災害時福祉医療連携ネットワークモデルの作成を目指した  
調査研究事業

調査研究報告書

学校法人 愛知医科大学  
令和8年（2026）年3月



# 目 次

はじめに	1
I 海拔ゼロメートル地帯災害時福祉医療連携ネットワーク検討委員会の設置	2
1 検討委員会構成	2
(1) 検討委員	
(2) 事業協力機関	
(3) 事業連携機関	
2 検討経過	3
(1) 第1回検討委員会	
(2) 第2回検討委員会	
II DH-Wins アプリ・アクションプランの改訂	7
1 令和7年度システム概要	7
(1) 平時	
(2) 災害時	
(3) DX化システムの構築	
2 アプリ改変事項	9
3 アクションプラン	10
4 DH-Wins の広報	10
III 普及啓発研修の実施	11
1 研修会	11
(1) 研修会名	
(2) 研修方法	
(3) 研修結果	
(4) 考察	
2 実証訓練	13
(1) 実施日時	
(2) 訓練場所	
(3) 訓練用資機材	
(4) 訓練参加者	
(5) 訓練想定	
(6) 訓練時程と訓練項目	
(7) 訓練結果	
(8) 検証会	
(9) 考察	

IV	DH-Wins 活用マニュアル	18
1	DH-Wins 活用効果	18
	(1) 平時	
	(2) 災害時	
2	活用マニュアルの概要	18
	結語 (Summary) DH-Wins の実装化を目指して	20

..... 資料編 .....

別紙 1	第 1 回 海拔ゼロメートル地帯災害時福祉医療連携ネットワーク 検討委員会議事録	1
別紙 1-2	第 1 回 検討委員会出席者名簿	5
別紙 2	第 2 回 海拔ゼロメートル地帯災害時福祉医療連携ネットワーク 検討委員会議事録	6
別紙 2-2	第 2 回 検討委員会出席者名簿	11
別紙 3	DH-Wins 開発報道記事	12
別紙 4	研修開催案内文	13
別紙 5	研修参加者一覧	20
別紙 6	講義資料	21
別紙 7	実習資料	42

## はじめに

南海トラフ地震等激甚災害では、被害が広域的かつ甚大となり、海拔ゼロメートル地帯などの低地では浸水した津波が滞り、ライフライン供給も途絶することが予測され、その地域に所在する高齢者介護施設等は長期間の孤立状態となり、早急な公的支援が求められます。

このような背景から、令和6年度の調査研究事業では、愛知県西部海拔ゼロメートル地帯を対象にモデル地域として効果的支援が行える「災害時福祉医療連携ネットワークモデル」構築を目指し、災害時保健医療福祉情報連携ネットワークシステム「DH-Wins (Disaster Healthcare & Welfare Information Network System)」を開発し、実証訓練により有効性を確認してきました。

本年度につきましては、既存成果を踏まえて、DH-Winsの機能拡張・実用化・普及展開を柱として検討委員会の設置、DH-Winsアプリ・アクションプランの改訂、並びに普及啓発のための研修会・訓練により、DH-Winsの実装化を目指して事業展開を行ってききましたので、その成果を報告書としてその事業経過をまとめました。

### 令和7年度厚生労働省老人保健健康増進等事業

広域的長期浸水（湛水）・液状化被害による長期孤立が予測される海拔ゼロメートル地帯における災害時福祉医療連携ネットワークモデルの作成を目指した調査研究事業

実施者

愛知医科大学災害医療研究センター

教 授 津 田 雅 庸  
講 師 小 澤 和 弘  
講 師 高 橋 礼 子  
助 教 柴 田 隼 人

## I 海抜ゼロメートル地帯災害時福祉医療連携ネットワーク検討委員会の設置

本委員会は、施設・自治体・医療機関の管理者または管理者相当の者で構成し、災害時保健医療福祉情報連携ネットワークシステム(DH-Wins)の実装を目指し、DH-Winsの改良に関する意見交換、事前情報登録の標準化、要避難者の移動状況の把握・管理手法を協議した。

### 1 検討委員会構成(敬称略) ○は委員長(議長)

#### (1) 検討委員

(事業実施主体者)

○愛知医科大学災害医療研究センター	教 授	津 田 雅 庸
愛知医科大学災害医療研究センター	講 師	小 澤 和 弘
愛知医科大学災害医療研究センター	講 師	高 橋 礼 子
愛知医科大学災害医療研究センター	助 教	柴 田 隼 人
愛 知 医 科 大 学 看 護 学 部	准 教 授	坂 田 久 美 子
愛 知 医 科 大 学 総 務 部	部 長	大 西 功

(医療関係者)

名 古 屋 掖 濟 会 病 院	院 長	北 川 喜 己
名 古 屋 掖 濟 会 病 院	救急科医長	萩 原 康 友
日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院	健康管理センター長	花 木 芳 洋

(行政関係者)

名古屋市健康福祉局高齢福祉部介護保険課	課 長	武 藤 吉 晃
名古屋市健康福祉局監査課	課 長	黒 坂 貴 光
名古屋市健康福祉局健康部保健医療課	担当課長	森 本 隆 史
津島市総合政策部危機管理課	次 長	角 田 達 哉
津島市福祉部高齢介護課	課 長	足 立 賢 一
愛西市企画政策部危機管理課	課 長	山 田 光 正
愛西市保険福祉部高齢福祉課	課 長	八 木 久 美 子
弥富市総務部防災課	課 長	太 田 高 士
弥富市健康福祉部介護高齢課	課 長	富 居 利 彦
あま市市長公室危機管理課	課 長	平 野 誠
あま市福祉部高齢福祉課	課 長	國 立 強 志
大治町総務部防災危機管理課	課長補佐	水 野 敦 司
大治町福祉部長寿支援課	課長補佐	山 田 紘 史
蟹江町総務部安心安全課	課 長	森 実 央
蟹江町民生部介護福祉課	課 長	松 井 智 恵 子
飛島村民生部福祉課	課 長	加 藤 悦 久
飛島村総務部総務課	課 長	鷲 尾 成 二

### (高齢者介護施設)

名古屋市；医療法人親和会老人保健施設松和苑	通所介護部門長	池田孝
津島市；社会福祉法人高久会ケアハウス陽だまりの里	主任相談員	中野高史
愛西市；複合介護施設悠縁（グループホーム悠縁）	施設管理部長	西尾幸尚
弥富市；特別養護老人ホームにじいろあすなろ	生活相談員	横道知里
あま市；医療法人フジタグループホーム「ポプラ」	管理者	金井ちずえ
あま市；小規模多機能型居宅介護施設「ふくじゅそう」	管理者	松永紀美
大治町；特別養護老人ホーム希望の郷大治	施設長	岩田大助
蟹江町；特別養護老人ホームカリヨンの郷「新千秋」	介護リーダー	太田あゆみ
飛島村；特別養護老人ホームやすらぎの里	相談員	黒木貴哉

### (2) 事業協力機関

国立健康危機管理研究機構危機管理・運営局 DMAT 事務局 医師 是枝大輔  
国土交通省中部地方整備局  
愛知県福祉局、愛知県保健医療局、愛知県防災安全局

### (3) 事業連携機関

厚生労働省東海北陸厚生局

#### 【事務局】

愛知医科大学災害医療研究センター 牧野久美子、岡田万由子  
愛知医科大学大学総務課 舘陽平、山田奈保子

## 2 検討経過

### (1) 第1回検討委員会

- ① 開催日時；令和7年7月11日（金）午後2時から午後3時15分まで
- ② 開催場所；東海北陸厚生局 名古屋合同庁舎第3号館7階共用会議室
- ③ 出席者；42名  
(内訳) 市町村 11名、医療機関2名、施設7名、協力機関10名、  
連携機関4名、事業主体者5名、事務局3名
- ④ 議 件
  - 1) 令和7年度厚生労働省老人保健健康増進等事業の採択について
  - 2) 検討委員紹介及び委員長の選出について
  - 3) 事業概要・スケジュールについて
    - a. 老健事業の事業経過について
    - b. 令和7年度事業について（審議）
    - c. DH-Wins アプリの改変について（審議）
    - d. 検討委員施設訪問計画について

- 4) 事務連絡について
- 5) その他
- ⑤ 結 果；資料編別紙 1 のとおり

**(2) 第 2 回検討委員会**

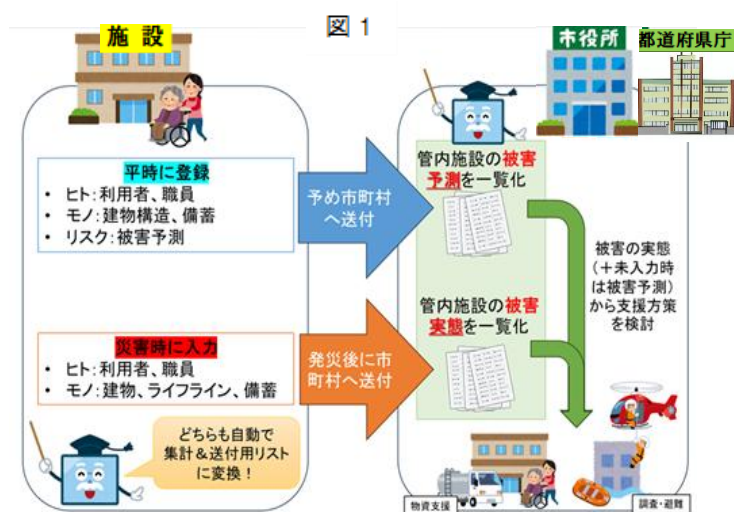
- ① 開催日時；令和 8 年 2 月 13 日（金）午前 10 時 30 分から午前 11 時 38 分まで
- ② 開催場所；ウィルあいち特別会議室（名古屋市東区上堅杉町 1 番地）
- ③ 出席者；34 名  
(内訳) 市町村 7 名、医療機関 2 名、施設 7 名、協力機関 8 名、連携機関 2 名、事業主体者 5 名、事務局 3 名
- ④ 議 件
  - 1) 事業経過について
    - a. 第 1 回検討委員会について
    - b. DH-Wins 活用マニュアル・アプリの改訂について（審議）
    - c. 研修会について
    - d. 実証訓練による運用検証について
    - e. 報告書・成果物について（審議）
  - 2) 災害時保健医療福祉情報連携ネットワークシステム（DH-Wins）の運用について
    - a. DH-Wins の評価について（審議）
    - b. 今後の運用に向けての方策（審議）
  - 3) その他
- ⑤ 結 果；資料編別紙 2 のとおり

## II. DH-Wins アプリ・アクションプランの改訂

令和6年度老人保健健康増進等事業で開発した DH-Wins は、南海トラフ地震等の大規模災害では、施設・自治体・医療機関間の効率的な情報共有ツールであることが立証されたが、発災直後に施設・市町村ともこれだけの行動が行えるかの疑問が生じたことから、令和7年度では施設情報の事前入力を可能にし、施設・市町村ともリスク評価が行え、BCP 改変にも反映するシステムとし、それに対応するアプリに改変した。

### 1 令和7年度システム概要

図1に示すとおり施設の人・物・リスクに関わる情報を平時登録、災害時入力と分別した。



#### (1) 平時

##### ① 施設

- ・ 利用者・職員、建物構造、備蓄状況、ハザードマップ値を入力することにより、リスク評価をアプリで算定
- ・ その結果に基づき BCP に反映させるとともに市町村へ送付登録

##### ② 市町村・都道府県

- ・ 施設情報を収受し、被害予測をアプリ集計により一覧化
- ・ 管内施設の被害予測、支援見積をアプリにて表示
- ・ 市町村は管内被害予測を都道府県に送付

#### (2) 災害時

##### ① 施設

- ・ 平時入力したアプリを基に利用者・職員、建物、ライフライン被害状況及び備蓄状況を入力
- ・ 発災直後は緊急情報として建物損壊状況・職員利用者安否状況を入力し、市町村へ送付
- ・ その後の被害状況は詳細情報として入力し、市町村へ送付

② 市町村・都道府県

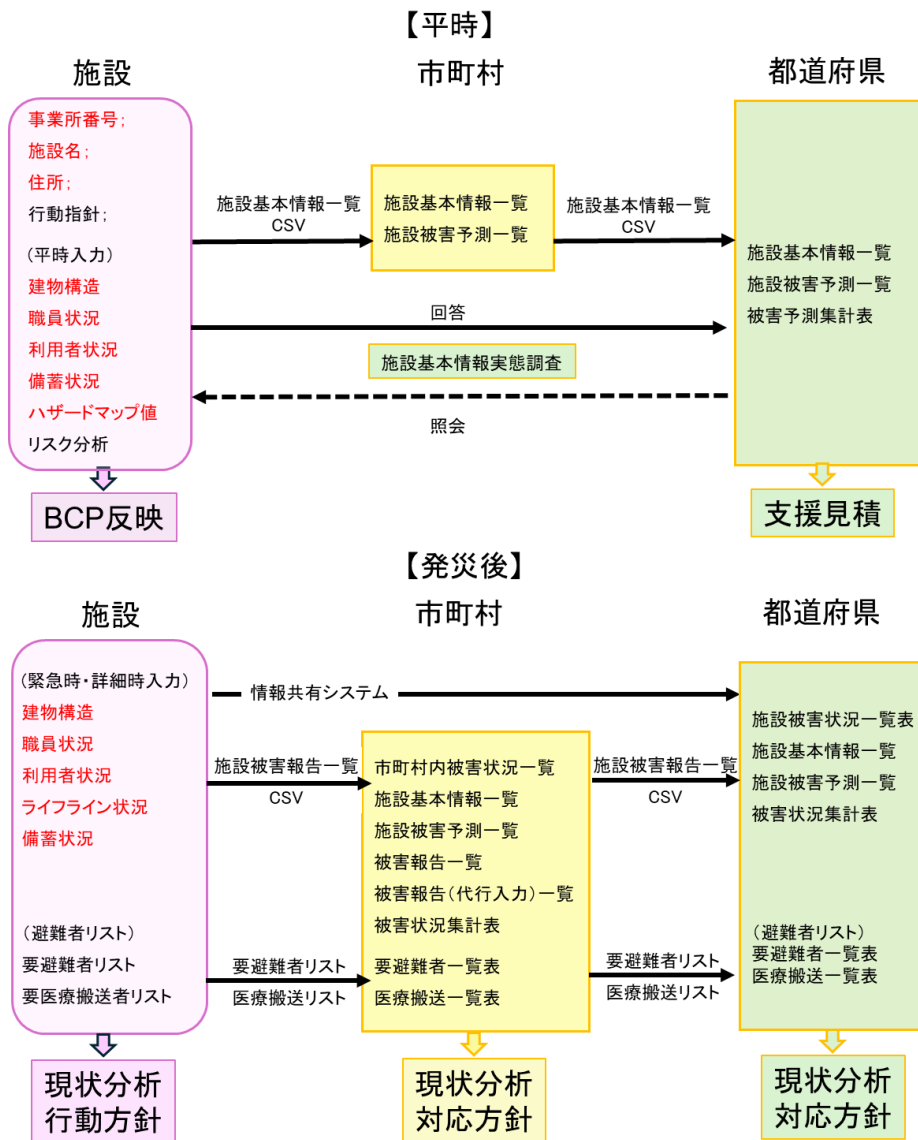
- ・ 施設被害状況を収受し、管内被害状況をアプリ集計により一覧化
- ・ 管内施設の行動計画、施設への支援内容をアプリにて表示
- ・ 市町村は管内被害状況を都道府県に送付

(3) DX化システムの構築

図2に示すとおり、施設で入力したデータを蓄積共有し、アプリが施設の行動方針、市町村・都道府県の支援方針等を算定表示することにより、施設・支援側の対応方針判断が迅速に行える情報共有システムとした。

図2 DH-Wins データ共有・対応方針検討の流れ

※ 赤字は入力項目、黒字はアプリ算定表示



## 2 アプリ改変事項

上記図1のシステム運用をより円滑に行うため、令和6年度に開発したアプリ（Ver2025）を表1のとおり改変した。

なお、アプリ改変作業は事業実施者がアプリ構成案を企画し、その内容をもとに令和6年度と同一の業者にアプリ（Ver2026）改変を委託した。

表1 DH-Wins アプリ Ver2025 と Ver2026 の比較

項目	対象	Ver2025	Ver2026	改変事由
アプリ仕様	施設	HTML	Microsoft Excell	入力に時間を要する。集計表が見づらい
アプリ活用にあって	共通	×	○	PC内での環境整備のため
平時・緊急時・詳細時区分の明確化	施設	混在	分割	発災後緊急時・詳細時の行動軽減のため
INDEX居住市町村区	施設編	×	選択入力	都道府県、市町村集計で活用するため
職員職種選択項目	施設編	9項目	11項目	研修会にてケアマネ、栄養士の追加依頼により追加
施設登録	市町村 都道府県	CSV読込	CSV読込、多量データ貼付	管理対象施設が多数あるため 別に行う実態調査データを反映するため
施設登録事業所番号	市町村 都道府県	CSV読込	施設基本情報欄に登録	施設基本情報を基幹シートとするため
現状分析と対策	共通	現状分析シート	現状分析シート記載例	具体的内容を説明呈示
リスク分析	施設	×	リスク分析サマリ BCP反映例	リスク分析するだけでなく、分析結果のBCP反映例を記載
支援優先順位と行動例	市町村 都道府県	×	○	集計機能を利用した分析結果から行う優先順位、支援要請方法例を表示
被害状況(予測)集計	市町村 都道府県	×	○	管轄エリアの被害状況を把握するために施設形態別の自動表示される被害状況表を作成 名古屋市は行政区別、愛知県は医療圏別、市町村別を追記

### 3 アクションプラン

データ共有・対応方針検討を実装するため、入力項目の把握方法、集計データの算定根拠、活用方法を具体的に記載したアクションプランを DH-Wins 活用マニュアルとして作成した。

DH-Wins 活用マニュアルの記載内容はIV章で示す。

### 4 DH-Wins の広報

DH-Wins の開発状況がマスコミに取り上げられた。(資料編 別紙3 参照)

### Ⅲ 普及啓発研修の実施

#### 1 研修会

高齢者施設職員、管轄市町村を対象に、リスク分析と BCP 反映、DH-Wins を活用した災害情報伝達までを含む講義・演習型研修を実施し、DH-Wins 活用方法を習得するだけでなく南海トラフ地震等激甚災害時の自施設評価を行い BCP との相違検証を行った。

##### (1) 研修会名

高齢者施設災害対応研修～命をつなぐ情報共有と BCP 強化～  
(研修案内は資料編別紙 4 参照)

##### (2) 研修方法

海拔ゼロメートル地帯災害時福祉医療連携ネットワーク検討委員の市町村、市町村管轄の高齢者介護施設を対象に、検討委員医師、事業主体者を講師として 3 対象地域で行った。

##### ① 実施日時（対象地域）

- ・ 第 1 回；令和 7 年 10 月 10 日（金）14 時～16 時（津島市、あま市、大治町）
- ・ 第 2 回；令和 7 年 10 月 17 日（金）14 時～16 時（愛西市、弥富市、蟹江町、飛島村）
- ・ 第 3 回；令和 7 年 10 月 24 日（金）14 時～16 時（名古屋市）

##### ② 実施場所

- ・ 第 1 回；あま市役所 E 会議室
- ・ 第 2 回；愛西市役所南館 1-3・1-4 会議室
- ・ 第 3 回；ウィルあいち特別会議室

##### ③ 参加者（詳細は資料編別紙 5 参照）

- ・ 第 1 回；11 名（内訳市町村職員 4 名、施設職員 7 名）
- ・ 第 2 回；13 名（内訳市町村職員 4 名、施設職員 9 名）
- ・ 第 3 回；12 名（内訳市町村職員 2 名、施設職員 10 名）

##### ④ 研修方法プログラム

- 講義 BCP と情報共有システム（15 分）
- 講義 愛知県西部の被害予測（15 分）
- 実習 1 施設の被害状況予測と災害対応（30 分）  
平時シート入力、ハザードマップ参照したリスク分析
- 実習 2 地震想定に基づく初動対応（10 分）  
被害想定に基づく緊急情報入力
- 実習 3 利用者、職員の管理（30 分）  
平時入力・緊急入力シートを活用した詳細入力と現状分析  
施設活動方針検討と市町村に施設被害状況の報告

（講義・実習用資料は資料編別紙 6・7 参照）

### (3) 研修結果

研修後のアンケート結果ではリスク分析は BCP を発動するうえで、有用であったとの意見が参加者 20 名中 18 名と大多数を占めたが、液状化リスクを検討していない施設が半数ほどある状況であった。

また、PC・アプリの扱いについては、実習時間が短かったこともあり、消化不良となった感があり、視聴覚による教材作成、可視化などの視認性向上などの入力しやすいシステムへの改善要望が少数あった。

### (4) 考 察

研修参加者である愛知県西部の地域は地形的特徴から巨大地震がくれば、震度、津波湛水だけでなく、液状化危険度が非常に高いが、愛知県西部には 1944 年の東南海地震以降被災がなく、また、他地震への支援経験も少なく、参加者は被災イメージがなされない状況であった。

そのため、BCP についてもハザードマップによる震度分布、津波浸水位は考慮するも、液状化による道路損壊、ライフライン停止、職員の参集状況については具体的に記載されていないことが伺えた。

近年巨大地震の被災がなく被害甚大予測地域においても被災イメージが明確にされないことが考えられることから、実効性のある BCP を目指すには研修会等で自施設・地域のリスク評価を把握できる研修会が必要と示唆された。

また、AI、ICT、DX が発達している現在、DX 化するシステムは有効であるが、ユーザの慣れ、必要経費の課題があり、これを解決するには机上演習、訓練等で DX 化システムの普及が必要と示唆された。

## 2 実証訓練

アプリ内容を研修会であげられた項目について改変を行い、「令和7年度老健事業 DH-Wins アプリ・システム検証実証訓練」として南海トラフ地震陸側強震動生成域で M9 の地震発生を想定し、行動類似体験、被害状況の把握と情報共有の在り方の検証、DH-Wins の施行運用と検証を目的として行った。

本実証訓練は令和7年度愛知県南海トラフ地震時医療活動訓練に参画実施され、事業協力機関である愛知県福祉局、保健医療局との連携も視野に入れて行った。

訓練実施後半では県-市町村間での web ミーティングを想定し、発災時の情報共有の在り方や事前情報収集についても討議した。

### (1) 実施日時

令和8年1月21日（水）午後0時30分～午後5時00分

### (2) 訓練場所

市町村：愛知県自治センター4階第2会議室

施設：自施設（平時入力、発災後入力を事前に行い、市町村に送信）

### (3) 訓練用資機材

#### ▶ 訓練参加者用

##### ◇ 施設

施設編 DH-Wins 活用マニュアル、DH-Wins アプリを事前配付

##### ◇ 海部地区6市町村

市町村用 DH-Wins 活用マニュアル、市町村用 DH-Wins アプリインストール  
済 PC

##### ◇ 名古屋市

市町村用 DH-Wins 活用マニュアル、政令市用 DH-Wins アプリインストール  
済 PC

#### ▶ 各会場設置機材

Wi-Fi、PC、ホワイトボード、ラインティングシート

会場はレンタル Wi-Fi により通信環境を確保

#### ▶ その他

各仮想市町村メールアドレスを事前配付

### (4) 訓練参加者

愛知県、名古屋市、津島市、弥富市、愛西市、あま市、蟹江町、大治町、飛島村の職員及び市町村管内高齢者介護施設の職員

## (5) 訓練想定

南海トラフ地震陸側強震動生成域で M9 の地震発生とし、時程、被害状況は下記のとおりとした。

(時程)

令和8年1月20日9時00分 南海トラフ地震陸側強震動生成域でM9の地震発生

10時00分 大津波警報発令

10時30分 愛知県外海沿岸部に津波到達

11時00分 愛知県内海沿岸部に津波到達

(震源地)

太平洋(遠州灘)沖南海トラフ地震陸側強震動生成域

(最大震度)

震度7:尾張西部、知多半島、西三河南部、東三河南部

震度6強:名古屋市、尾張東部、西三河北部、

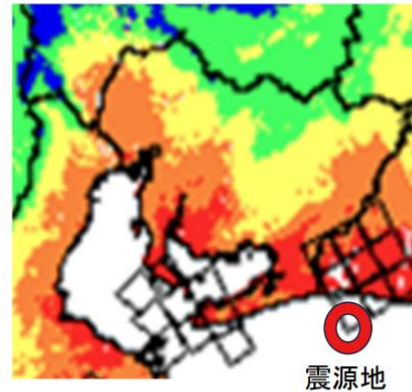
震度6弱:尾張北部、名古屋市、尾張東部、西三河北部、東三河北部

(市町村別震度)

震度7、6強:弥富市

震度6強:名古屋市西部、津島市、愛西市、あま市、蟹江町、大治町、飛島村

震度6弱:名古屋市東部



(ライフライン) 21日11時現在

電 気: 愛知県全域停電、復旧の見込みみたず

水 道: 愛知県全域停電、復旧の見込みみたず

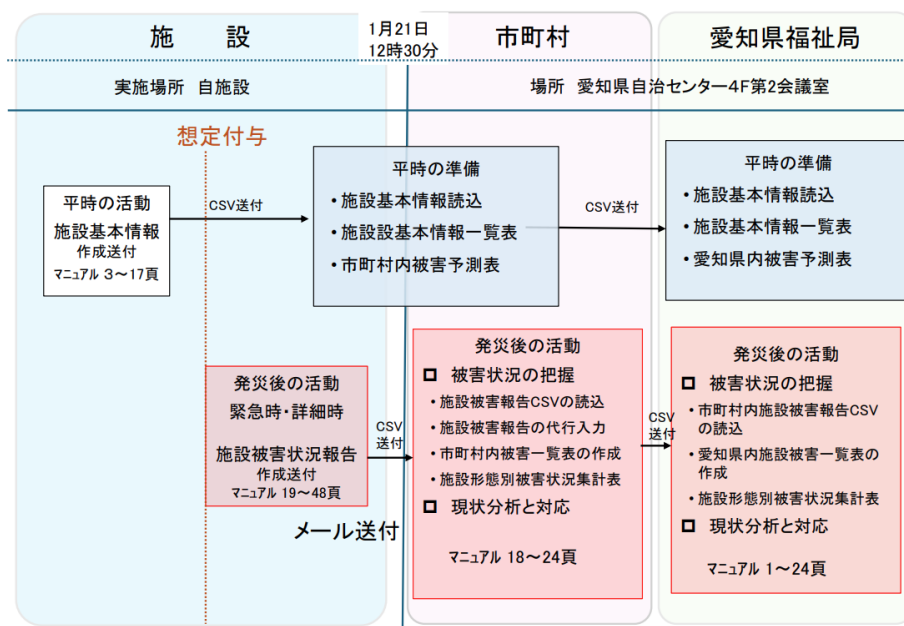
道 路: 愛知県内高速道路 21日12時に指定車両のみ通行可

国 道・一般道: 愛知県西部: 三河沿岸部は復旧の見込みみたず、他地域は23日頃主幹線道路のみ指定車両通行可

インターネット: 愛知県西部、三河沿岸部で断絶

## (6) 訓練時程と訓練項目

訓練は1月16日から平時活動、1月21日12時30分から発災後活動と分類して下記の時程で各訓練項目を行った。







## (8) 検証会

訓練終了後、県福祉局職員と参加市町村間で DH-Wins 運用に係わる平時の施設機能情報把握、実災害時の支援方策について討議が行われた。

### ① 平時・有事の際の役割確認

- ・ 市町村が事前入力を促しても十分に収集しきれていない中で、有事の際には人的な余裕もなく発災後の被災状況を収集するのは困難である。
- ・ 平時の施設状況把握は施設所管である市町村が担うことが理想
- ・ 有事の際は市町村も被災しており職員の出勤等が困難な場合も想定でき、県が代替することを考えることが必要

### ② 発災後の支援要求について

- ・ 「DWAT」など人的リソースは県が手配
- ・ 物的資源については事前協定により市町村内で完結できるものであれば市町村内で完結、協定をもっても解決できないものにおいては県へ請求
- ・ 避難先についてはどこへ避難するかも含め有事の際に考えるのは難しく平時からの対応が必要
- ・ 市町村は福祉のみで情報収集をして福祉のみに各物資が補給されることは現実的ではない。
- ・ 福祉のみに物資提供いただくよう調整を図るのは現実的ではないが、連絡窓口として対応する必要がある。

## (9) 考 察

訓練準備期間、訓練時間が短い中で事業主体者が多くの訓練項目を組込んだため、平時情報の集計・分析で訓練終了となったが、当初達成目標である訓練参加者も激甚災害類似体験は達成でき、各参加者は平時、災害時に何をすべきかを認識されたと考える。

実災害時には早期に被害状況を把握することはインフラ等壊滅的になる環境下では困難であることから、早期に支援方策を検討するには施設、市町村、都道府県とも平時施設機能、リスク評価を行い共有することが必要であると示唆された。

## VI DH-Wins 活用マニュアル

DH-Wins (Disaster Healthcare & Welfare Information Network System)は平時のBCP策定から有事の情報発信までを一貫してサポートする、福祉施設のための災害対応支援システムを目指していることから、施設、行政職員が容易に活用できるよう施設編、市町村編、都道府県編の活用マニュアルを別冊成果物のとおり作成した。

### 1 DH-Wins 活用効果

#### (1) 平時

- ◎ 施設情報の収集・整理により、自施設のリスク把握と対策の検討（≒BCPに記載すべき内容）に繋がる。
- ◎ 事前登録情報により、外部支援側が各施設のリスクや優先度を即座に判断でき、迅速な支援が可能

#### (2) 災害時

- ◎ 平易な用語の選択肢を選ぶだけで状況が整理され、国のシステムへの転記がスムーズにできる。
- ◎ 国のシステムが通信障害等で使えない場合でも、容量の軽い CSV データとしてメール添付で報告も可能

### 2 活用マニュアルの概要

施設編、市町村編、都道府県編とも DH-Wins を活用した平時、発災後行動を具体的に示した。

#### (施設編)

DH-Winsの概要	1	発災後の行動	
はじめに		詳細行動	31
アプリ活用にあたって	3	建物被害詳細情報確認	33
INDEX	4	建物被害詳細情報入力	34
平時の行動	5	建物被害状況集計	35
建物構造・職員状況入力	7	職員被害詳細情報確認	36
利用者・備蓄状況入力	8	職員被害状況一覧入力	37
リスク分析（ハザードマップによる被害想定把握）	9	職員被害状況評価基準	38
リスク分析（入力と集計）	12	職員被害状況一覧作成と集計	39
BCPへの反映	13	利用者被害詳細情報確認	40
平時情報（施設基本情報報告）の送付	17	利用者被害状況一覧入力	41
発災後の行動		利用者被害状況評価基準	42
緊急時行動	19	利用者被害状況一覧作成と集計	43
建物被害状況確認	21	詳細入力（ライフライン・備蓄状況）	44
建物被害情報入力	22	現状分析と施設対応方針	45
建物被害状況集計	23	情報伝達	48
職員・利用者被害状況確認と入力	24	施設被害状況報告送付	48
職員被害状況一覧作成と集計	25	災害時情報共有システムによる報告	49
利用者被害状況入力	26	要避難者・医療搬送リストの作成	51
利用者被害状況一覧作成	27	現状分析と支援方針	52
利用者被害状況集計	28		
ライフライン被害状況入力	29		
備蓄状況の確認と入力	30		

## (市町村編)

DH-Winsの概要	1
DH-Wins データ共有・対応方針検討の流れ	2
はじめに	
アプリ概要	3
フォルダの設定	4
アプリ活用にあたって	5
平時の準備	
施設登録	8
施設基本情報の登録	11
施設基本情報の読込	12
施設基本情報一覧表の作成	13
市町村内被害予測表	14
市町村内被害一覧	15
市町村内施設形態別被害予測	16
政令市行政区別被害予測	17
都道府県へ送付	19
発災後の行動	
被害状況の把握	21
施設被害報告CSVの読込	23
被害報告読込救済シートでのCSV読込	24
施設被害報告の代行入力	25
市町村内被害一覧表の作成	26
市町村内施設形態別被害状況	28
政令市行政区別被害状況	29
都道府県へ送付	31
現状分析と対応	32
避難者リストの作成	34

## (都道府県編)

DH-Winsの概要	1
DH-Wins データ共有・対応方針検討の流れ	2
はじめに	
アプリ概要	3
フォルダの設定	4
アプリ活用にあたって	5
平時の準備	
施設登録	9
施設基本情報の登録	11
施設基本情報の読込	12
施設基本情報一覧表の作成	13
都道府県内被害予測	14
都道府県内施設被害一覧への反映	15
施設形態別被害予測	16
医療圏別被害予測	17
発災後の行動	
被害状況の把握	19
施設被害報告CSVの読込	21
読込救済シートでのCSV読込	22
都道府県内施設被害一覧表	23
施設被害一覧項目内容	25
施設形態別被害状況	26
医療圏別被害状況	27
ピボットテーブルによる市町村別施設状況確認	28
現状分析と支援方針	29
避難者リスト	32

## 結語 DH-Wins の実装化を目指して

南海トラフ地震等で長期浸水や液状化が想定される海拔ゼロメートル地帯では、高齢者介護施設の孤立と支援遅延が懸念されことから、本事業では、長期浸水・液状化により孤立が懸念される海拔ゼロメートル地帯の高齢者介護施設、市町村を対象に、災害時の福祉・医療連携を強化するための実践的な仕組み作りを目指した。

事業経過としては市町村の福祉・保健医療・危機管理部門や高齢者施設、医療機関等で構成する「災害時福祉医療連携ネットワーク検討委員会」を設置し、施設・市町村・都道府県の行動計画、支援体制の課題を協議するとともに DH-Wins アプリを改良し、施設情報の事前登録機能、施設・地域の脆弱性、要避難者・医療搬送者のリストの自動作成機能、多様な災害種別への対応機能を追加した。

また、高齢者介護施設職員、自治体職員を対象とした研修会を開催し、災害対応の基礎、施設・地域の脆弱性の把握、連携の重要性、アプリの操作方法、情報共有の実践について講義・演習・グループ討議・机上演習を通じて習得し、現場の対応力向上を図った。

さらには県主催の南海トラフ地震時医療活動訓練に参加し、改良後のアプリを用いた運用検証を行い、情報共有の流れ、地域脆弱性の把握、避難者管理、福祉・医療連携、通信多重化の妥当性が確認でき、一定の成果が示されるとともに普及展開のための課題も生じた。

### 1. 事業成果

アプリを効果的に活用するマニュアルも作成し、研修会・実証訓練では濃尾平野の特徴である長期浸水・液状化によるリスク評価を行うことにより、施設は実効性のある BCP の見直し、管轄市町村、県は被害甚大な施設に対する早期支援策を検討できることが確認できた。

特に平時における事前登録機能は、発災後における連絡手段、ライフラインの途絶の施設環境の悪化の中、施設側の備蓄体制再考、公助側の早期支援策決定に不可欠な情報共有機能であり、その後の要避難者、医療搬送者選定等にも活用できることから、DH-Wins マニュアル・アプリを濃尾平野だけでなく、広域的な海拔ゼロメートル地帯を有する関東平野、大阪平野、新潟平野地域等にも普及していくことが必要であることが示唆された。

### 2. 今後の課題

激甚災害から高齢者介護施設を守るには、地域特性に応じた施設、市町村、都道府県とも最大想定に基づくリスク評価を認識共有し、その対応策を検討したうえ、施設 BCP の見直し、地域の BCP を作成していくことが望まれるが、実装化するためには研修会・訓練を行い多くの施設、自治体に普及していくことが必要であると考えられた。

# 資 料 編



第1回海拔ゼロメートル地帯災害時福祉医療連携ネットワーク検討委員会議事録

- 1 日 時 令和7年7月11日（金）午後2時から午後3時15分まで
- 2 場 所 東海北陸厚生局 名古屋合同庁舎第3号館7階共用会議室
- 3 出席者等
  - (1) 検討委員会 25名（市町村：11名，医療機関：2名，施設：7名，本学：5名）
  - (2) オブザーバー 4名
  - (3) 協力機関 10名
  - (4) 事務局 3名

詳細は別紙出席者名簿のとおり

会の始まりにあたり，次の2名から挨拶があった。

- ・ 津田雅庸氏（愛知医科大学災害医療研究センター・センター長）
- ・ 一瀬 篤氏（東海北陸厚生局・局長）

議 題

- 1 令和7年度厚生労働省老人保健健康増進等事業の採択について  
標記について，津田雅庸委員（愛知医科大学）から，令和7年度の老人保健健康増進等事業への申請及び採択について説明があり，これを了承した。
- 2 検討委員紹介及び委員長の選出について  
標記について，事務局から出席者名簿に基づき，検討委員会の委員紹介があった後，委員長選出について提議があり，審議の結果，津田雅庸委員を検討委員会委員長（議長）として選出した。
- 3 事業概要・スケジュールについて
  - (1) 老健事業の事業経過について  
標記について，小澤和弘委員（愛知医科大学）から資料（No.1）に基づき，老健事業の事業経過について説明があり，協力機関から厚生労働省による災害時情報共有システムの検討課題等について情報を得た。  
（事業経過）
    - ① 令和4・5年度事業
      - 災害時組織連携体制における情報発信・共有体制整備の必要性（課題・対応策）
    - ② 令和6年度事業
      - 災害時保健医療福祉情報連携ネットワークシステム「DH-Wins」
      - DH-Winsによる情報発信・共有内容

- 実証訓練によるシステム検証
  - ・ 各種様式の有効性と改善点
  - ・ 情報共有システムの活用
  - ・ 通信機能
  - ・ 備蓄・避難策確保
  - ・ 医療福祉連携ネットワーク
- 実効性のある DH-Wins を目指して
  - ・ アプリ改変
  - ・ 気象災害，南海地震臨時情報への適応
  - ・ 研修プログラムの作成
  - ・ 施設・関連機関への普及

(情報収集)

- ・ 協力機関：災害情報共有システムについては，入力項目の不足や施設形態別でシステムが異なるなど，統一したシステムの構築が課題ではあるが，予算面の課題もあり，今年度は運用の仕方での対応を進めることとし，今後，医療ニーズも踏まえて検討していく予定である。
- ・ 協力機関：昨年度の実証訓練では，災害情報共有システムに情報がある施設とない施設があるが，情報がない施設が圧倒的に多いため，事前情報を事前に準備して対応する必要がある。
- ・ 大学：医療機関については，EMIS の入力情報を基に災害時にどの程度機能維持できるかの予測ができつつあり，DMAT を始めサポートが可能となっている。一方，高齢者介護施設等については，基本情報のデータベースがなく，能登半島地震の際にはスクリーニングもできなかったため，今後は，網羅的かつ事前リスクが確認でき，優先順位をつけながら対応できる体制作りが必要である。

(2) 令和7年度事業について

標記について，高橋礼子委員（愛知医科大学）から資料（No.2～4）に基づき，事業実施計画及び事業スケジュールについて説明があった後，議長から本件について審議願いたいと提議があり，審議の結果，原案どおり承認した。

(事業実施計画等)

- ① 事業背景
- ② 令和7年度取組概要
  - ・ 検討委員会の設置  
(第1回：令和7年7月11日(金)，第2回：令和8年2月13日(金))
  - ・ DH-Wins アプリの改訂
  - ・ 研修の実施(令和7年10月10日(金)・17日(金)・24日(金))

- ・ 実地訓練による運用検証（令和8年1月21日（水））
- ・ 成果物と普及展開

### ③ 今後の展望

#### (3) DH-Wins アプリの改変について

標記について、小澤委員から資料（No.5）に基づき、DH-Wins アプリの改変案について説明があった後、議長から本件について審議願いたいと提議があり、審議の結果、原案どおり承認した。

また、協力機関から燃料補給の方法及び備蓄状況リストの項目等について情報を得た。

(改変内容)

##### ○ 平時入力項目

- ・ 建物構造
- ・ 職員状況
- ・ 利用者状況
- ・ 備蓄状況
- ・ 被害予測

##### ○ 集計シート（追加項目）

- ・ 要避難者リスト
- ・ 医療搬送リスト
- ・ 物品発注シート

(情報収集)

- ・ 協力機関：愛知県においても石油業協同組合や石油連盟と協定を締結しており、施設や医療機関においては普段の事業者での対応になるかと思うが、難しい場合は、市町村や県に要請して燃料の補給をする仕組みになっている。給油口、油種等の情報を平時から整理しておいて頂ければ、優先順位を付けての対応にはなるが、要請に応えることができる。
- ・ 協力機関：施設については、生活の場がメインであり、医療機関と同様の電気効率が必要ではないと思われる。施設の事業継続にはおそらく自家発電機を全て稼働する必要はなく、生活を維持するための電力を賄うことが重要であるため、備蓄状況リストの内容は、施設の運用方法も含めて検討していく必要がある。

#### (4) 検討委員施設訪問計画について

小澤委員から当日配布資料に基づき、検討委員施設訪問計画について説明があり、高齢者介護施設の委員に対し、訪問の日程等について回答頂くよう依頼するとともに、研修会におけるファシリテーターの協力を依頼した。

また、市町村の委員に対し、管内施設訪問時の同行を依頼した。

#### 4 事務連絡について

標記について、事務局から資料（No.6）に基づき、検討委員会の概要について説明があり、これを了承した。

#### 5 その他

本事業の実施にあたり、花木芳洋委員（日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院）から、能登半島地震での支援経験を踏まえ、施設の情報を早く集めることに加え、情報の共有と更新の必要性及び本事業への協力について発言があった。

第1回検討委員会出席者名簿

種別	市町村等	所属部署	役職	氏名	第1回 検討委員会
市町村	名古屋市	健康福祉局監査課	課長	黒坂 貴光	出席
		健康福祉局健康部保健医療課	担当課長	森本 隆史	代理 課長補佐 中島 大樹
		健康福祉局高齢福祉部介護保険課	課長	武藤 吉晃	欠席
	津島市	福祉部高齢介護課	課長	足立 賢一	欠席
		総合政策部危機管理課	次長兼課長	角田 達哉	代理 主査 宇佐美裕大
	愛西市	保険福祉部高齢福祉課	課長	八木久美子	代理 主任 伊藤 拓真
		企画政策部危機管理課	課長	山田 光正	代理 課長補佐 加藤 義久
	弥富市	健康福祉部介護高齢課	課長	富居 利彦	欠席
		総務部防災課	課長	太田 高士	欠席
	あま市	福祉部高齢福祉課	課長	国立 強志	出席
		市長公室部危機管理課	課長	平野 誠	出席
	大治町	福祉部長寿支援課	課長補佐兼介護保険係長	山田 紘史	出席
		総務部防災危機管理課	課長補佐兼防災係長	水野 敦司	出席
	蟹江町	民生部介護福祉課	課長	松井智恵子	出席
		総務部安心安全課	課長	森 実央	欠席
	飛島村	民生部福祉課	課長	加藤 悦久	出席
総務部総務課		課長	鷲尾 成二	欠席	
医療機関	名古屋市	名古屋掖済会病院	院長	北川 喜己	欠席
		日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院	健康管理センター長	花木 芳洋	出席
		名古屋掖済会病院救急科	救急科医長	萩原 康友	出席
高齢者 介護施設	名古屋市	医療法人親和会老人保健施設松和苑	通所リハビリテーション部門長	池田 孝	出席
	津島市	ケアハウス陽だまりの里	主任相談員	中野 高史	出席
	愛西市	複合介護施設 悠縁(グループホーム悠縁)	施設管理部長	西尾 幸尚	出席
	弥富市	特別養護老人ホームにじいろあすなろ	生活相談員	横道 知里	出席
	あま市	小規模多機能型居宅介護施設「ふくじゅそう」	管理者	松永 紀美	出席
		医療法人フジタ グループホーム「ポプラ」	管理者	金井ちづえ	欠席
	大治町	特別養護老人ホーム希望の郷大治	施設長	岩田 大助	欠席
	蟹江町	特別養護老人ホームカリヨンの郷「新千秋」	介護サブリーダー	太田あゆみ	代理 介護リーダー 山田 吉宏
飛島村	特別養護老人ホームやすらぎの里	相談員	黒木 貴哉	出席	
事業主体者		愛知医科大学災害医療研究センター	教授・センター長	津田 雅庸	出席
		愛知医科大学災害医療研究センター	講師	小澤 和弘	出席
		愛知医科大学災害医療研究センター	講師	高橋 礼子	出席
		愛知医科大学災害医療研究センター	助教	柴田 隼人	出席
		愛知医科大学看護学部	准教授	坂田久美子	欠席
		愛知医科大学総務部	部長	大西 功	出席
オブザーバー		東海北陸厚生局	局長	一瀬 篤	出席
		東海北陸厚生局 地域包括ケア推進課	課長	出水 邦宏	出席
		東海北陸厚生局 地域包括ケア推進課	医療介護連携推進係長	澤木 大和	出席
		東海北陸厚生局 企画調整課	課長	樋口 政之	出席
協力機関	国支局	中部地方整備局防災室	建設専門官	服部 敦	出席
		中部地方整備局防災室	運用企画係長	江崎 祥馬	出席
	国機構	国立健康危機管理研究機構危機管理・運営局DMAT事務局	医師	是枝 大輔	出席
		防災安全局防災部災害対策課	主査	小島 慶洋	出席
		福祉局高齢福祉課施設G	主任	山田 益生	出席
		福祉局高齢福祉課介護保険指導第一G	主事	橋本 哲	出席
		福祉局福祉部福祉総務課総務・企画・広報G	課長補佐	細木 克彦	出席
		福祉局福祉部福祉総務課総務・企画・広報G	主事	小川 恭平	出席
		福祉局福祉部障害福祉課障害福祉事業所支援室事業所指導第二G	主事	山口 紗有里	出席
		福祉局子育て支援課管理・施設G	主事	杉田 衣十美	欠席
保健医療局健康医務部医務課	主査	渡邊 裕之	出席		
事務局		愛知医科大学総務部総務広報課	課長	舘 陽平	出席
		愛知医科大学総務部総務広報課	主任	山田 奈保子	出席
		愛知医科大学災害医療研究センター	助手	牧野 久美子	出席

第 2 回海拔ゼロメートル地帯災害時福祉医療連携ネットワーク検討委員会議事録

- 1 日 時 令和 8 年 2 月 13 日（金）午前 10 時 30 分から午前 11 時 38 分まで
- 2 場 所 ウィルあいち 特別会議室
- 3 出席者等
  - (1) 検討委員会 21 名（市町村：7 名、医療機関：2 名、施設：7 名、本学：5 名）
  - (2) オブザーバー 2 名
  - (3) 協力機関 8 名
  - (4) 事務局 3 名

詳細は別紙出席者名簿のとおり

議 題

1 事業経過について

事業主体者（愛知医科大学）委員より資料 1 に基づき各事業経過について報告

(1) 第 1 回検討委員会について

事業主体者より資料 2 に基づき、第 1 回検討委員会の審議内容等について報告

(2) DH-Wins 活用マニュアル・アプリの改訂について（審議事項）

事業主体者委員より DH-Wins 活用マニュアル（案）及び資料 3 に基づき、DH-Wins 活用マニュアル・アプリの改訂内容等についての説明後、審議依頼された。

（改訂趣旨）

- ・昨年度の課題及び今年度の研修会並びに実証訓練での結果を踏まえ、アプリの機能を修正するとともにマニュアルを改訂
- ・平時情報の必要性から平時情報入力に重点を置いた内容に修正している。
- ・市町村側は平時施設情報から事前支援対策が検討できる。
- ・施設側は平時情報リスク分析により BCP の改善につながる。
- ・施設側の入力負担が軽減できるような内容に修正
- ・施設平時情報にリスク分析及びその結果への対応を追記
- ・政令指定都市である名古屋市については、行政区別の集計を追記
- ・災害時情報共有システムにも入力しやすい情報が作成できるように修正
- ・市町村編と都道府県編のマニュアルには、「現状分析と対応」、「支援優先順位と具体的な行動例」の内容を追記

（具体的改定内容）

資料 3 「DH-Wins 改定内容」に基づき説明

- ・ 修正アプリは、業者修正確認中のため、後日提供

(審議方法)

事業主体者よりマニュアル(案)の加筆修正意見、及び調査研究報告書への機関名・氏名の掲載可否について2月末までに審議及び回答依頼する旨依頼

(3) 研修会について

事業主体者委員より資料1に基づき、研修会の実施概要及び結果を説明後、研修会の結果を踏まえたDH-Wins活用マニュアル及びアプリの改修を実施した旨報告

(4) 実証訓練による運用検証について

事業主体者委員より資料1に基づき、実証訓練の実施概要及び結果について説明後、訓練に対する評価結果から生じた課題をDH-Wins活用マニュアル及びアプリに反映改修した旨報告

(5) 報告書・成果物について

事業主体者委員より成果物及び今後の普及展開について説明後、調査研究報告書は資料1をベースに年度内に取りまとめ、年度明けに厚生労働省に提出予定である旨報告  
疑義がなければ事務局一任で作成することを依頼

2 災害時保健医療福祉情報連携ネットワークシステム(DH-Wins)の運用について

委員長(愛知医科大学)より災害時保健医療福祉情報連携ネットワークシステム(DH-Wins)の運用についての審議を提議された。

(1) DH-Winsの評価について

事業主体者委員より検討資料に基づき実証訓練で生じた課題の説明後、各参加者からの評価を求めた。

- ・協力機関：実証訓練を通じて現実的なアプリの不具合があり、愛知県として十分な活用検証ができていないが、アプリの実施内容は県の災害対応の考え方や方向性と一致している。

今発災した時に、国の既存システムも踏まえ県の福祉局の災害対応として何が出来るかを考えた時に、DH-Winsは一つのツールとして方向性が一致するため、来年度以降も引き続きアプリの活用について検討を進めていきたいと考えている。

- ・市町村A：実証訓練に参加した介護保険課が不在のため課題や操作感については把握できていないが、既存の国のシステムとの使い分けができると良いと思う。

(2) 今後の運用に向けての方策

事業主体者委員より今後の運用に向けての方策5案を提示後、各参加者で審議(運用に向けての方策案)

- ① 愛知県全体にDH-Winsを普及し、施設基本情報、ハザードマップを照合したリスク評価を行い、発災後の訓練は地域限定で行う。

- ② 被害甚大地域に限定し、DH-Wins を施行運用し、リスク評価を行うとともに発災後の対応訓練を行う。
- ③ 愛知県全体で DH-Wins 施行運用をし、リスク評価を行う。
- ④ 被害地域限定で DH-Wins 施行運用し、リスク評価を行う。
- ⑤ 何もしない

(審議)

- ・事業主体者：理想の方策としては①とは思いますが、県や市町村の意向もあるのでこの場で意見交換は難しいため、各機関で検討して頂きたい。  
：DMAT の訓練である「大規模地震時医療活動訓練」では、保健医療福祉が連携した訓練の実施が求められている。
- ・協力機関：来年度の大規模地震時医療活動訓練については、DMAT 事務局と関係部局が調整し、福祉部局も連携した訓練の実施を検討している。  
：これまでの訓練では、情報共有の方法、一部の施設の避難訓練での連携を実施しているが、医療の動き出しのフェーズと福祉のフェーズに齟齬があるため、次年度は齟齬を解消できるよう検討を重ねている。  
：災害時情報システムについては、具体的支援が検討できるシステムではなく、能登半島地震でも独自にリストを作成せざるを得ない状況であったことから、事前リストが活用できることは大きな利点であるため、今後も活用を進めて情報共有してほしい。
- ・市町村 B：市役所から施設に実証訓練の参加案内をしているが、参加協力の反応が少ない。DH-Wins を普及させることについて、大学・県の熱量と、市役所・施設の熱量では温度差を感じている。  
：運用に向けての方策については、自治体からの反応を見て決めてほしい。来年度以降は愛知県が主体となるのか疑問であり、愛知県が主体となるのであれば、愛知県全域を対象としないと意味がないのではないかと。
- ・市町村 C：アプリを使う施設への理解と普及が課題である。
- ・事業主体者：市町村や施設に温度差があるのは同様に感じている。事前情報の収集は愛知県が主導し、対象も県全域が良いと思うが、今後の愛知県との調整になる。
- ・協力機関：運用に向けての方策については、段階的に対応していくことも含め、どの方策も考えられる。  
：事前リストの収集については今後も更新していくため、集め方について DH-Wins を活用する方法も検討できる。  
：愛知県から情報収集した方が、効果が上がると思われるが、来年度以

降の福祉施設に対する防災対策をどうするかについて市町村と検討していきたい。

- ・施設A : システムは快適に入力できたが、施設内でのマニュアルの周知と活用は今後の課題である。訓練を通じて施設の物品の見直しが必要と考えている。
- ・施設B : 訓練を通じて平時の入力の大切さを強く感じた。発災後に入力するには相当の時間を要し、安否確認をして情報伝達するのは非常に困難であるため、繰り返し実施することで慣れていくことが必要と感じた。
- ・施設C : 入力が非常に大変だと感じた。事前情報を入力することは大切であるが、内容が細かすぎてマニュアルを覚えるに大変時間がかかる。人が変わったときに対応できるように、もう少し簡単な内容になると良い。  
: DH-Wins とは別に愛知県の情報共有システムに入力することについては、余裕がないと対応できないので、一つのシステムに入力すればもう一方に共有できるようなシステムになると良い。施設側としては、入力が簡単・スムーズで、誰でもできるシステムになると良い。
- ・施設D : 訓練では古いDH-Wins で送信したため、新しいもので送信し直したが、慣れてこれば分かりやすいシステムだと思った。  
: システムは改善されて良い方向には進んでいるが、施設側にあまり目が向けられていないのではないかと感じた。  
: 地域とは毎回発災時の避難訓練を実施しているが、今後、発災後の訓練としてDH-Wins を活用した訓練を提案したいと考えている。地域の参加者が高齢という課題もある。
- ・施設E : この事業に関わりのない施設に対する DH-Wins の周知、及び市町村との連携が課題である。  
: 災害時情報共有システムの関連も課題であり、災害時は二つシステムがあってもどちらか一つになる可能性があるので、検討を進めてほしい。
- ・施設F : 運用に向けての方策については、①のとおり愛知県全域で訓練を実施してDH-Wins を普及していることが重要である。  
: 液状化地域としては、いち早く情報提供して支援に繋がりたいので、DH-Wins を早く普及してほしい。  
: 訓練を繰り返すことでシステムにも慣れていき改善もできるので、愛知県から施設への発信も積極的にお願いしたい。
- ・施設G : アプリについては前回のバージョンより入力しやすくなった。  
: 発災時に施設運営に携わる職員が必ず来られるわけではなく、パソコン操作が苦手な職員もいるため、現場職員への普及の必要性も感じた。内容が簡易になれば良いと思う。

- ・医療機関A：情報発信をいち早く行うことと、平時の情報を把握しておくことは大切である。  
：システムの普及は必要であるが、マニュアルがもう少し簡易になると良い。今後、改善が進み、愛知県や国への普及に繋がると良い。
- ・医療機関B：本院では事務の当直者に、情報入力の実施している。液状化により病院機能は破綻しても大勢の患者さんが押し寄せる可能性がある。医療が必要になった方を救うためには情報があつた方がよい。  
：全ての情報が愛知県に入れば、冷静に優先順位の判断ができると思う。情報を出せている施設は良いが、情報を出せていない施設は支援がゼロになる可能性がある。  
：能登半島地震の際も、SOSが出ている施設を支援しつつ、情報のない施設への支援を進めることが、災害対策本部の大きな悩みであった。  
：情報があつた方が救いの手を伸ばせるので、施設がSOSを発信するためのツールとして情報発信は非常に大切である。
- ・事業主体者：大学が主体ではなく愛知県や名古屋市が中心となって事業を進めていきたい。DH-Winsの簡素化及び訓練の実施についても引き続き検討していきたい。
- ・オブザーバー：老健事業の予算が少ない中での事業推進に感謝している。実証訓練等を通して改修し、より使いやすく、効果的に使えるようになったのではないかと思っている。  
：災害時に情報の収集ができない中、平時から施設の方に入力してもらうことや、平時にそれを集約しておくことは、災害時にどういったものがどこに必要かを判断する材料になる。また、施設側が入力することによって施設内で何が不足するのか把握することができる点は良いと考えている。  
：老健事業は今年度で完了ということになるが、アプリと事業研究成果を発災時の対応と実効的なものとして活かしてほしいと感じている。

### 3 その他

委員長から、本事業への協力について謝辞があり、加えて、DH-Wins活用マニュアル及び調査研究報告書の内容については、皆さまからの意見を踏まえて修正することについて、愛知医科大学に一任して頂くことの依頼がありこれを了承した。

種別	市町村等	所属部署	役職	氏名	出欠
市町村	名古屋市	健康福祉局監査課	課長	黒坂 貴光	出席
		健康福祉局監査課	課長補佐	下村 浩平	同席
		健康福祉局健康部保健医療課	主事	明石 祐樹	代理
	津島市	福祉部高齢介護課	主査	小川 和真	欠席
		総合政策部危機管理課	次長兼課長	角田 達哉	欠席
	愛西市	保険福祉部高齢福祉課	主任	伊藤 拓真	代理
		企画政策部危機管理課	主任	加藤 義久	代理
	弥富市	健康福祉部介護高齢課	課長	富居 利彦	欠席
		総務部防災課	課長	太田 高士	欠席
	あま市	福祉部高齢福祉課	課長	国立 強志	欠席
		市長公室部危機管理課	課長	平野 誠	欠席
	大治町	福祉部長寿支援課	課長補佐兼介護保険係長	山田 紘史	出席
		総務部防災危機管理課	課長補佐兼防災係長	水野 敦司	出席
	蟹江町	民生部介護福祉課	課長	松井 智恵子	欠席
		総務部安心安全課	課長	森 実央	欠席
	飛島村	民生部福祉課	課長	加藤 悦久	欠席
		総務部総務課	課長	鷲尾 成二	欠席
	医療機関	名古屋市	名古屋掖済会病院	院長	北川 喜己
日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院			健康管理センター長	花木 芳洋	出席
名古屋掖済会病院救急科			救急科医長	萩原 康友	出席
高齢者介護施設	名古屋市	医療法人親和会老人保健施設松和苑	通所リハビリテーション部門長	池田 孝	出席
	津島市	ケアハウス陽だまりの里	主任相談員	中野 高史	出席
	愛西市	複合介護施設 悠縁(グループホーム悠縁)	施設管理部長	西尾 幸尚	出席
	弥富市	特別養護老人ホームにじいろあすなろ	生活相談員	横道 知里	出席
	あま市	小規模多機能型居宅介護施設「ふくじゅそう」	管理者	松永 紀美	出席
		医療法人フジタ グループホーム「ポブラ」	事務長	水野 義久	出席
	大治町	特別養護老人ホーム希望の郷大治	施設長	岩田 大助	欠席
	蟹江町	特別養護老人ホームカリヨンの郷「新千秋」	介護サブリーダー	太田あゆみ	欠席
飛島村	特別養護老人ホームやすらぎの里	相談員	黒木 貴哉	出席	
事業主体者		愛知医科大学災害医療研究センター	教授・センター長	津田 雅庸	出席
		愛知医科大学災害医療研究センター	講師	小澤 和弘	出席
		愛知医科大学災害医療研究センター	講師	高橋 礼子	出席
		愛知医科大学災害医療研究センター	助教	柴田 隼人	出席
		愛知医科大学看護学部	准教授	坂田久美子	欠席
		愛知医科大学総務部	部長	大西 功	出席
オブザーバー		東海北陸厚生局	局長	一瀬 篤	欠席
		東海北陸厚生局 地域包括ケア推進課	課長	出水 邦宏	出席
		東海北陸厚生局 地域包括ケア推進課	医療介護連携推進係長	澤木 大和	欠席
		東海北陸厚生局 企画調整課	課長	樋口 政之	出席
協力機関	国機構	国立健康危機管理研究機構危機管理・運営局DMAT事務局	医師	是枝 大輔	出席
	愛知県	防災安全局防災部災害対策課	主任	平松 真吾	出席
		福祉局高齢福祉課施設G	主任	山田 益生	欠席
		福祉局福祉部福祉総務課総務・企画・広報G	課長補佐	細木 克彦	出席
		福祉局福祉部福祉総務課総務・企画・広報G	主事	中野 雄太	出席
		福祉局福祉部障害福祉課障害福祉事業所支援室事業所指導第一G	主事	木村 祐飛	出席
		福祉局福祉部障害福祉課障害福祉事業所支援室事業所指導第二G	主事	山口 紗有里	出席
		福祉局子育て支援課管理・施設G	主事	杉田 衣十美	出席
保健医療局健康医務部医務課	主任	服部 一希	出席		
事務局		愛知医科大学 総務部 大学総務課	課長事務取扱	舘 陽平	出席
		愛知医科大学 総務部 大学総務課	主査	山田 奈保子	出席
		愛知医科大学災害医療研究センター	事務	岡田 万由子	出席



介護施設など福祉施設の被災状況をいち早く集約し、行政と共有する仕組みづくりが始まっている。東日本大震災発生時の2011年はそうした仕組みがなく、支援が必要な高齢者らへの対応が遅れた。災害医療の専門家は「仕組みがあれば災害関連死を減らし、日頃の対策を考える機会にもなる」と強調する。(斉藤和音)

## 福祉施設への支援 迅速化

# 被災状況 アプリで共有

## 事前登録 行政と連携

東日本大震災15年

「被害が甚大で広域に及べば、救助も避難も難しくなる。効率的な支援につなげるためには、施設の被災状況を行政と共有する必要がある」。昨年10月、施設職員らを対象とした研修で、愛知医科大学災害医療研究センター長の津田雅庸さん(53)が呼びかけた。

研修で活用されたのは、24年度にセンターが開発した情報共有アプリ「災害時保健医療福祉情報連携ネットワークシステム(DH-Wins)」。

愛知県西部の海拔ゼロメートル地帯を対象に訓練を重ね、運用に向けて準備を進めている。

アプリは、施設側が利用者の年齢や介護度、備蓄品といった情報を事前に登録しておく。表。発災後に人や建物の被害、不足する物品などを入

力することで、行政が施設のリスクや対応の優先度を判断できる。通信障害が起きるなどして被災状況が報告できなくても、登録情報を元に支援の必要性を検討する。

開発に携わったセンターの小澤和弘講師(67)は、施設が災害時に取るべき行動を定める事業継続計画(BCP)にも活用できるメリットを強調



愛知医科大学災害医療研究センターの小澤さん(中央奥)に教わり入力する介護施設の職員ら。名古屋市のウィルあいちで

する。「情報を事前に整理することでリスクや対策が分かり、BCPにも反映できる」

施設の被災状況を把握する

同様の仕組みは、厚生労働省が21年9月から運用する「災害時情報共有システム」があるが、施設の情報事前に登録する機能はない。センターのアプリがこのシステムを補完する。アプリのデータは、わずかでもネットが繋がれば、メールに添付して送信できる。アプリで整理した情報をシステムに入力することもスムーズに行えるという。

小澤さんは「BCP策定から災害時の情報発信まで福祉施設の災害対応を支援するアプリを目指した。日頃の災害対策の検討にも活用してほしい」と話した。アプリは4月に愛知医科大学のホームページで公開する予定。

### 開発の愛知医科大

### 東日本と能登で 把握の遅れ教訓

愛知医科大学災害医療研究センターがアプリを開発した背景には、過去の災害で施設の被災状況の把握に手間取った教訓がある。

東日本大震災の被災地で実態を調査した小澤さんは「当時はどこが被災しているかをまったく把握できず、福祉施設が独自で内陸の施設に受け入れを求め、混乱を招いた」と指摘する。

津田さんは、24年1月の能登半島地震で、DMAT(災害派遣医療チーム)として現地の医療活動を調整する石川県の本部に入った。厚労省のシステムは施設職員が対応に追われる中で入力が滞り、発災から4日過ぎても20力所以上の施設と連絡が取れていなかった。利用者が高齢者か障害者かによって、行政の管轄が異なることも情報把握を難しくしていた。

津田さんは「震災直後は元気な人でも、対応が遅れることで『医療が必要な人』になるリスクがある。支援が必要かを早期に把握することは、被災地の医療の逼迫を防ぐことにもつながる」と話す。

愛医総総第 207 号  
令和 7 年 9 月 10 日

介護施設等施設長 各位

愛知医科大学 災害医療研究センター  
センター長 津田 雅庸

「高齢者施設災害対応研修～命をつなぐ情報共有と BCP 強化～」  
の開催について（ご案内）

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

愛知医科大学災害医療研究センターでは、厚生労働省老健局の「老人保健健康増進等事業」の事業採択を受け、広域的長期浸水（湛水）・液状化被害による長期孤立が予想される海拔ゼロメートル地帯における災害時福祉医療連携ネットワークモデルの作成を目指した調査研究事業を進めております。

この度、同事業の一環として、下記のとおり海拔ゼロメートル地帯に所在する高齢者介護施設を対象に、災害時保健医療福祉情報連携ネットワークシステム（アプリ名称：DH-Wins）を活用した研修会を開催致しますので、業務多忙の中とは存じますが、研修会にご参加頂きますようご案内申し上げます。

敬 具

記

- 1 研修会名 高齢者施設災害対応研修～命をつなぐ情報共有と BCP 強化～
- 2 開催日程

日 時	対象地域	会 場
令和 7 年 10 月 10 日（金） 14 時～16 時（予定）	津島市, あま市, 大治町	あま市役所 E 会議室
令和 7 年 10 月 17 日（金） 14 時～16 時（予定）	愛西市, 弥富市, 蟹江町, 飛島村	愛西市役所 南館 1-3・1-4 会議室
令和 7 年 10 月 24 日（金） 14 時～16 時（予定）	名古屋市	東海北陸厚生局 名古屋合同庁舎第 3 号館

- 3 参加対象 各市町村における管内入居系高齢者介護施設の職員
- 4 定 員 各 30 名程度
- 5 必要物品 研修で使用しますので、パソコンをお持ちください。  
(ネット環境は、本学にて無線 LAN を用意いたします。)
- 6 添付資料 開催案内チラシ

(本件問合せ)

災害医療研究センター（高橋，柴田，小澤）  
電話 0561-76-3029（直通）  
メール disaster@aichi-med-u.ac.jp

# 高齢者施設 災害対応研修

## 命をつなぐ 情報共有と BCP強化



大規模災害発生時、高齢者施設は長期の孤立やライフライン途絶に直面し、入所者の命と健康が大きな危険にさらされます。

その時、利用者を守れるのは、日ごろから備え、正しく行動できる職員の力です。

本研修では、南海トラフ地震などの激甚災害を想定し、命を守るために必要な判断と行動を、実習を通して学びます。

災害時の情報共有を可能にする「DH-Wins災害時保健医療福祉情報連携ネットワークシステム」も活用し、自施設の災害対策やBCPを強化するヒントを得られます。

災害に強い施設づくりは、あなたの行動から始まります。

利用者と仲間を守るために、ぜひ一緒に学びましょう。

### 開催日程

**10/10** 金  
14:00～16:00

あま市役所  
E会議室

(対象地域)  
津島市 あま市  
大治町

**10/17** 金  
14:00～16:00

愛西市役所  
南館1-3・1-4会議室

(対象地域)  
愛西市 弥富市  
蟹江町 飛島村

**10/24** 金  
14:00～16:00

東海北陸厚生局  
名古屋合同庁舎第3号館

(対象地域)  
名古屋市

対 象 高齢者介護施設の職員

持ち物 パソコン

定 員 各回30名  
(先着)

参加費 無 料

申込み 9月30日(火)まで  
申込方法は裏面へ

# 研修プログラム

2:00 PM

開 会

2:05 PM

講義・実習

- 1 講義 BCPと情報共有システム
- 2 講義 愛知県西部の被害予測
- 3 実習 施設の被害状況予測と災害対応  
平時シート入力, ハザードマップを参照したリスク分析
- 4 実習 地震想定に基づく初動対応  
被害想定に基づく緊急情報入力
- 5 実習 利用者, 職員の管理  
平時入力シートを活用した詳細入力  
 職員・利用者・備蓄品の現状分析と施設活動方針
- 6 実習 市町村に施設被害状況の報告

3:45 PM

総合質疑

4:00 PM

閉 会

申込方法



参加ご希望日のQRコードから  
9月30日までにお申込みください

開催日時	会 場	対象地域	QRコード
<b>10/10</b> 金 14:00~16:00	<b>あま市役所</b> あま市七宝町沖之島深坪1番地	津島市 あま市 大治町	
<b>10/17</b> 金 14:00~16:00	<b>愛西市役所</b> 愛西市稲葉町米野308番地	愛西市 弥富市 蟹江町 飛島村	
<b>10/24</b> 金 14:00~16:00	<b>東海北陸厚生局</b> 名古屋市東区白壁1-15-1 名古屋合同庁舎第3号館	名古屋市	

お申込に必要な個人情報は、申込者名簿作成等、本研修にのみ使用します。

お問合せ

愛知医科大学  
災害医療研究センター  
事務局

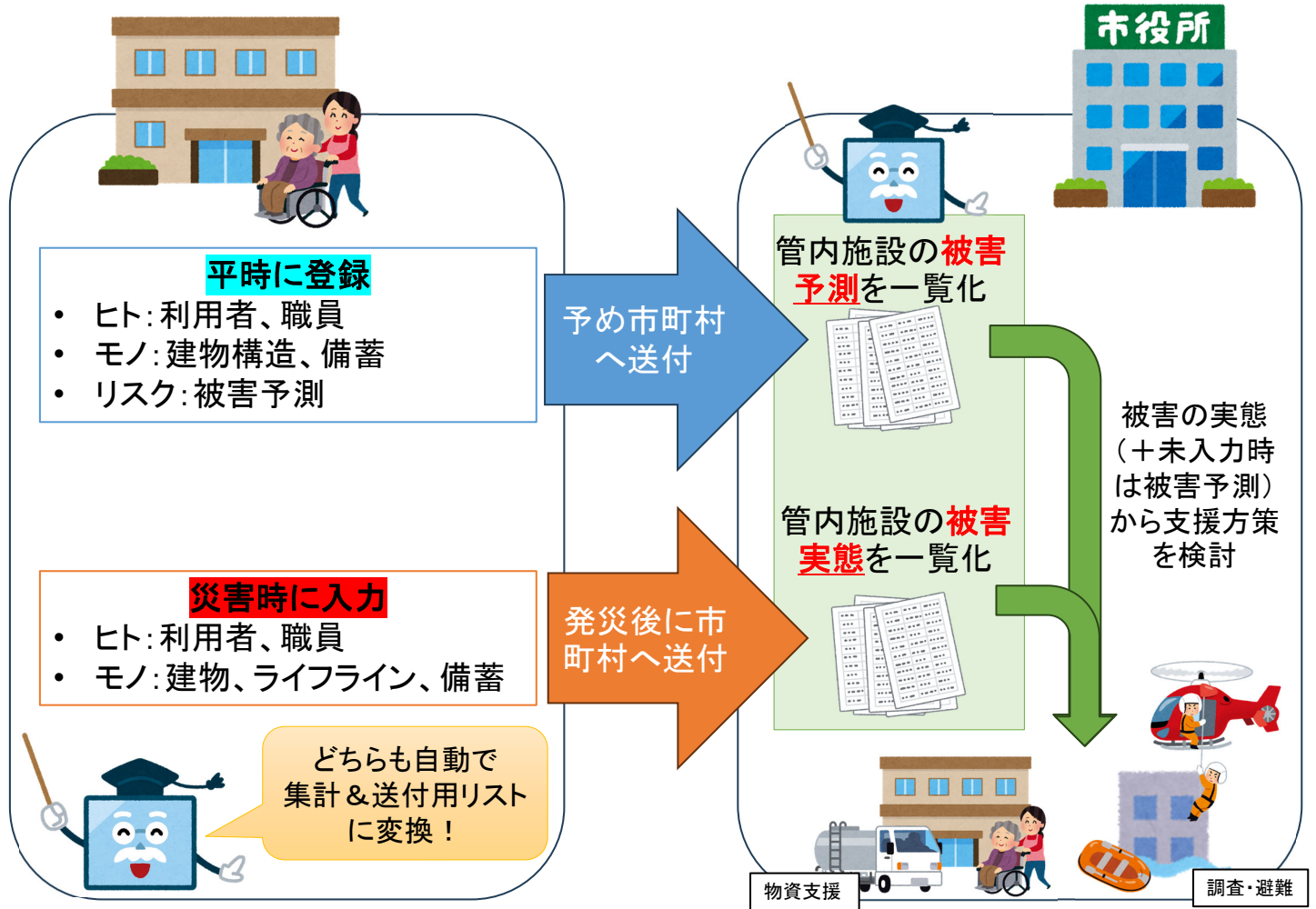


0561-76-3029  
9:00~16:00 (担当:柴田)

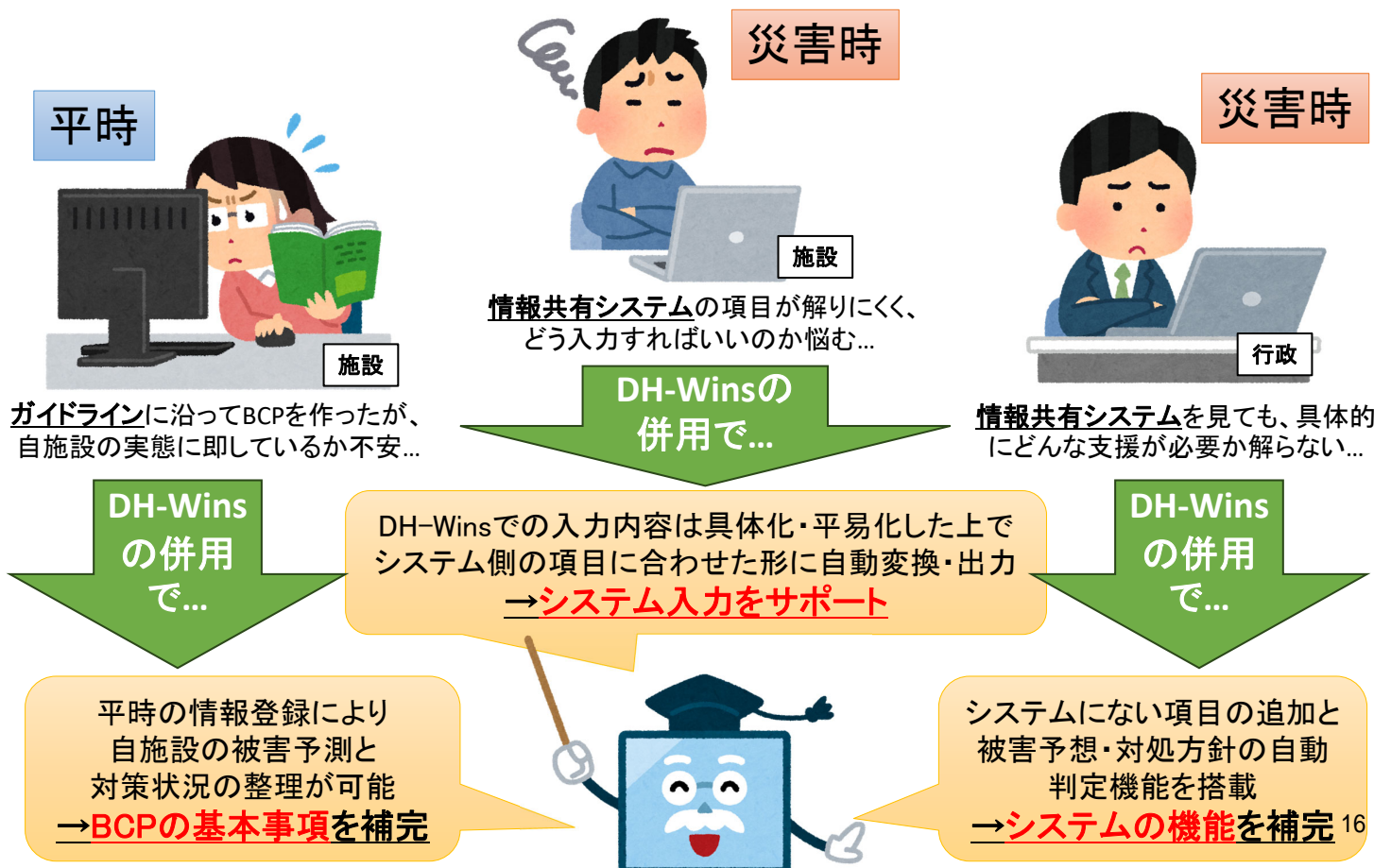


disaster@aichi-med-u.ac.jp

# DH-Winsによる情報共有の仕組み



## BCPガイドライン及び災害時情報共有システムとDH-Winsとの関係性



令和7年9月25日

関係各位

愛知医科大学災害医療研究センター

センター長 津田 雅庸

令和7年度厚生労働省老人保健健康増進等事業における研修会の  
会場変更について（ご連絡）

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃は、本センターが実施する厚生労働省老人保健健康増進等事業にご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、過日ご依頼いたしました「災害対応研修会」の開催につきまして、誠に恐れ入りますが、開催場所が一部変更となりましたので下記のとおり連絡いたします。

記

1 変更内容 開催日程

※ 赤字の箇所が変更点です

日 時	対象地域	会 場
令和7年10月10日（金） 14時～16時（予定）	津島市, あま市, 大治町	あま市役所 E会議室
令和7年10月17日（金） 14時～16時（予定）	愛西市, 弥富市, 蟹江町, 飛島村	愛西市役所 南館 1-3・1-4 会議室
令和7年10月24日（金） 14時～16時（予定）	名古屋市	東海北陸厚生局 名古屋合同庁舎第3号館 ウィルあいち特別会議室 名古屋市東区上堅杉町1番地

（本件問合せ）

災害医療研究センター（高橋, 柴田, 小澤）

電話 0561-76-3029（直通）

メール disaster@aichi-med-u.ac.jp

# 高齢者施設 災害対応研修

## 命をつなぐ 情報共有と BCP強化



大規模災害発生時、高齢者施設は長期の孤立やライフライン途絶に直面し、入所者の命と健康が大きな危険にさらされます。

その時、利用者を守れるのは、日ごろから備え、正しく行動できる職員の力です。

本研修では、南海トラフ地震などの激甚災害を想定し、命を守るために必要な判断と行動を、実習を通して学びます。

災害時の情報共有を可能にする「DH-Wins災害時保健医療福祉情報連携ネットワークシステム」も活用し、自施設の災害対策やBCPを強化するヒントを得られます。

災害に強い施設づくりは、あなたの行動から始まります。

利用者と仲間を守るために、ぜひ一緒に学びましょう。

### 開催日程

**10/10** 金  
14:00~16:00

あま市役所  
E会議室

(対象地域)  
津島市 あま市  
大治町

**10/17** 金  
14:00~16:00

愛西市役所  
南館1-3・1-4会議室

(対象地域)  
愛西市 弥富市  
蟹江町 飛島村

**10/24** 金  
14:00~16:00

ウイルあいち  
特別会議室

(対象地域)  
名古屋市

対 象 高齢者介護施設の職員

持ち物 パソコン

定 員 各回30名  
(先着)

参加費 無 料

申込み 9月30日(火)まで  
申込方法は裏面へ

# 研修プログラム

2:00 PM

開 会

2:05 PM

講義・実習

- 1 講義 BCPと情報共有システム
- 2 講義 愛知県西部の被害予測
- 3 実習 施設の被害状況予測と災害対応  
平時シート入力, ハザードマップを参照したリスク分析
- 4 実習 地震想定に基づく初動対応  
被害想定に基づく緊急情報入力
- 5 実習 利用者, 職員の管理  
平時入力シートを活用した詳細入力  
職員・利用者・備蓄品の現状分析と施設活動方針
- 6 実習 市町村に施設被害状況の報告

3:45 PM

総合質疑

4:00 PM

閉 会

申込方法



参加ご希望日のQRコードから  
9月30日までにお申込みください

開催日時	会 場	対象地域	QRコード
<b>10/10</b> 金 14:00~16:00	<b>あま市役所</b> あま市七宝町沖之島深坪1番地	津島市 あま市 大治町	
<b>10/17</b> 金 14:00~16:00	<b>愛西市役所</b> 愛西市稲葉町米野308番地	愛西市 弥富市 蟹江町 飛島村	
<b>10/24</b> 金 14:00~16:00	<b>ウイルあいち</b> 名古屋市東区上笠杉町1番地	名古屋市	

お申込に必要な個人情報は、申込者名簿作成等、本研修にのみ使用します。

お問合せ

愛知医科大学  
災害医療研究センター  
事務局



0561-76-3029  
9:00~16:00 (担当:柴田)



disaster@aichi-med-u.ac.jp

## 研修会参加者一覧(事業主体者除く)

受講日	形態	参加数	市町村	種別	施設名(所属名)	職種
2025/10/10 会場:あま市役所	講師	1	名古屋市	医療機関	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院	健康管理センター長
	ファミリー	4	愛西市	グループホーム	複合介護施設 悠縁(グループホーム悠縁)	施設管理者
			津島市	経費老人ホーム	ケアハウス陽だまりの里	生活相談員
			あま市	小規模多機能居宅介護	小規模多機能型居宅介護施設「ふくじゅそう」	施設管理者
			あま市	グループホーム	グループホーム「ボブラ」	事務長
	市町村	4	あま市	行政	あま市役所危機管理課	
			あま市	行政	あま市役所危機管理課	
			大治町	行政	大治町福祉部長寿支援課	
			大治町	行政	大治町役場総務部防災危機管理課	
	受講生	7	大治町	介護老人保健施設	介護老人保険施設 四季の里	生活相談員
			大治町	介護老人保健施設	四季の里	介護士
			あま市	通所	ほのぼのデイサービスセンター穂華	生活相談員
			大治町	グループホーム	愛の家グループホームおおはる	施設管理者
			あま市	通所	こくりこデイサービス	生活相談員
大治町			グループホーム	愛の家グループホーム大治北間島	介護支援専門員	
2025/10/17 会場:愛西市役所	講師	1	厚労省	医療機関	DMAT事務局	医師
	ファミリー	5	愛西市	グループホーム	複合介護施設 悠縁(グループホーム悠縁)	施設管理者
			津島市	経費老人ホーム	ケアハウス陽だまりの里	生活相談員
			弥富市	特別養護老人ホーム	特別養護老人ホームにじいろあすなろ	生活相談員
			名古屋市	多機能型居宅介護	医療法人親和会 老人保健施設松和苑	通所リハビリテーション部門長
			飛島村	特別養護老人ホーム	特別養護老人ホームやすらぎの里	相談員
	市町村	4	津島市	行政	危機管理課	
			津島市	行政	福祉部高齢介護課	
			愛西市	行政	愛西市役所 高齢福祉課	
			愛西市	行政	愛西市役所 危機管理課	
	受講生	9	愛西市	養護老人ホーム	ガーデンハウス明範荘	生活相談員
			愛西市	通所	さやの森	介護士
			蟹江町	特別養護老人ホーム	カリヨンの郷	その他
			名古屋市南区	特別養護老人ホーム	特別養護老人ホームケアマキス柴田	その他
愛西市			その他	小規模多機能型居宅介護事業所悠縁	施設管理者	
愛西市			グループホーム	グループホーム悠縁	その他	
津島市			特別養護老人ホーム	特別養護老人ホーム長寿の里・津島	機能訓練指導員	
飛島村			介護老人保健施設	老人保健施設 ヴィラとびしま	事務長	
愛西市	ショートステイ・デイサービス	ケアセンター・あいさい・花水木	施設長			
2025/10/24 会場:ウィルあいち	講師	1	名古屋市	医療機関	名古屋掖済会病院	院長
	受講生	10	名古屋市名東区	グループホーム	エムケア名東	介護支援専門員
			名古屋市名東区	小規模多機能居宅介護	小規模多機能エムケア名東	介護支援専門員
			名古屋市千種区	介護付有料老人ホーム	覚王山生楽館	施設管理者
			名古屋市熱田区	介護老人保健施設	介護老人保健施設かなやま	事務員
			名古屋市中村区	介護老人保健施設	第II四季の里	理学療法士
			名古屋市中村区	介護老人保健施設	第II四季の里	事務員
			名古屋市守山区	特別養護老人ホーム	特別養護老人ホームしだみの里	介護士
			名古屋市天白区	住宅型老人ホーム	PACIFICウェルフェア南天白	介護士
			名古屋市中区	介護付有料老人ホーム	エイジトピア・ナゴヤ	施設管理者
			名古屋市中村区	居宅介護支援	住宅型有料老人ホーム 稀楽 居宅介護支援事業所縁	介護支援専門員
	市町村	2	名古屋市	行政	名古屋市役所健康福祉局監査課	
名古屋市			行政	名古屋市役所健康福祉局監査課		

令和7年度厚生労働省老人保健健康増進等事業

## 高齢者施設災害対応研修

# 命をつなぐ情報共有とBCP強化

と き; 令和7年10月24日14時～

ばしょ; ウィルあいち2階 特別会議室

学校法人愛知医科大学

## プログラム

1. 講義 BCPと情報共有システム(15分)
2. 講義 愛知県西部の被害予測 (15分)
3. 実習1 施設の被害状況予測と災害対応 (30分)
  - ・ 平時シート入力、ハザードマップ参照したリスク分析
4. 実習2 地震想定に基づく初動対応 (10分)
  - ・ 被害想定に基づく緊急情報入力
5. 実習3 利用者、職員の管理 (30分)
  - ・ 平時入力・緊急入力シートを活用した詳細入力
  - ・ 職員・利用者・備蓄品の現状分析と施設活動方針
  - ・ 市町村に施設被害状況の報告
6. 総合討論

# 本研修の到達目標

- 災害による被災状況を再認識する
- BCPが被災状況に対応できるかを確認する。
- 平時からの施設間・行政との情報共有の必要性を認識する
- DH-Winsを活用して被害状況把握、対応策の検討、情報共有方法を修得する
- 今後の対応策を確認する。

## BCPと情報共有システム

愛知医科大学 災害医療研究センター 講師  
高橋 礼子

# 事業継続計画（BCP）とは

- ▶ 緊急事態に遭遇した場合において
- ▶ 事業資産の損害を最小限にとどめつつ
- ▶ 中核となる事業の継続あるいは早期復旧を可能とするために
- ▶ 平常時に行うべき活動や緊急時における事業継続のための方法、手段などを取り決めておく計画

施設によって、被災リスクや施設の規模・種類、利用者の特性などが異なる

つまり...

**施設毎に共通事項と特異事項がある**

## BCPガイドラインやひな形に沿って作成すれば問題ない？

介護施設・事業所における  
自然災害発生時の  
業務継続ガイドライン

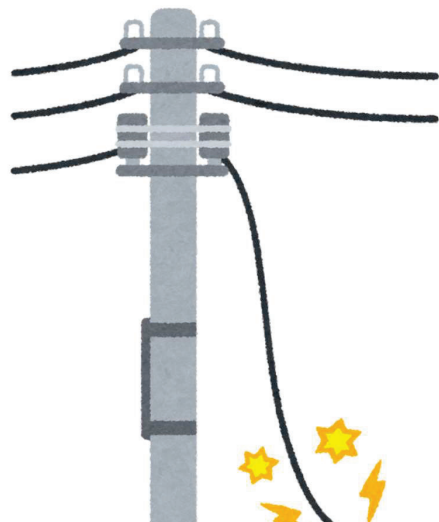
業務継続計画(BCP)  
自然災害編  
(介護サービス類型：共通)

法人名 : 社会福祉法人 ●●会  
施設・事業所名 : 特別養護老人ホーム ●●の里  
代表者名 : ●● ●●  
管理者名 : ●● ●●  
所在地 :  
電話番号 :  
作成日 : 2021年11月11日  
改訂日 :

BCP作成にあたっての注意事項  
※本ひな形における各項目は、「介護施設・事業所における自然災害発生時の業務継続ガイドライン」の構成に対応しています。  
※本ひな形は各施設・事業所のサービス類型、特徴等に応じ、適宜変更して活用いただくことを想定しています。文字の色の意味は、下記のとおりです。  
黒字の部分は、BCPの内容を確認し、必要に応じて修正・追加・削除してください。  
青字の部分は、BCP作成の手順です。手順に従い補足・様式資料を作成してください。  
赤字の部分は、施設名等の固有のもので、修正してください。  
※本ひな形のDetailのようには、下記のとおりです。

**実際に作ってみると、自施設の実態に即しているか不安という声も多々**

更に言えば・・・

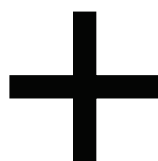


- ・ SOSを出したくても通信手段がない
- ・ 購入時だけでなくランニングコストもかかる

未曾有の災害から  
施設を守るには？



実効性のあるBCP

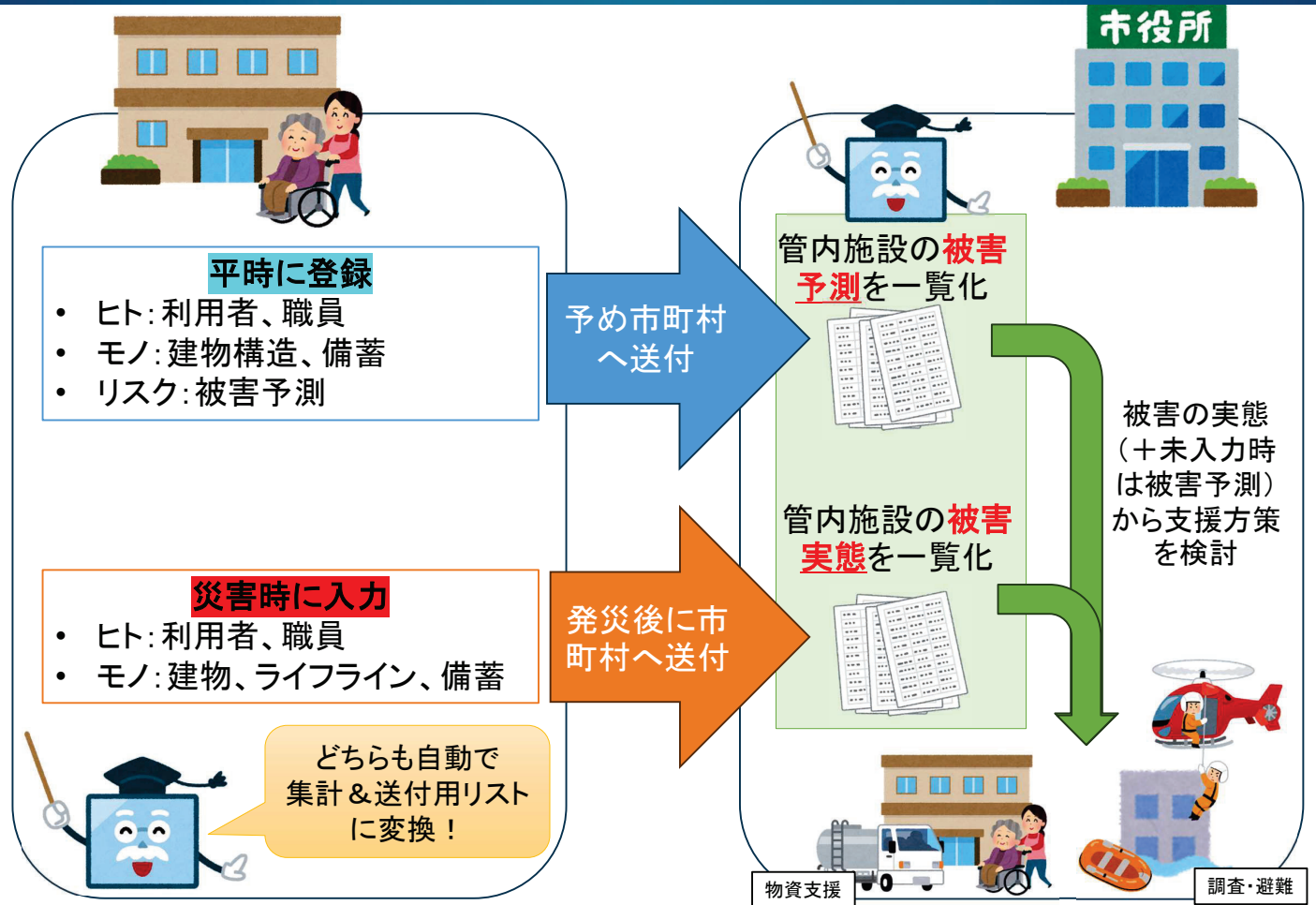


DH-Wins

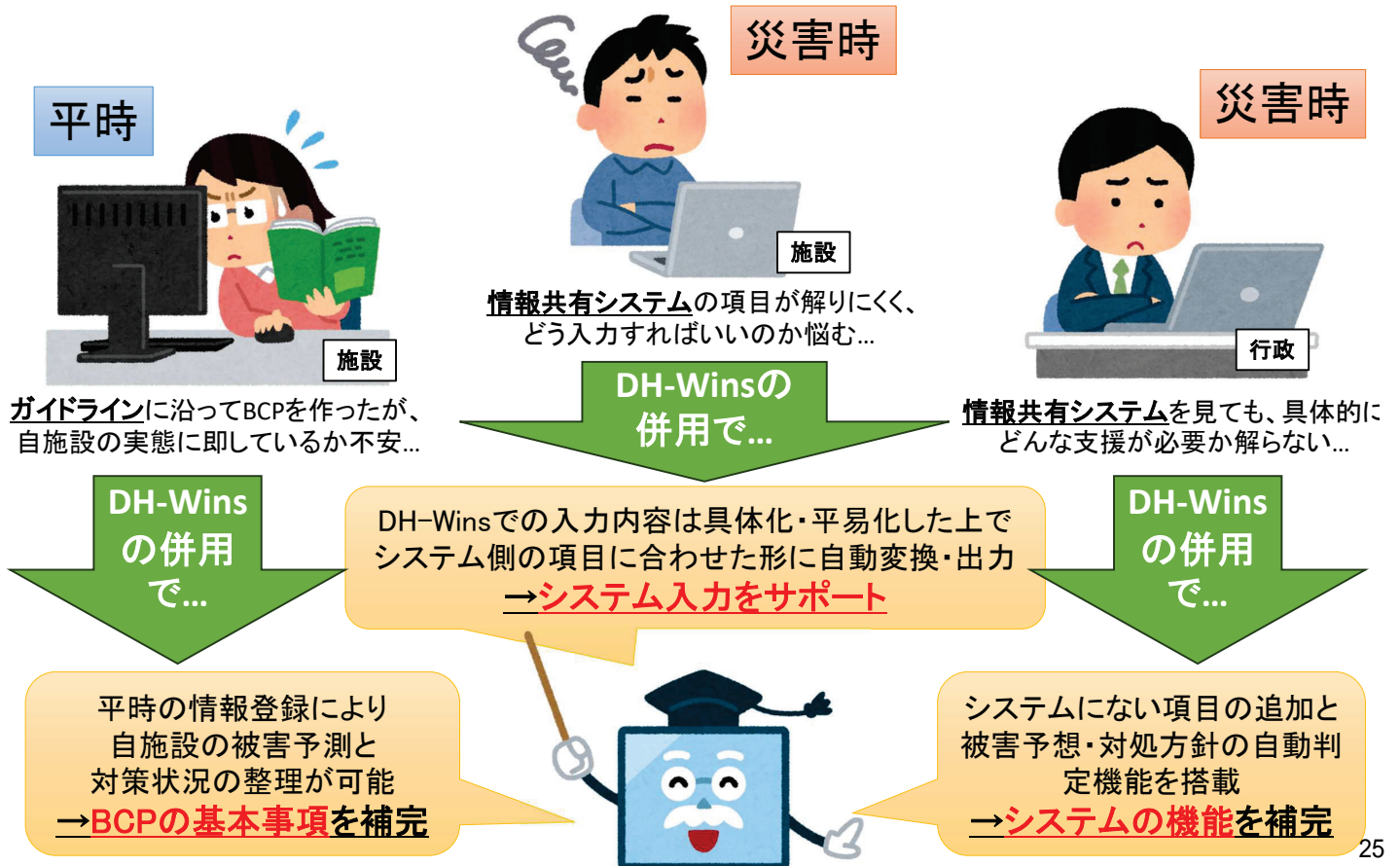
災害時保健医療福祉情報共有  
システム

各機関が情報共有  
できるシステム

# DH-Winsによる情報共有の仕組み



## BCPガイドライン及び災害時情報共有システムとDH-Winsとの関係性



# 参考：BCPガイドライン・ひな形の各項目とDW-Winsでの補完内容

## (3)自然災害（地震・水害等）BCP作成のポイント

< 1 > 正確な情報集約と判断ができる体制を構築

< 2 > 自然災害対策を「事前の対策」と「被災時の対策」に分けて、同時にその対策を準備

< 3 > 業務の優先順位の整理

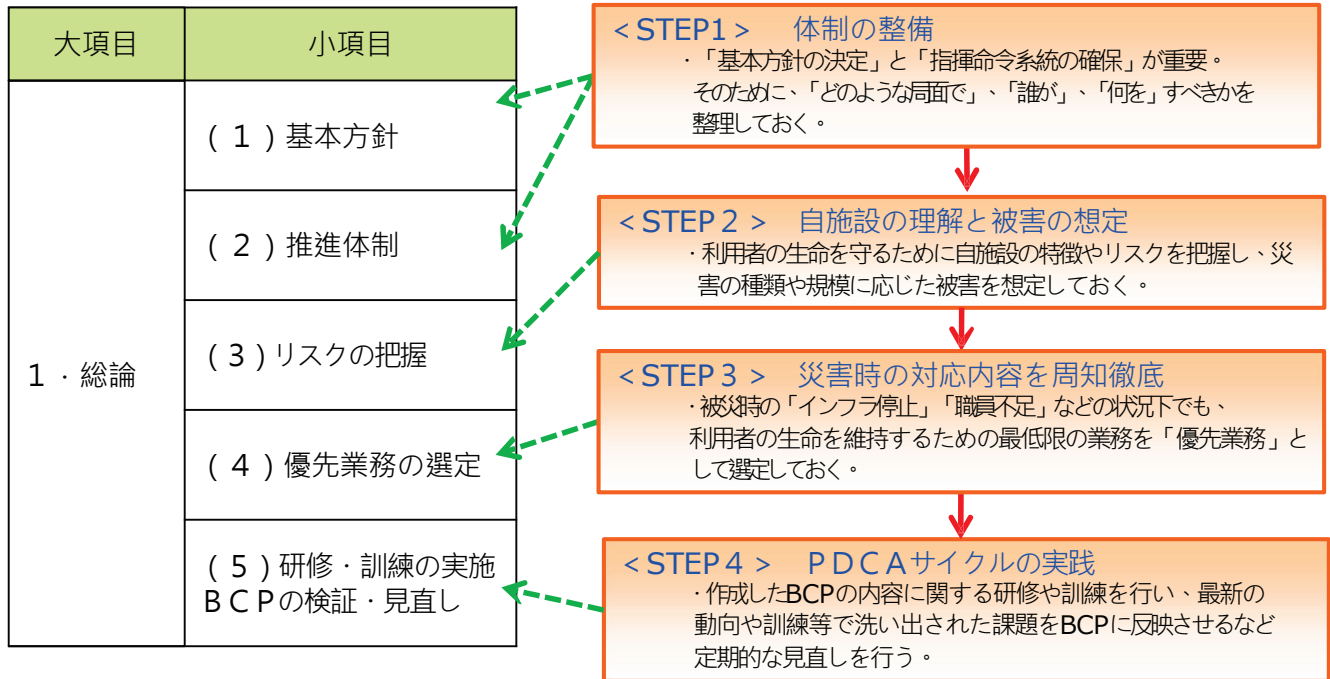
< 4 > 計画を実行できるよう普段からの周知・研修・訓練



# 1・総論\_全体像

ガイドライン9~11ページ

ひな形 1~5ページ

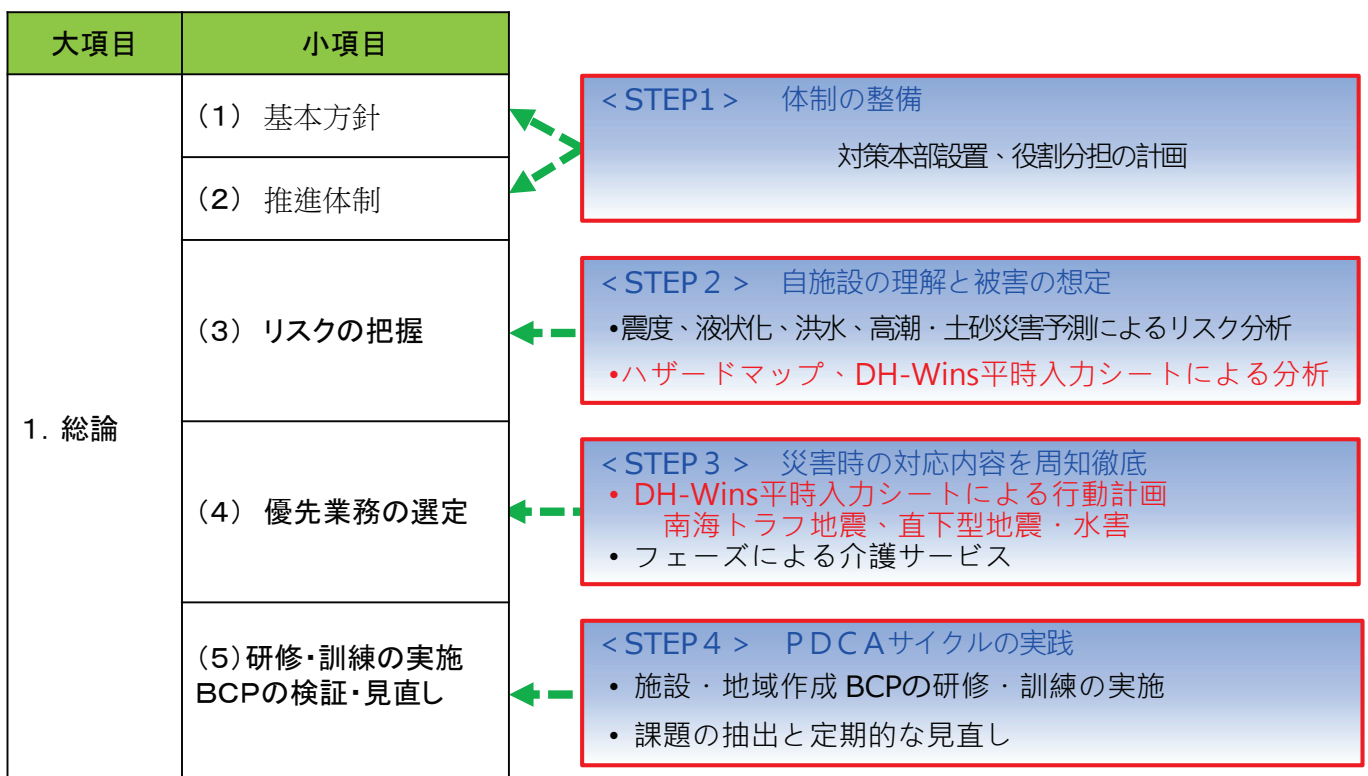


令和2年度 厚生労働省老健局業務継続計画(BCP)作成支援指導者養成研修資料 6頁 引用

# 1・DH-Winsを活用したBCP総論

ガイドライン9~11ページ

DH-Wins 1~5ページ



令和2年度 厚生労働省老健局業務継続計画(BCP)作成支援指導者養成研修資料 6頁 一部改変

## 2・平常時の対応\_全体像とポイント

ガイドライン12~16ページ

ひな形 6~12ページ

大項目	小項目
2・平常時の対応	(2) 電気が止まった場合の対策
	(3) ガスが止まった場合の対策
	(4) 水道が止まった場合の対策
	(5) 通信が麻痺した場合の対策
	(6) システムが停止した場合の対策
	(7) 衛生面(トイレ)の対策
	(8) 必要品の備蓄
	(9) 資金手当て

介護サービスを中断させないためには、介護サービスを提供するにあたり必要な要素(建物・設備・ライフライン)を守ることが重要

### <STEP1> 自施設の安全対策

・想定する災害の種類に応じた点検・安全対策を建物・設備ごとに実施しておく。

### <STEP2> ライフライン等の事前対策

・被災時の対応や代替策を事前に検討し準備しておく。

### <STEP3> 災害時に必要となる備蓄品等の確保

・被災時に必要となる「食料品」「看護・衛生用品」「日用品」「災害用備品」をリストに整理し、計画的に備蓄しておく。

7

## 2・DH-Winsを活用した平時の対応

ガイドライン9~11ページ

DH-Wins 10~15ページ

大項目	小項目
2. 平常時の対応	(1) 建物・設備の安全対策
	(2) 電気が止まった場合の対策
	(3) ガスが止まった場合の対策
	(4) 水道が止まった場合の対策
	(5) 通信が麻痺した場合の対策
	(6) システムが停止した場合の対策
	(7) 衛生面(トイレ)の対策
	(8) 必要品の備蓄

### <STEP1> 自施設の安全対策

DH-Wins平時入力シートによる管理  
建物構造、職員・利用者

### <STEP2> ライフライン等の事前対策

DH-Wins平時入力シートによるライフライン停止時活用器材管理

- ・電気、飲料水、生活用水、ガス、冷暖房
- ・通信機材
- ・トイレ

### <STEP3> 災害時に必要となる備蓄品等の確保

- ・DH-Wins平時入力シートによる備蓄品管理  
食糧、燃料

### 3. 緊急時の対応\_全体像とポイント

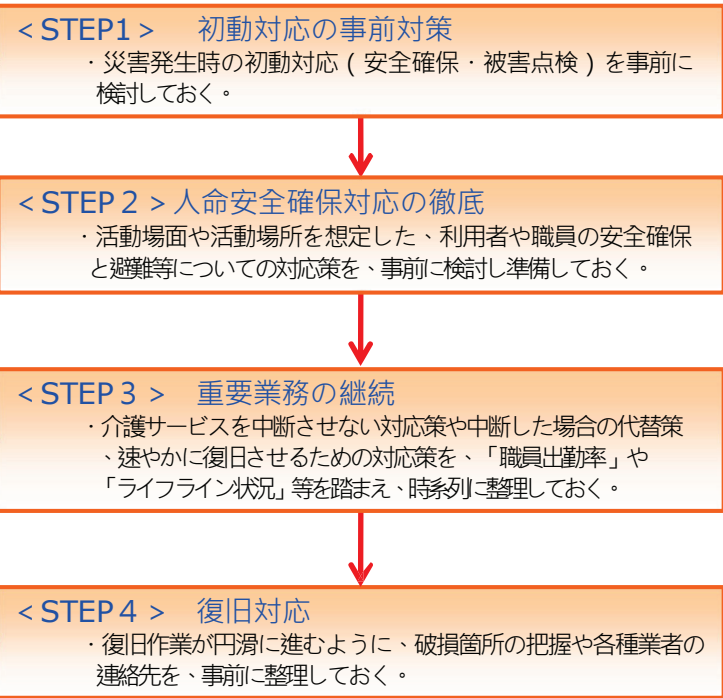
ガイドライン17~24ページ

ひな形 13~18ページ

大項目	小項目
3. 緊急時の対応	(1) BCP発動基準
	(2) 行動基準
	(3) 対応体制
	(4) 対応拠点
	(5) 安否確認
	(6) 職員の参集基準
	(7) 施設内外での避難場所・避難方法
	(8) 重要業務の継続
	(9) 職員の管理
	(10) 復旧対応

【通所サービス固有事項】
【訪問サービス固有事項】
【居宅介護支援サービス固有事項】

職員が不足し、ライフラインが停止することを踏まえ、重要業務を如何に優先して取り組むかがポイント

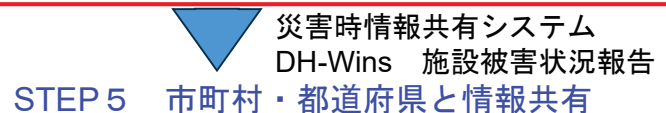
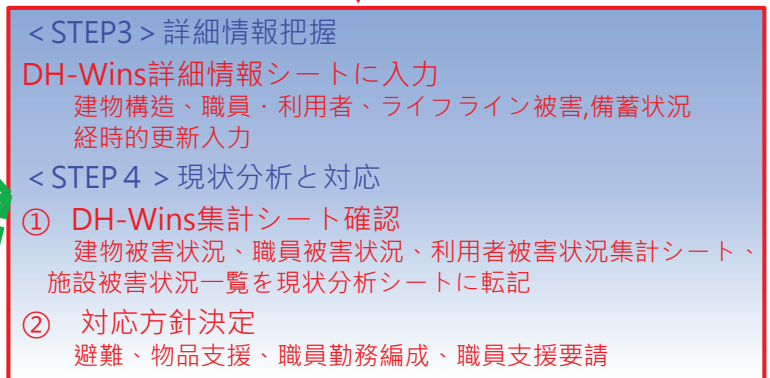
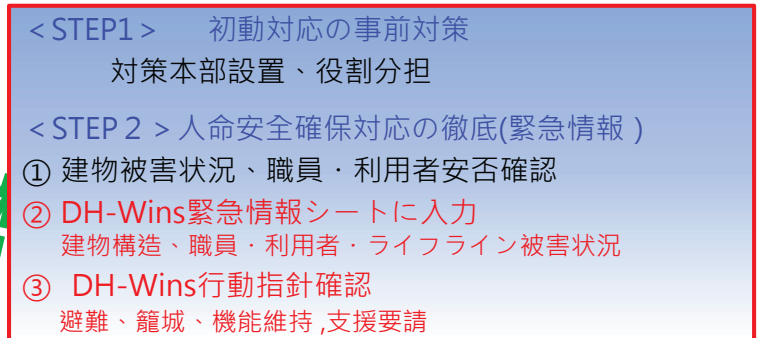


### 3.DH-Winsを活用した緊急時の対応

ガイドライン17~24ページ

DH-Wins 13~37ページ

大項目	小項目
3. 緊急時の対応	(1)BCP発動基準
	(2)行動基準
	(3)対応体制
	(4)対応拠点
	(5)安否確認
	(6)職員の参集基準
	(7)施設内外での避難場所・避難方法
	(8)重要業務の継続
	(9)職員の管理
	(10)復旧対応



## 4・他施設との連携\_全体像

ガイドライン25~26ページ

ひな形 19~21ページ

自施設で解決できない課題が明らかになった場合などには、被災時に相互に支援しあえるように他施設との連携・協力の関係の構築を検討しておく。

大項目	小項目
(1)連携体制の構築	①連携先との協議
	②連携協定書の締結
	③地域のネットワーク等の構築・参画
(2)連携対応	①事前準備
	②入所者・利用者情報の整理
	③共同訓練

### <STEP1> 連携体制構築の検討

- ・平常時から他施設・他法人と協力関係を築くことが大切。(主な連携について)
- 1) 近隣の法人
- 2) 所属している団体を通じての協力関係の整備
- 3) 自治体を通じて地域での協力体制を構築 など
- ・単に協定書を結ぶだけではなく、普段から良好な関係を作る。

### <STEP2> 連携体制の構築・参画

- ・単独での事業継続が困難な事態を想定して施設・事業所を取り巻く関係各位と協力関係を日ごろから構築しておく。
- ・地域で相互支援ネットワークが構築されている場合は、それらに加入を検討する。

### <STEP3> 連携対応

- ・連携協定に基づき被災時に相互連携支援できる事項を記載する。
- ・避難先施設でも利用者が適切なケアを受けることができよう、最低限必要な利用者情報を「利用者カード」などにまとめておく。
- ・連携先と共同で行う訓練概要について記載する。

11

## 5・地域との連携\_全体像

ガイドライン27ページ

ひな形 22~23ページ

介護施設・事業所は社会福祉施設としての公共性に鑑みると、施設・事業所が存在する地域への各種貢献を行うことも重要な存在意義の一つです。被災時に地域住民や地域社会に対して何らかの支援を検討することが重要となります。

大項目	小項目
(1)被災時の職員の派遣	①災害福祉支援ネットワークへの参画や災害派遣福祉チームへの職員登録
(2)福祉避難所の運営	①福祉避難所の指定
	②福祉避難所開設の事前準備

### <被災時の職員の派遣について>

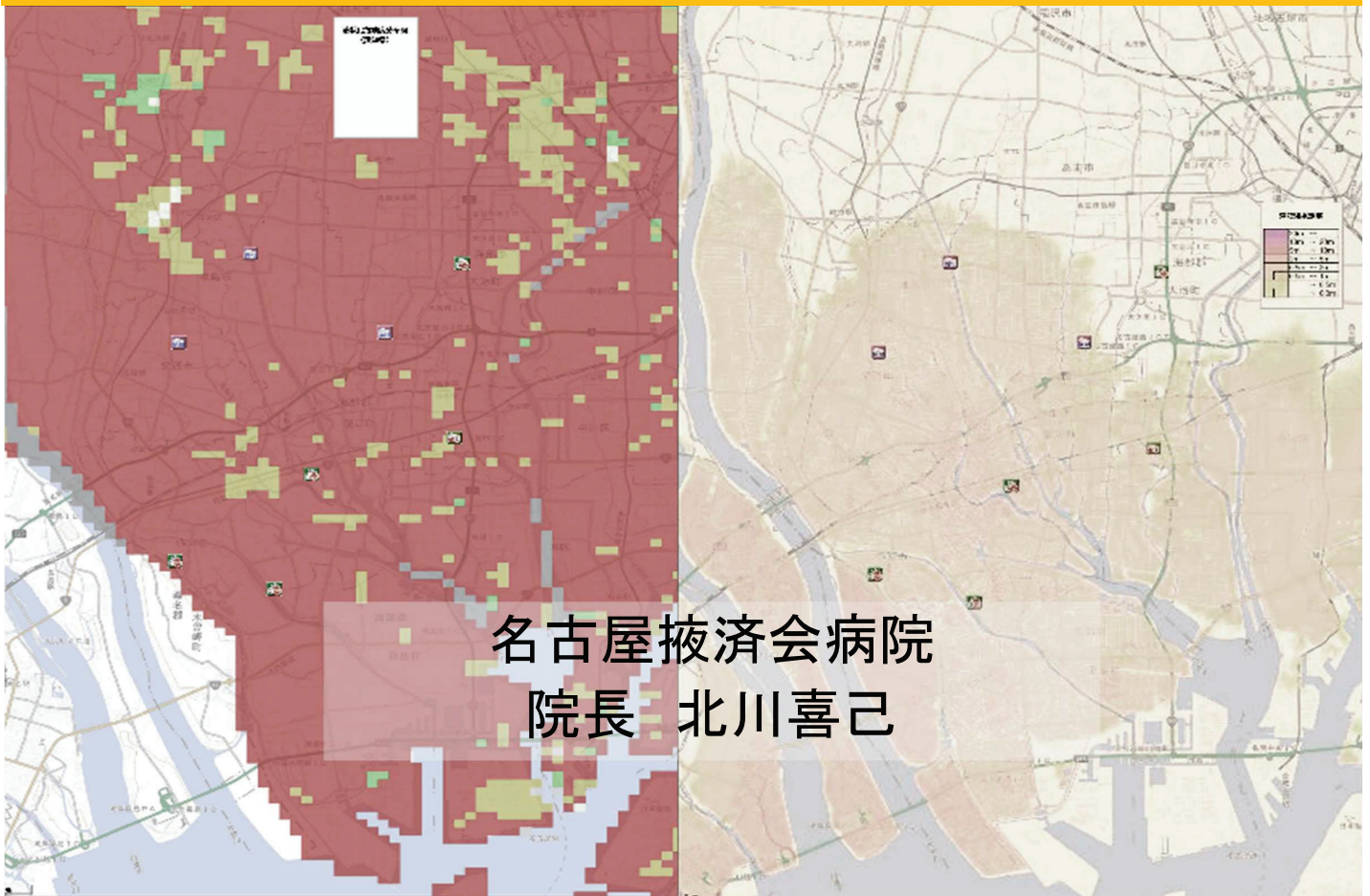
- ・社会福祉施設等は災害派遣福祉チームに職員を登録するとともに、事務局への協力、災害時に災害派遣福祉チームへの派遣を通じた支援活動等を積極的に行うことが期待されている。
- ・地域の災害福祉支援ネットワークの協議内容等について確認し、災害派遣福祉チームへの登録を検討する。

### <福祉避難所の運営について>

- ・社会福祉法人としては、被災時の施設利用者の保護を大前提とし、その上で施設として対応可能な範囲で地域貢献の方策について検討・着手することが重要です。
- ・福祉避難所として運営できるように事前に必要な物資の確保や施設整備などを進める。また、受入にあたっては支援人材の確保が重要であり、自施設の職員だけでなく、専門人材の支援が受けられるよう社会福祉協議会などの関係団体や支援団体等と支援体制について協議し、ボランティアの受入方針等について検討しておく。

12

## 愛知県西部の被害予測



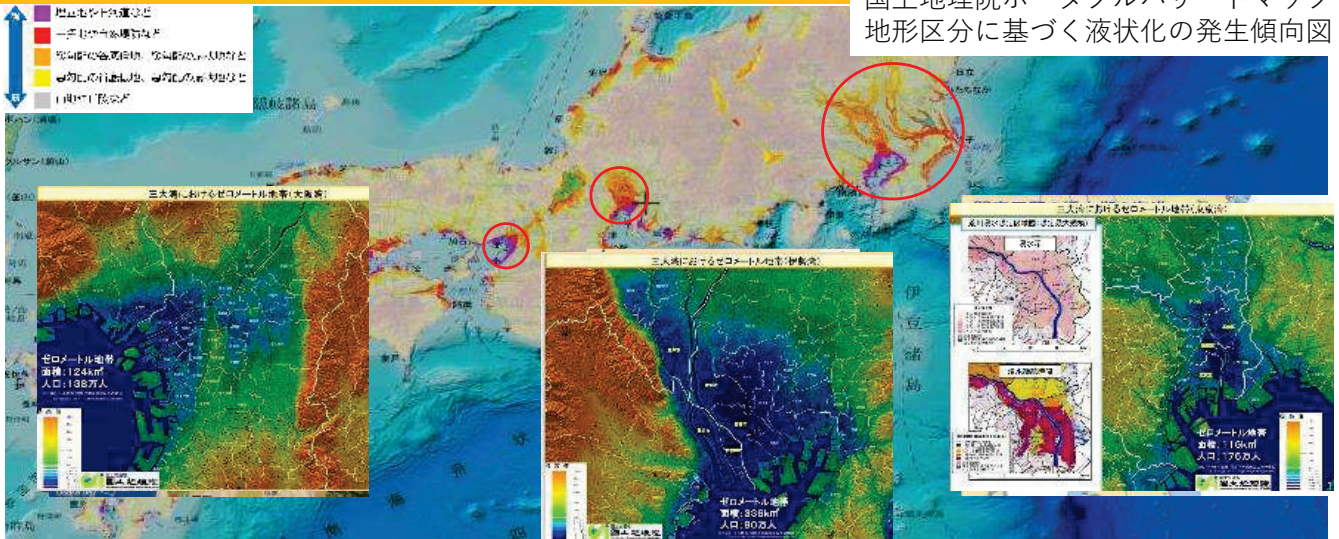
## 愛知県西部の特徴的被害

巨大地震；液状化＋浸水＋湛水

気象災害；浸水＋湛水

# 日本三大水没地域(仮称)

国土地理院ポータブルハザードマップ  
地形区分に基づく液状化の発生傾向図



- 人口密度の高い関東、濃尾、大阪平野は氷河期後(縄文時代)、海面水位上昇、その後の河川氾濫により、土砂が蓄積した沖積層で形成されている。
- **地震があれば、沖積のため液状化危険度は高く、地盤沈下も生じる。**
- 関東平野濃尾・大阪平野いずれも沿岸部だけでなく内陸に低地(海拔0以下)を広範囲に有している。
- 地下水の汲上げにより地盤沈下が生じている。
- **洪水・高潮・津波等の浸水があれば低地で水が滞り、湛水状態が長期続く**
- 湛水区域の人口は関東176万人、濃尾90万人、大阪138万人、面積は関東116km<sup>2</sup>、濃尾336km<sup>2</sup>、大阪124km<sup>2</sup>と人口密度は関東が最も高く、湛水地域は濃尾が最も広い。

# 南海トラフ地震の発生機序と愛知県被害想定

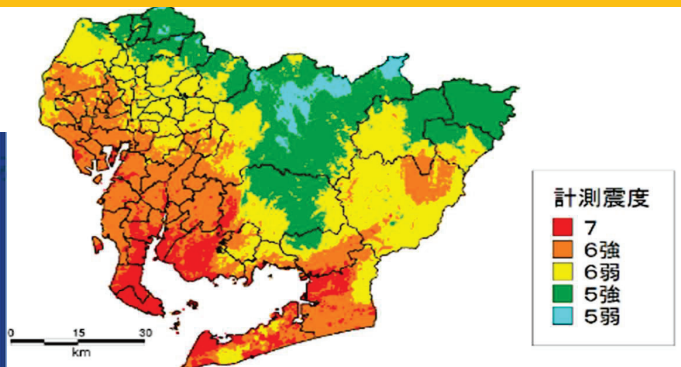
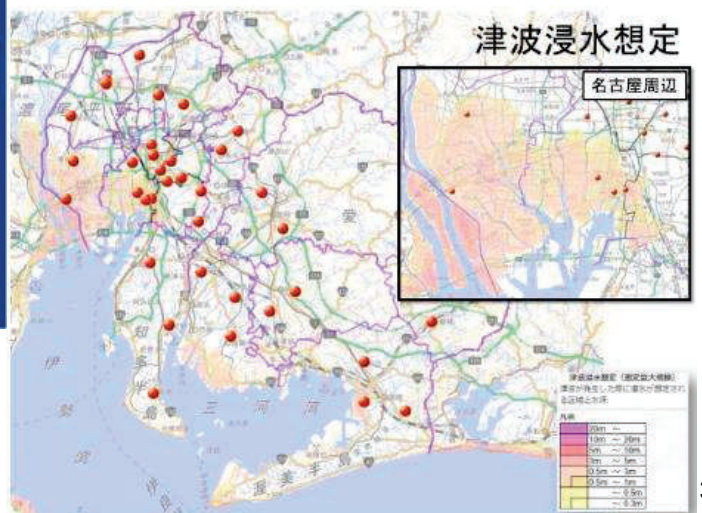
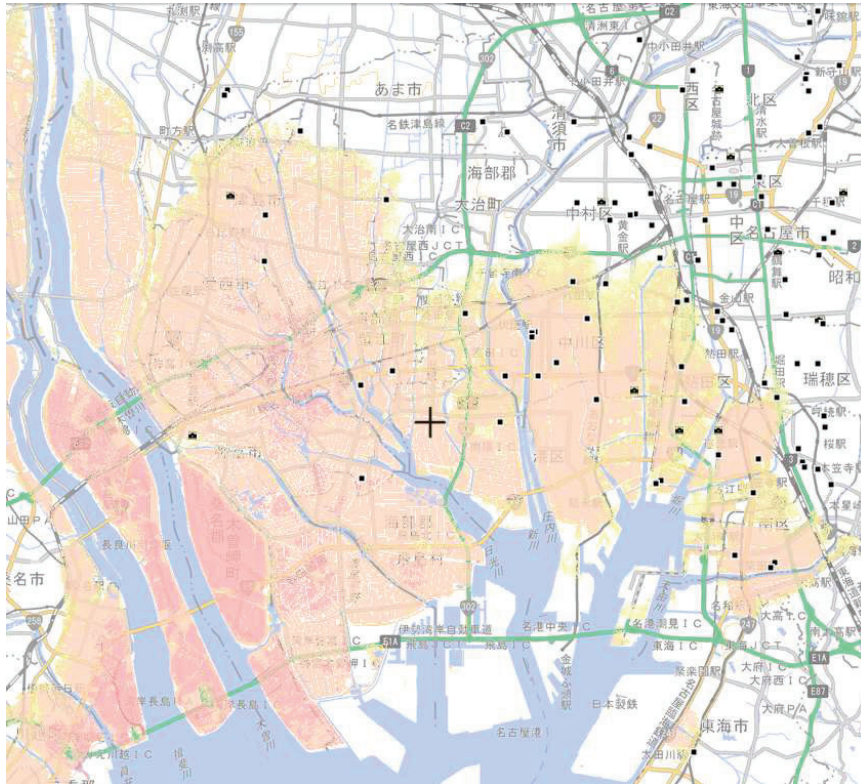


図 3-4 最大想定モデルの地震(陸側ケース)による地表震度分布  
(統計的グリーン関数法、線形応答計算による)



# 南海トラフ地震では

海拔ゼロメートル地帯は津波到達まで  
30分以上と思われがちですが……



# 水没地域の南海トラフ地震では

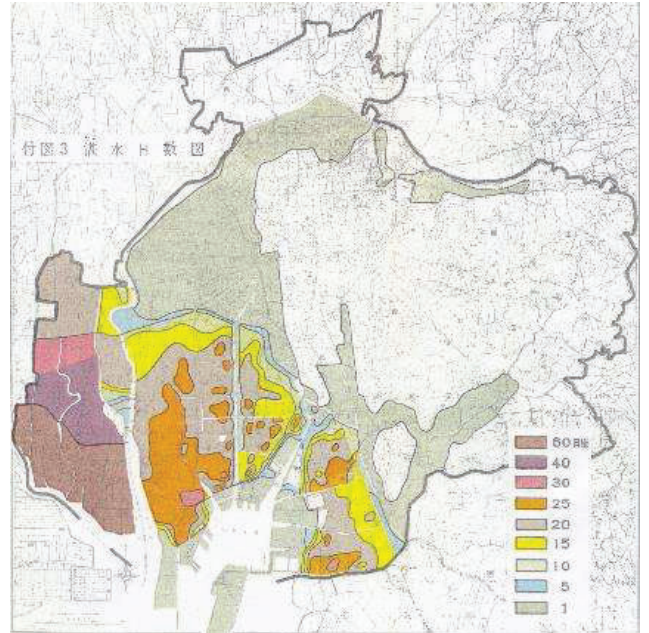
発災直後の地盤沈下、堤防決壊により  
30分以内30cm以上の浸水



	市町村	面積(km2)	面積比率	津波による 浸水区域	堤防沈下等 即時浸水区域	ゼロメートル 地帯
尾張 海部	名古屋市の	2.24	0.7%		○	○
	津島市	1.41	5.6%		○	○
	愛西市	1.43	2.1%		○	○
	弥富市	2.51	5.1%		○	○
	あま市	0.12	0.4%		○	○
	蟹江町	1.18	10.6%		○	○
	飛島村	1.93	8.6%		○	○
	小計	10.82				
知多	半田市	0.01	0.0%		○	
	常滑市	0.01	0.0%		○	
	東海市	0.06	0.1%		○	
	知多市	0.01	0.0%		○	
	東浦町	0.66	2.1%		○	
	南知多町	0.04	0.1%	○		
	美浜町	0.00	0.0%		○	
	武豊町	0.00	0.0%		○	
	小計	0.79				
西三河	西尾市	1.09	0.7%		○	○
	碧南市	0.51	1.4%		○	○
	刈谷市	0.38	0.8%		○	
	安城市	0.00	0.0%		○	
	高浜市	0.12	0.9%		○	
	小計	2.10				
東三河	豊橋市	1.98	0.8%	○	○	○
	田原市	3.12	1.6%	○		
	豊川市	0.08	0.0%		○	
	蒲郡市	0.01	0.0%		○	
	小計	5.19				
合計		18.90	0.37%※	3	22	10

# 伊勢湾台風:1959年

- 人的被害
  - 死者4,697人、行方不明者401人  
(うち愛知県で3,351人、うち名古屋市1,909人)
  - 負傷者3万8,921人
- 建物被害
  - 全壊家屋3万6,135棟
  - 半壊家屋11万3,052棟
  - 流失家屋4,704棟、
- 高潮・湛水の状況
  - 名古屋港最高潮位 5.31m
  - 市域の53% 130km<sup>2</sup>で浸水、  
25% 60km<sup>2</sup>が3週間以上湛水



## 名古屋掖済会病院の急性期対応

- 翌朝より、外部との交通はボート或いは筏。
  - 急造筏の作成、病棟間連絡用棧橋の架設
  - 屋根・窓ガラスの応急修理等。
  - 避難住民の食糧支給、衛生材料の補給、入院患者の食糧調達等。



本館玄関はまるで船着場。



浸水の中で活躍する給食部

# 名古屋掖済会病院の急性期対応

- 玉船町3丁目に臨時救護所を開設し、外来患者の診療を実施。
- ボートによる巡回診療班2隊を編成し、集団下痢が発生した避難所の診療・衛生指導等、悪疫蔓延を予防。
- 中川保健所とタイアップし、港区杵場町地区にて罹災者診療に従事等。



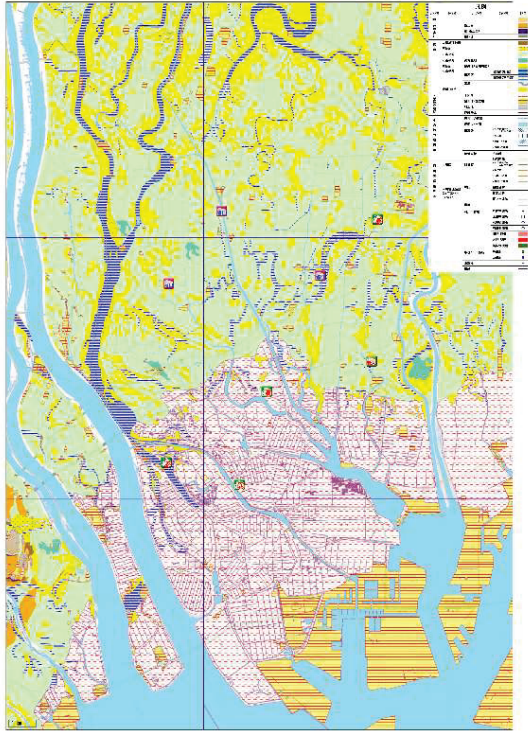
現在の災害時の保健医療に繋がるような、地域医療の継続・避難所対応等を実践

ご自身の施設はどうなるか

正しく認識しましょう

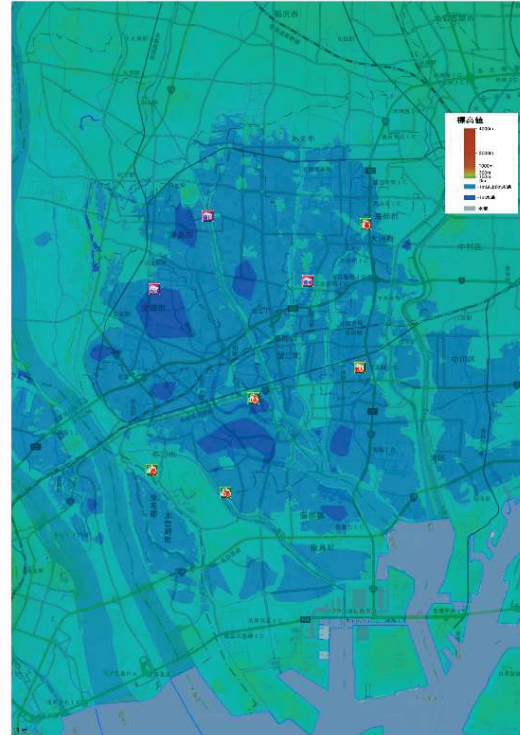
# 海部地区全域標高と地質

海部地区治水地形図



国土交通省ポータルサイトハザードマップで作成

海部地区標高図



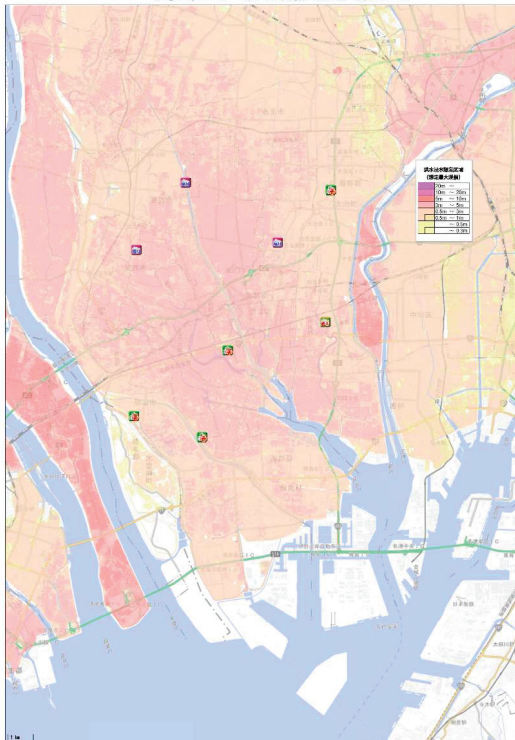
国土交通省 ハザードマップポータルサイトで作成

海部地区沿岸部は盛土埋立で標高が高い  
 南部は干拓地で海拔ゼロ以下が多い。  
 北部は河川氾濫による土砂で作られている(沖積層)

32

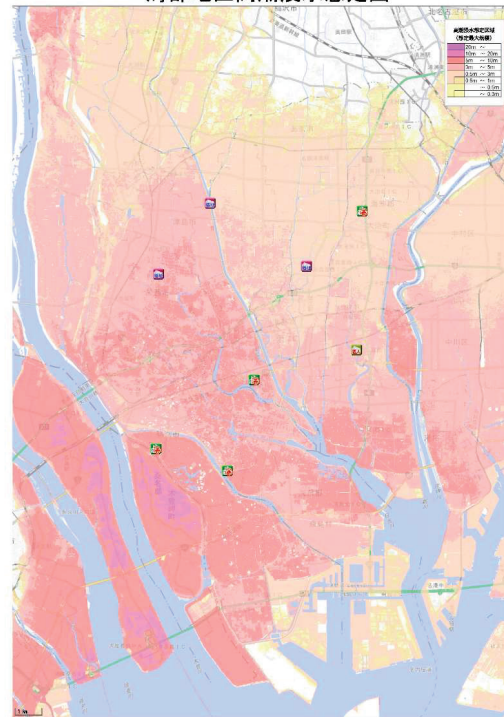
## 洪水・高潮

海部地区洪水浸水想定図



国土交通省ポータルサイトハザードマップで作成

海部地区高潮浸水想定図



国土交通省ポータルサイトハザードマップで作成

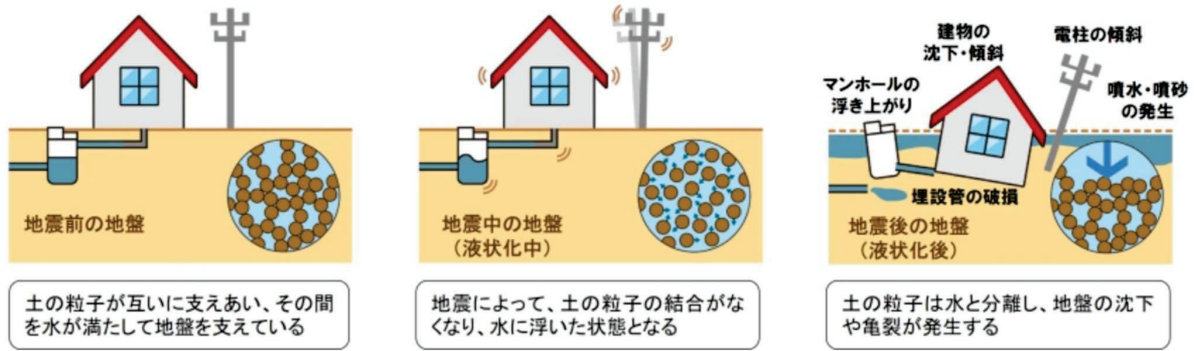
河川近くの低地は水が滞り、沿岸部が盛土であるため、河川からの排水しかなく、潮の影響があって水がひかない  
 停電・断水を伴う

33

36

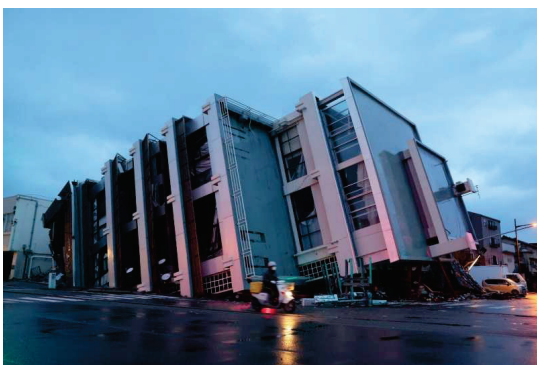
# 液状化現象

国土交通省URL ; [https://www.mlit.go.jp/toshi/toshi\\_fr1\\_000010.html](https://www.mlit.go.jp/toshi/toshi_fr1_000010.html)



主な被害	被害事例	生活に与える主な影響	影響を及ぼす期間の目安
噴水・噴砂・の発生		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自転車の埋没による緊急避難の遅れ</li> <li>● 宅地や生活道路内に堆積した土砂の撤去</li> <li>● 乾いた土砂の飛散による粉塵被害</li> </ul>	3日 1週間 1ヶ月 乾いた土砂の粉塵被害を含めると1か月程度
宅地や建物の被害		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 宅地地盤の沈下による上下水道管などの損傷</li> <li>● 住宅の機能障害(戸の開け閉めの不具合など)や傾いた家に住み続けることによる健康被害(めまいや吐き気など)</li> </ul>	被害の程度により長期間に及ぶ場合もある
道路の被害		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 道路の損傷に伴う緊急避難・救助活動の支障</li> <li>● 通行障害に伴う物流の停止</li> <li>● 道路の損傷による転倒や事故の発生</li> </ul>	応急復旧までは約1ヵ月程度
ライフライン施設の被害		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 上水(飲料水、洗濯水、トイレ水、風呂水など)の供給停止による生活障害</li> <li>● 下水道管の破損による生活障害(トイレ水や洗濯水などが排水できない)</li> <li>● 電気やガスの供給停止による生活障害</li> </ul>	被害規模によるが長くて1ヵ月程度

## 堆積層地域液状化被害



能登半島地震(2024)

写真: 日刊工業新聞2024、1、4掲載



北海道胆振地方中東部地震(2019)

<https://bosai-vita.com/sagai-skill/ekizyouka/>



能登半島地震(2024)

<https://news.livedoor.com/topics/detail/25660216/>

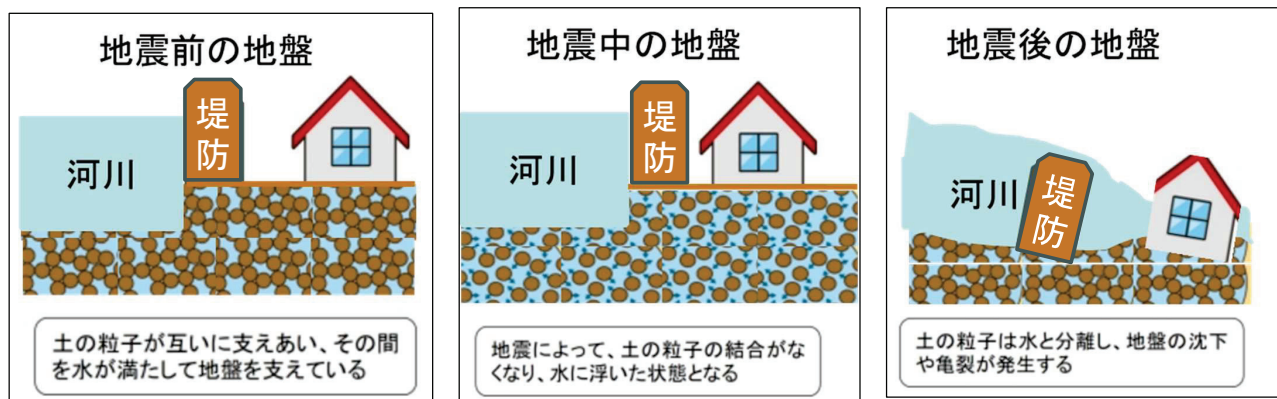


東日本大震災地震(2011)

<https://news.livedoor.com/topics/detail/25660216/>

# 河川堤防は？

国土交通省URL; [https://www.mlit.go.jp/toshi/toshi\\_fr1\\_000010.html](https://www.mlit.go.jp/toshi/toshi_fr1_000010.html) 一部改変



耐震化された堤防も、液状化により地盤沈下、亀裂が発生し、越水する可能性あり。

## 東日本大震災 宮城県 南三陸町



# 東日本大震災 宮城県 南三陸町

町民が住む沖積層、干拓地 . . . .



# 東日本大震災 宮城県 南三陸町

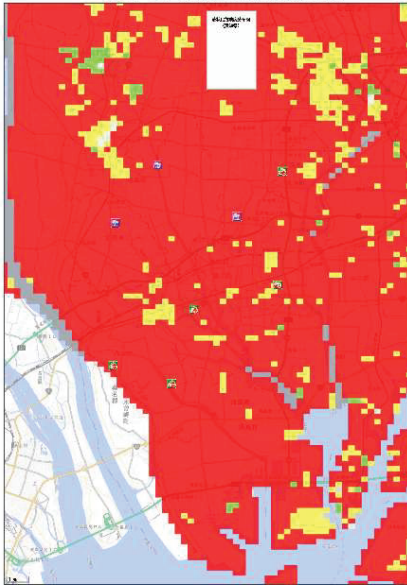
地震・津波到来4日後 . . . .



# 南海トラフ地震規模の地震がくれば 全域震度6強以上+

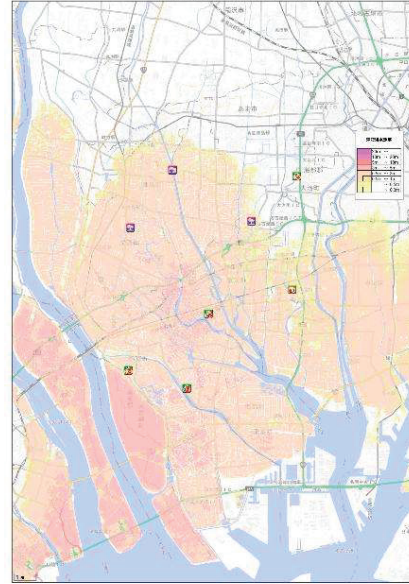
- 全域土砂で作られている土地のため液状化となり、地盤沈下が生じる。
- 非耐震構造の建物は倒壊する可能性が高い。
- 道路も亀裂し、電線・ガス管・水道管にも障害を生じる。
- 津波浸水域はほぼ全域、3m近くの浸水で平屋建て建物は冠水する。

海部地区液状化危険度分布図



国土交通省 ハザードマップポータルサイト作成

海部地域津波浸水想定図



国土交通省 防災情報センター作成

40

## デスクトップのHTMLで確認(震度分布)

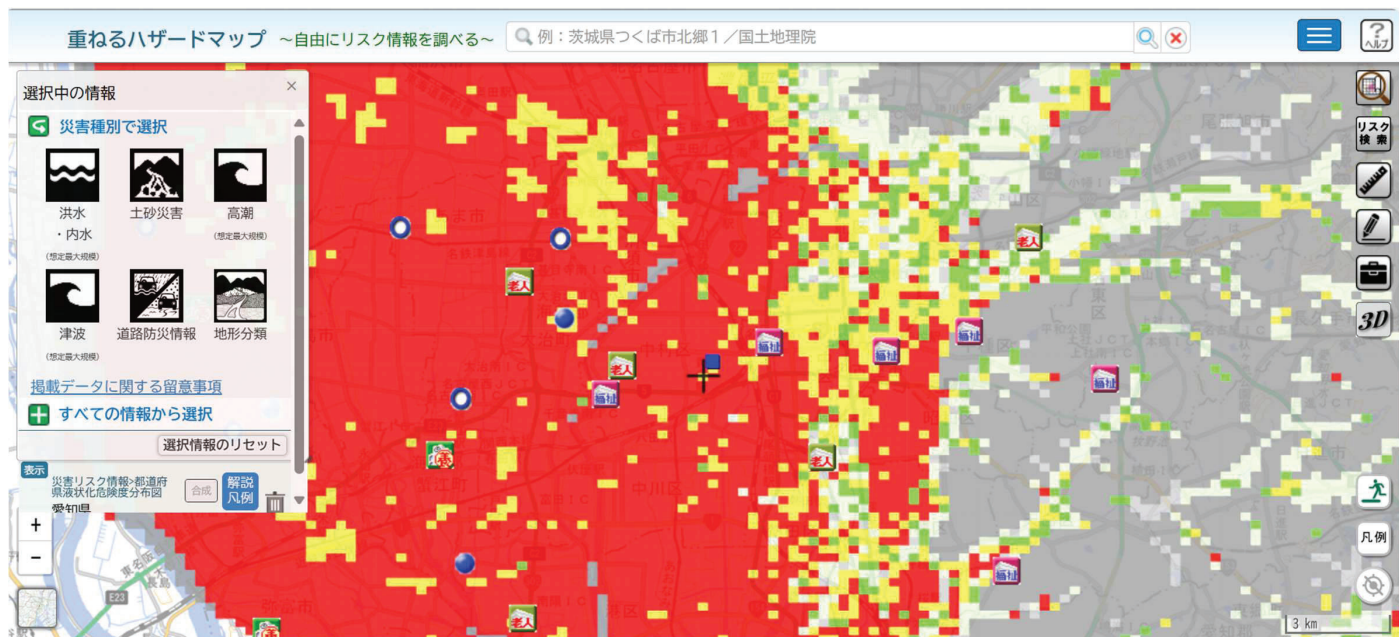


【震度分布図】施設入りハザードマップ.html

# デスクトップのHTMLで確認(液状化)



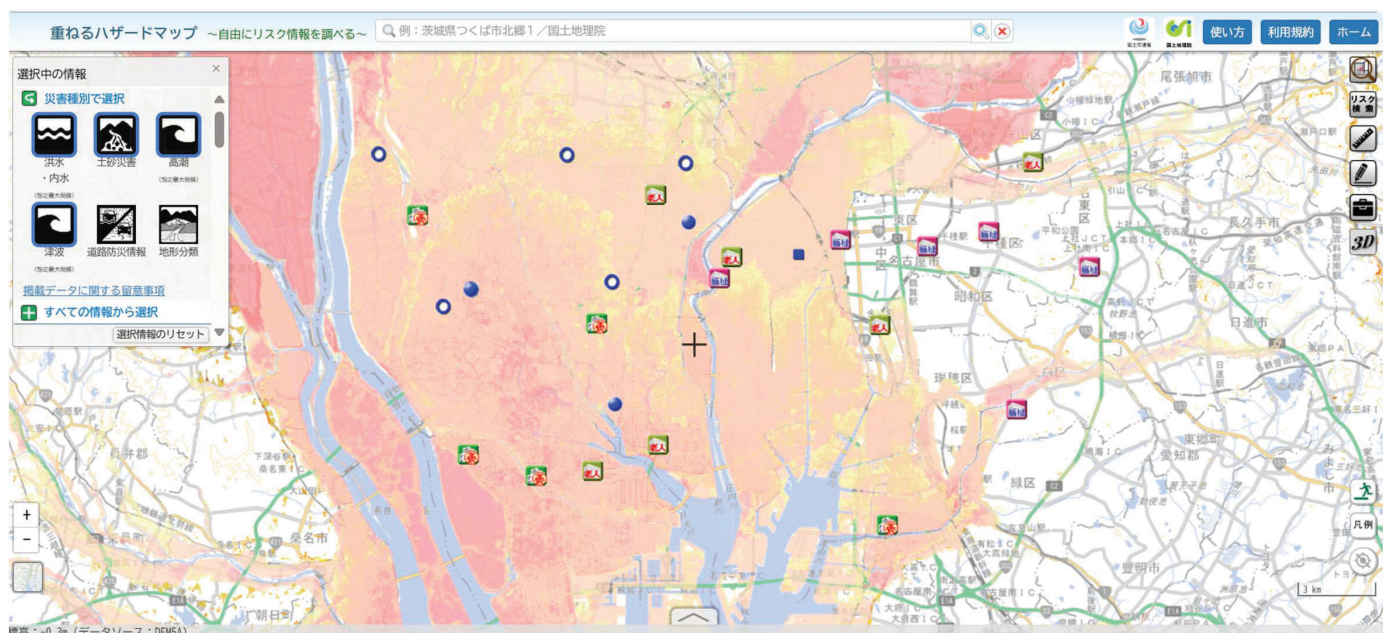
【液状化分布図】施設入りハザードマップ.html



# デスクトップのHTMLで確認 (洪水・高潮・土砂・津波)



【津波・洪水・高潮・土砂】施設入りハザードマップ.html



# 実習1

## 施設の被害状況予測と災害対応

平時シート入力、ハザードマップ参照したリスク分析

## 何故 被害予測が必要か？

### 水害による主な高齢者介護施設被害と対応の経緯

【平成28年8月台風10号 岩手県 グループホーム】

浸水により利用者9名死亡

- ◆ 防災情報の理解不足
- ◆ 避難確保計画未作成
- ◆ 訓練が行われてなかった

令和29年6月 [水防法の改正](#) 避難確保計画作成・避難訓練実施の義務化  
(国土交通省水管理・国土保全局)  
介護保険施設等における非常災害対策計画の作成及び避難訓練の実施状況の点検及び指導・助言について

【令和2年7月豪雨 熊本県 特別養護老人ホーム】

浸水により1階利用者17名のうち14名死亡

- ◆ 洪水浸水リスクの欠如
- ◆ 計画上の第1避難先・第2避難先とも浸水
- ◆ 業務継続の困難性からの避難躊躇
- ◆ 訓練が行われてなかった

令和3年3月 [高齢者福祉施設における避難の実効性を高める方策について](#)  
(厚生労働省老健局、国土交通省水管理・国土保全局)  
令和4年3月 [要配慮者利用施設における避難確保計画の作成・活用の手引き](#)  
(国土交通省水管理・国土保全局)

※引用:「高齢者福祉施設における避難の実効性を高める方策について」令和2年7月豪雨を踏まえた高齢者福祉施設の避難確保に関する検討会、令和3年3月

# DH-Winsを活用した被害予測と情報共有

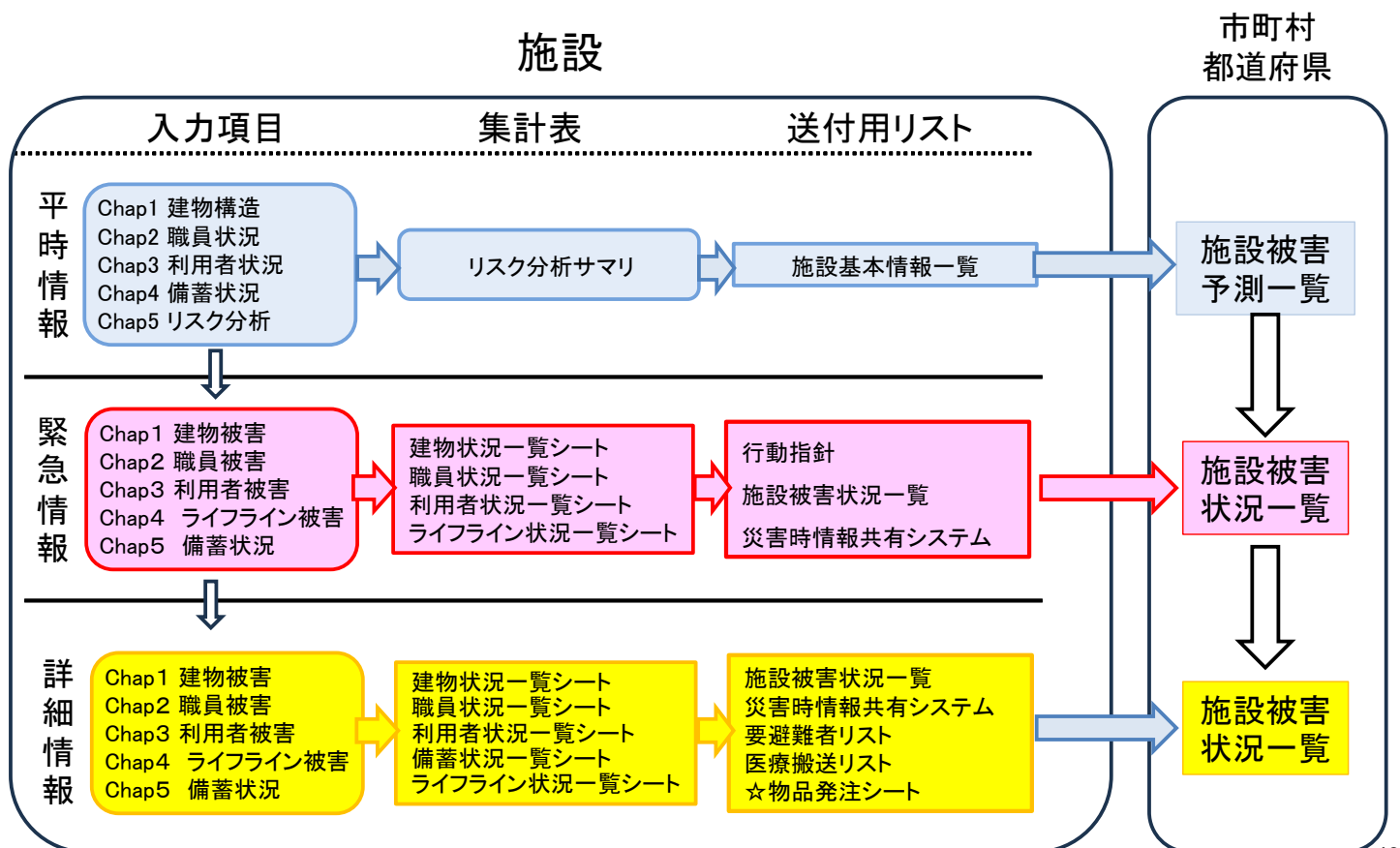
(既存の入力システム)

災害時情報共有システム → 災害発生時に起動  
 介護サービス公表システム → 災害対応情報の不足

- DH-Winsを活用し、補完情報を入力
- 平時から施設機能、利用者、職員状況を管理
- 施設機能を職員、法人、行政と共有

**命をつなぐ情報共有とBCP強化**

## 情報項目と共有方法



# では、さっそく 施設被害を予測しましょう!!

## はじめに

### 1 ダウンロードしたエクセルファイルのセキュリティを確認



- ① 施設用ファイルを右クリック
- ② プロパティを右クリック

- ③ 全般タブをクリック
- ④ プロパティ画面下にセキュリティ表示があれば、
- ⑤ 許可するボタン をクリックし、⑥適応ボタンをクリック
- ⑥ セキュリティ表示がなければ適応ボタンをクリック

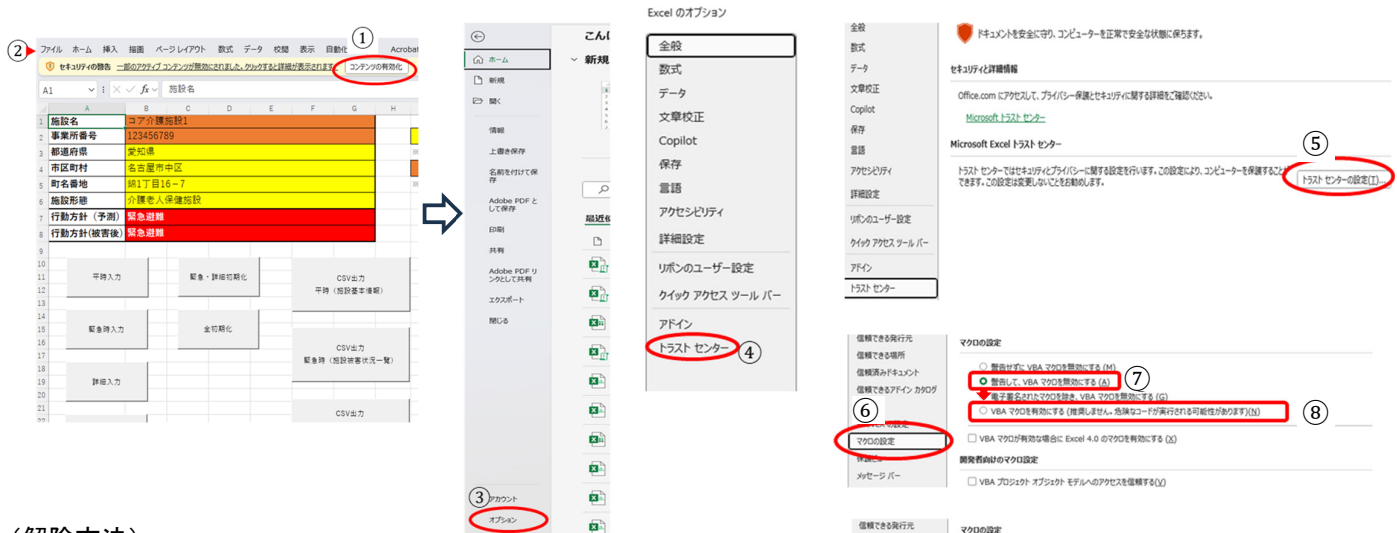
※セキュリティ機能を許可しなければリンク機能がブロックされます。

2. セキュリティ確認後、①ファイルをダブルクリックして開けます。

3. ファイルを開けた時に保護ビューメッセージが表示されたら **編集を有効にする** をクリックしてください

# ファイルを開けて「コンテンツの有効化」が表示されたら

① エクセルのバージョンよりシート上段に「コンテンツの有効化」が表示される場合があります。



(解除方法)

- ② 表示されたら、上段左のファイルを開き
- ③ オプションをクリック、オプション下段の④トラストセンターをクリック
- ⑤ トラストセンター画面の「トラストセンター設定ボタン」をクリック
- ⑥ 画面が変わったら左中段のマクロ設定をクリック
- ⑦ ラジオボタンを「警告してVBAマクロを無効にするにする」から
- ⑧ 「VBAマクロを有効にする(推奨しません。危険なコードが実行される可能性があります)」に変更
- ⑨ 「VBAマクロが有効な場合にExcel4.0のマクロを有効にする。」ラジオボタンをクリック
- ⑩ 画面右下のOK暴乱をクリック
- ⑪ ④トラストセンター画面に戻ったら画面右下のOKボタンをクリック

## INDEX

施設用エクセルファイルを開けるとINDEX画面が表示されます。



1 オレンジセル①、②は必須入力  
黄色セルの部分を手入力

- ① 施設名
- ② 事業所番号; 公表システム登録事業所番号
- ③ 施設所在地; 愛知県)
- ④ 施設所在地; 市町村名
- ⑤ 施設所在地; 町名番地
- ⑥ 施設形態; 主の登録サービス
- ⑦ 行動方針(予測); 平時入力完了後自動表示  
行動方針(被害後): 詳細入力まで入力後自動表示

2 ⑧平時入力ボタンをクリック

入力するシート名を選択

- ⑧ 平時入力シート
  - a. 建物構造
  - b. 職員状況
  - c. 利用者状況
  - d. 備蓄状況
  - e. リスク分析

# INDEX-2

## 緊急時入力、詳細入力、集計、CSV機能

The screenshot shows a spreadsheet with the following data:

施設名	コア介護施設1	①
事業所番号	123456789	②
都道府県	愛知県	③
市区町村	名古屋市中区	④
町名番地	錦1丁目16-7	⑤
施設形態	介護老人保健施設	⑥
行動方針(予測)	緊急避難	⑦
行動方針(被害後)	緊急避難	

Navigation buttons include: ⑧ 平時入力, 緊急・詳細初期化, CSV出力(平時), ⑨ 緊急時入力, 全初期化, CSV出力(緊急時), ⑩ 詳細入力, 集計, CSV出力(詳細時).

Legend for movement directions:

※行動方針	被害確認後
予測	緊急避難
緊急避難	緊急避難
避難避難	避難避難
避難支援	避難支援
災害	災害

### 各入力シート

#### ⑨ 緊急時入力シート

発災後、緊急確認した被害状況を入力

- 建物被害緊急情報(階層別被害)
- 職員被害緊急情報(現在地・所在地)
- 利用者被害緊急情報(安否・現在地)
- ライフライン被害緊急情報(停電・断水状況)
- 備蓄状況緊急入力(平時情報変更時入力)

#### ⑩ 詳細入力シート

経時的に各被害状況確認し入力

- 建物構造(階層・場所)
- 職員状況(安否・所在地・健康状況)
- 利用者状況(安否・所在地・健康状況)
- ライフライン被害(停電・断水状況)
- 備蓄状況(平時情報変更時入力)

### 他ボタン機能

集計; 建物被害、職員・利用者被害、施設被害状況、災害時情報共有システム入力一覧の印刷、閲覧

CSV; 送付用施設機能基本情報、被害状況報告一覧要避難者リストのCSV化


## 平時入力 a.建物構造

- 災害対応に関する施設の建物構造について黄色セル入力欄に入力します。
- オレンジセルのデータは災害時被害予測の根拠となりますので**必須入力**です。
- 公的支援機関と共有することにより、迅速な支援方法が検討されます。
- このデータは災害発生後の緊急・詳細情報に自動反映します
- 選択入力はセルのフィルターをクリックし、該当するデータを選択してください。
- 更新日時は自動表示

区分	入力方法	入力欄	入力内容
主要棟建物高層	選択	3 階建	建物1階3mとして浸水高(m)から建物の何パーセント浸水するかを算定するため地上階数を入力
主要建物完成年(西暦)	数値	1991 年	定礎年を数値入力(建築基準法上新耐震基準1981年前後かの把握)
棟耐震状況	選択	耐震	建物の耐震内容を選択入力
非耐震棟の耐震指標(IS)	数値	0.4	耐震診断を受けた場合は耐震指標値を入力
主要建物浸水対策	選択	無	盛土、土嚢、止水板などの止水対策の有無を入力
浸水対策方法	選択	土嚢	上記内容を選択入力
避難スロープ設置	選択	有	建物上位階への避難スロープの有無を入力
介護車両保有数	数値	3 両	仰臥位、坐位で搬送できる車両数を数値入力
避難用ボート	選択	無	筏、小型舟艇等の保有有無
近隣中高層避難場所	選択	無	直近に非浸水階がある建築物保有者との避難了承有無を入力

施設管理担当者が中心となって入力しましょう!!

# 平時入力 a.建物構造 選択項目

1. 入力欄をクリックし、セル右側に表示されるプルダウンマーク  をクリック
2. 選択項目が表示されたら該当項目をクリック
3. 選択項目は下表のとおり

入力欄	
3	耐震
1	年
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	

【選択項目】 オレンジセルは必須

入力項目	選択項目								
	1	2	3	4	5	6	7	8	9
主要棟建物高層									
棟耐震状況	免震	制震	耐震	一部耐震	非耐震				
主要建物浸水対策	有	無							
浸水対策方法	盛土	止水版	土嚢	その他					
避難スロープ設置	有	無							
避難用ポート	有	無							
近隣中高層避難場所	有	無							

施設管理担当者が中心となって入力しましょう!!

# 平時入力 b.職員状況

1. **オレンジセル**NoはIDとなりますので**必須入力**。連番で01から2桁数字で作成
2. オレンジ・黄色セルデータは災害発生後の緊急・詳細情報に自動反映します。
3. 他機関と情報共有するデータは集計データですので個人情報漏洩しません。

(入力方法)

- ① 入力職員対象者数を入力します。入力欄が自動表示されます。
- ② 別に職員情報を電子管理している場合はNo(職員番号等)、氏名、年齢、性別、職種、勤務体系をコピーペーストして貼り付けます

No	更新日時	氏名	年齢	性別	職種	勤務	入力枠数
01	2025/10/14 10:02	a	40	男	施設長	常勤	5
02	2025/10/14 10:02	b	35	男	医師	常勤	
03	2025/10/14 10:02	c	38	女	看護師	非常勤	

黄色セル ←入力・選択肢項  
※上記以外は自動入力または平  
オレンジセル ←入力・選択必須  
※入力されていない場合、シート

(コピーペーストできない場合)

No. ; 連番で01から2桁数字で作成  
氏名 ; 手入力  
年齢 ; 数値入力  
性別 ; 男・女の選択入力

職種 ; 施設長、医師、看護師、介護士、  
生活相談員、理学療法士、厨房職員、  
事務員、その他 から選択  
勤務 ; 常勤・非常勤の選択入力

# 平時入力 c.利用者状況

- オレンジセルNoはIDとなりますので**必須入力**。連番で101から3桁数字で作成
- オレンジ・黄色セルデータは災害発生後の緊急・詳細情報に自動反映します。
- 他機関と情報共有するデータは集計データですので個人情報漏洩しません。

(入力方法)

- 入力職員対象者数を入力します。入力欄が自動表示されます。
- 別に職員情報を電子管理している場合はNo(利用者番号等)、居住室、居住階、氏名、年齢、性別、介護度、継続医療をコピーペーストして貼り付けます
- 更新日時は利用者情報入力完了後自動表示

No	更新日時	居住室	居住階	氏名	年齢	性別	介護度	継続医療	入力枠数	5
001	2025/10/14 10:03	101	1	aa	80	男	介護3	人工呼吸管理		
002	2025/10/14 10:03	101	1	bb	88	女	介護1	透析	黄色セル	←入力・選択肢
003	2025/10/14 16:05	202	2	cc	75	男	介護5	酸素投与	※上記以外は自動入力または平	
004	2025/10/14 16:05	301	3	dd	79	男	介護4	喀痰吸引	オレンジセル	←入力・選択必
005	2025/10/14 16:23	302	3	ee	90	女	介護5	中心静脈栄養	※入力されていない場合、シー	

(コピーペーストできない場合)

No. ; 連番で101から3桁数字で作成

居住室 ; 居住室名を手入力

氏名 ; 手入力

年齢 ; 数値入力

性別 ; 男・女の選択入力

介護度 ; 支援1、支援2、介護1、介護2、介護3、介護4、介護5の選択入力

継続医療 ; 人工呼吸管理、酸素投与、喀痰吸引、インスリン投与、

経管栄養、中心静脈栄養、透析 の選択入力

# 平時入力 d.備蓄状況

- オレンジセルは緊急支援の判断材料となりますので**必須入力**
- 災害対応に関する施設の建物構造について黄色セル入力欄に入力します。
- このデータは災害時被害予測の根拠となります。
- 公的支援機関と共有することにより、迅速な支援方法が検討されます。
- このデータは災害発生後の緊急・詳細情報に自動反映します。

更新日時 : 2025/10/14 22:56

区分	備蓄物品	入力方法	入力欄	選択項目												
通信	災害用時通信機器	選択	衛星電話	高速衛星通信	衛星電話	防災無線	MCA無線	トランシーバー	無							
	固定電話番号	数値入力 (ハイフンあり)	052-000-0000													
	携帯電話番号	数値入力 (ハイフンあり)	090-0000-0000													
	衛星携帯電話番号	数値入力 (ハイフンあり)	876-0000-0000													
	メールアドレス	数値入力	aaa@bbb-nc.jp													
電気	主要発電機種	選択	自家発	自家発	発動発電機	充電式蓄電池	太陽光蓄電池	無								
	※併用がある場合	選択	発動発電機	自家発	発動発電機	充電式蓄電池	太陽光蓄電池	無								
	主要発電機燃料油種	選択	軽油	A重油	軽油	灯油	LNG(都市ガス)	LPG(プロパン)	ガソリン混合油	太陽光	その他					
	主要燃料タンク設置位置	選択	屋外	地下	屋外	1F	2F	3F	4F	5F以上						
	主要配電盤設置場所	選択	屋外	地下	屋外	1F	2F	3F	4F	5F以上						
	自家発稼働日数 (平時使用電力60%使用)	選択	1	0	0.5	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
	蓄電池	選択	有	有	無											
飲料水	飲料水備蓄対象	選択	入所者+職員	入所者	入所者+職員											
	飲料水備蓄方法	選択	ペットボトル	ペットボトル	井戸水	貯水槽落下式	貯水槽汲上式									
	飲料水備蓄量 (ℓ)	数値入力 (単位なし)	3000													
	飲料水備蓄日数 (日)	選択	3	0	0.5	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
生活用水	生活用水備蓄対象	選択	入所者+職員	入所者	入所者+職員											
	生活用水備蓄方法	選択	貯水槽落下式	ペットボトル	井戸水	貯水槽落下式	貯水槽汲上式									
	生活用水備蓄量 (ℓ)	数値入力 (単位なし)	3000													
トイレ	生活用水備蓄日数 (日)	選択	3	0	0.5	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
	災害用トイレの有無	選択	有	有	無											
食糧	災害用トイレ種別	選択	おむつ	仮設トイレ	簡易トイレ	おむつ	その他									
	食料備蓄対象	選択	入所者+職員	入所者	入所者+職員											
	食料備蓄日数 (日)	選択	3	0	0.5	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
冷暖房	災害時冷房装置	選択	スポットクーラー	スポットクーラー	扇風機	うちわ	その他									
	災害時暖房装置	選択	ストーブ (灯油)	ストーブ (灯油)	ファンヒーター (灯油)	電気ストーブ	薪ストーブ	木炭	その他							
ガス	供給ガス種類	選択	都市ガス	都市ガス	プロパンガス											
	補充ガス種類	選択	なし	なし	プロパンガスボンベ	カートリッジガスボンベ	その他									

# リスク分析

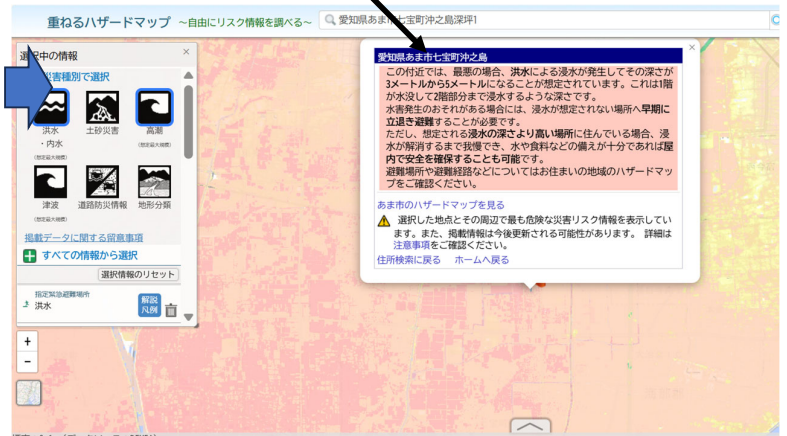
高潮、洪水、津波浸水予測値、土砂災害警戒区域

国土交通省ポータルサイトハザードマップの活用

<https://disaportal.gsi.go.jp/>



- 高潮、洪水、津波浸水予測値、土砂災害警戒区域の表示



# リスク分析 液状化危険度

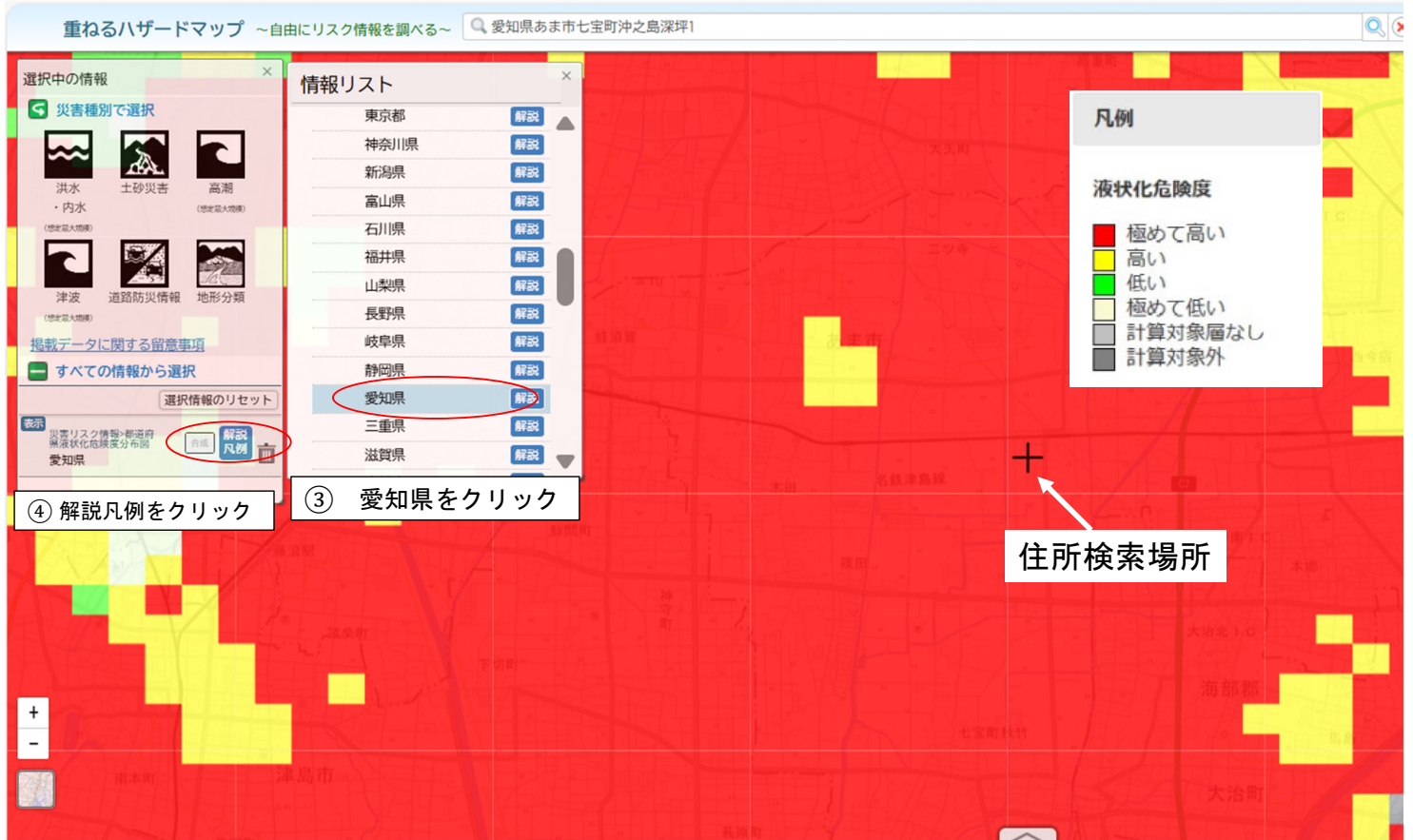
国土交通省ポータルサイトハザードマップの活用



次頁あり

# リスク分析 液状化危険度

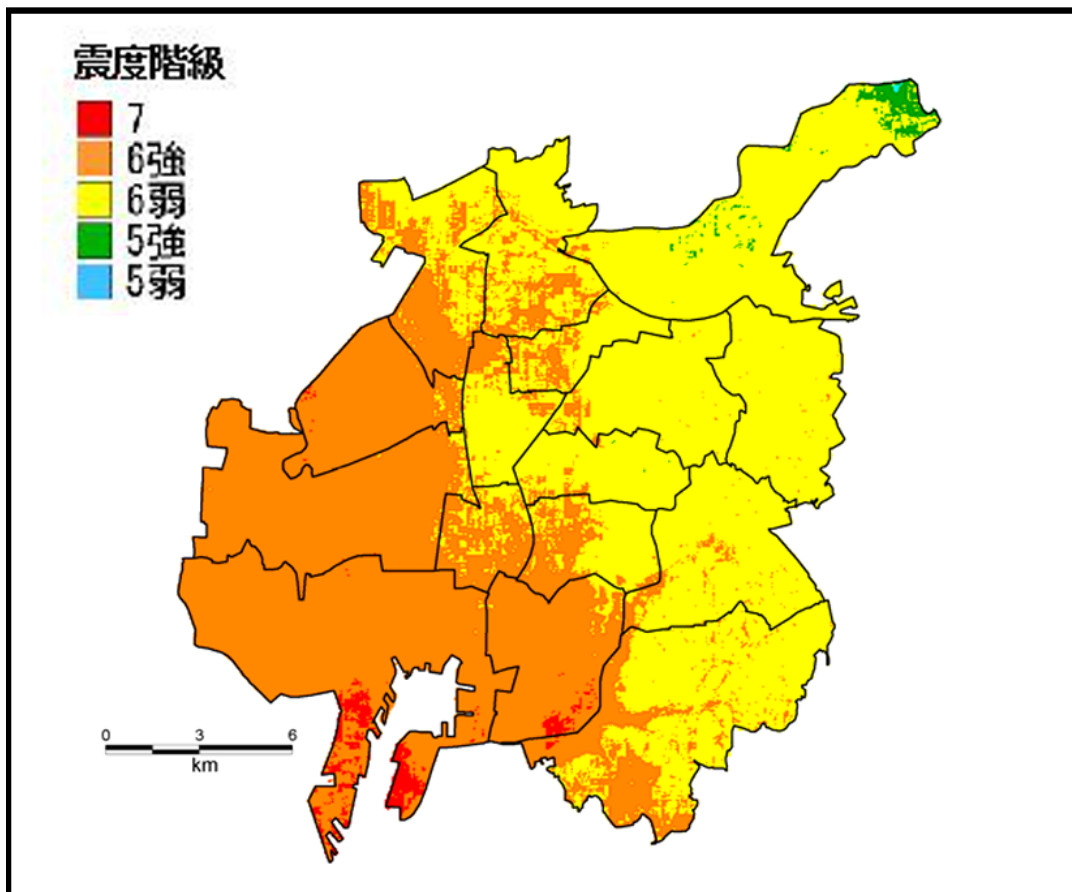
住所検索場所の色表示を凡例にて液状化危険度を把握



# リスク分析

震度分布(南海トラフ地震陸側震源想定)

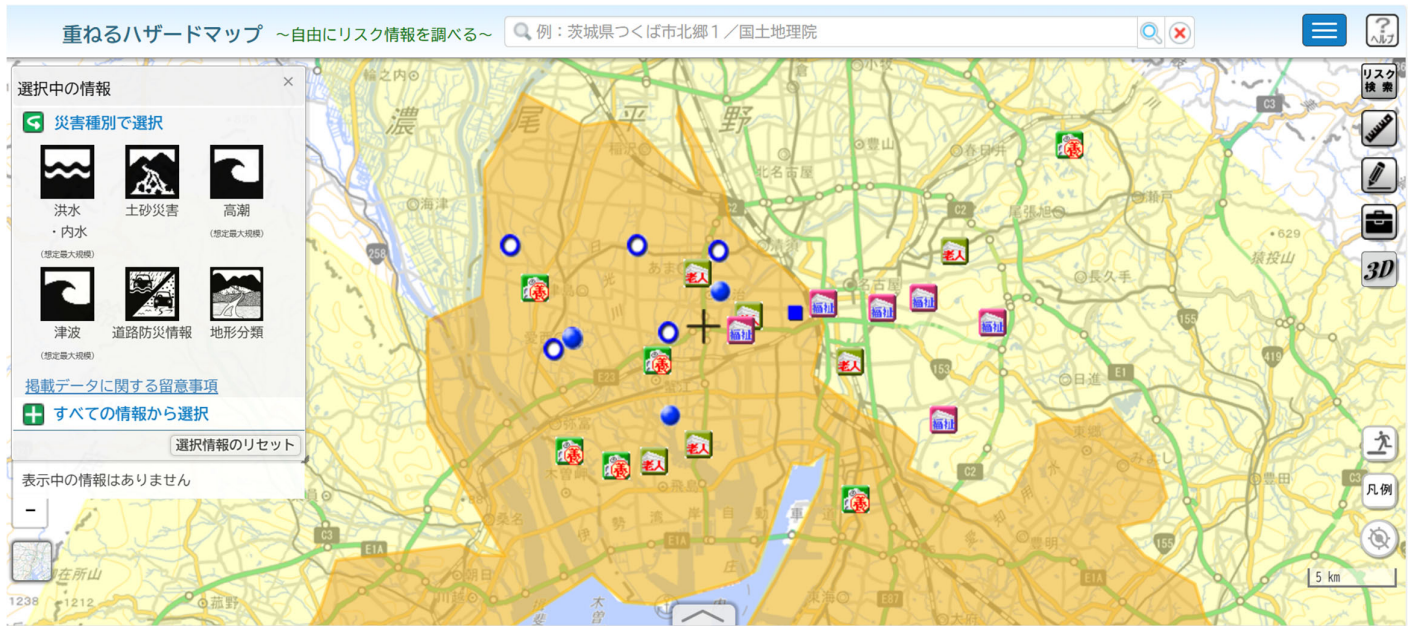
各市町村ハザードマップで確認



# デスクトップのHTMLで確認(震度分布)



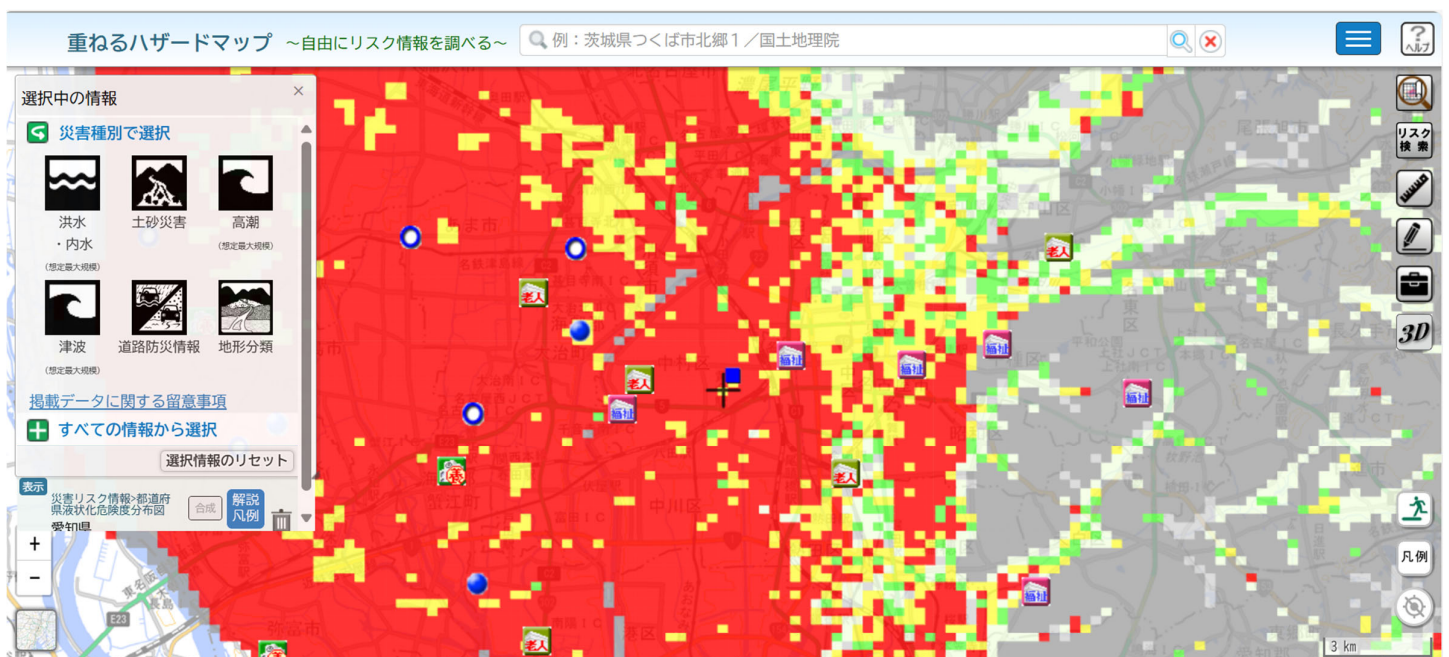
【震度分布図】施設入りハザードマップ.html



# デスクトップのHTMLで確認(液状化)



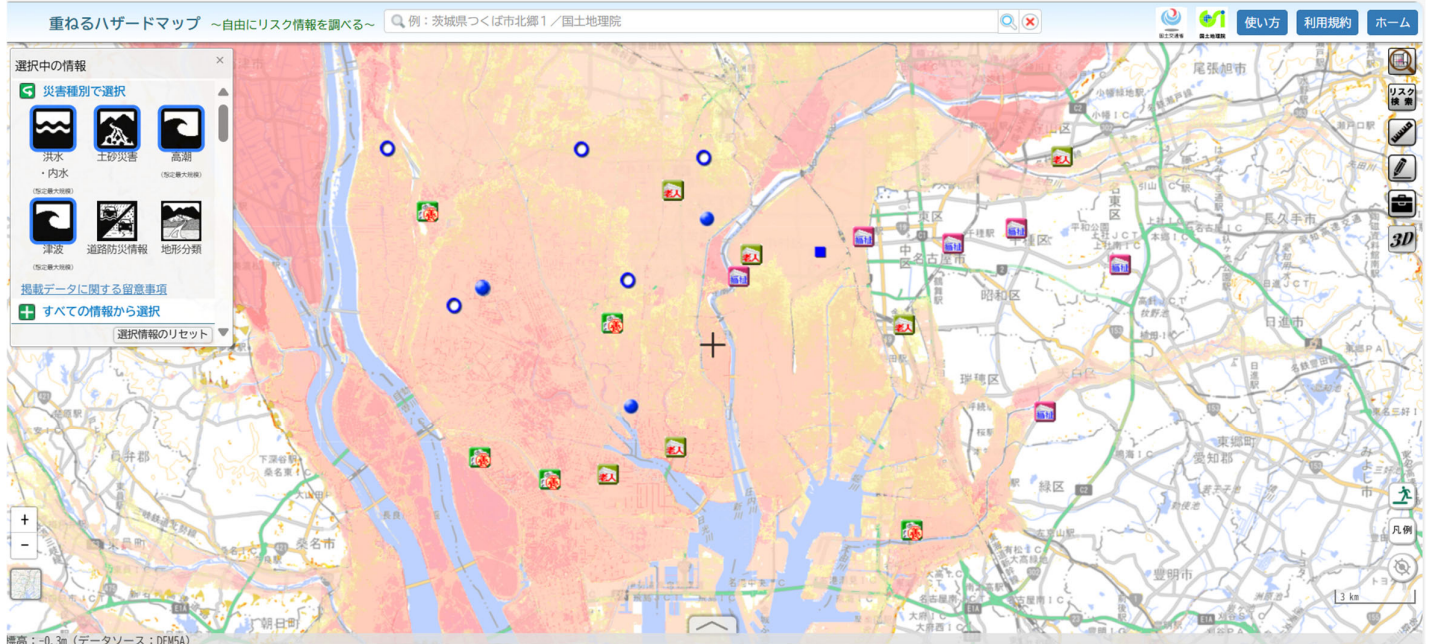
【液状化分布図】施設入りハザードマップ.html



# デスクトップのHTMLで確認 (洪水・高潮・土砂・津波)



## 【津波・洪水・高潮・土砂】施設入りハザードマップ.html



## リスク分析シートへの入力

### ハザードマップ表示値を選択入力

入力欄			黄色セル ← 入力・選択肢項目											
ハザードマップ表示			※上記以外は自動入力または平時入力からの参照で、編集不可。											
種別		入力	選択項目											
浸水	高潮最大浸水(m)		0.3	0.5	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	津波最大浸水(m)	0.5												
	洪水最大浸水(m)													
地震	液状化危険度	極めて高い	極めて高い	高い	低い	極めて低い	無							
	最大震度	6強	7	6強	6弱	5強	5弱	4	3	2	1			
土砂災害	急傾斜の崩壊													
	土石流		特別警戒区域	警戒区域	幹線経路特別警戒区域	幹線経路警戒区域								
	地滑り													

# リスク分析サマリー(自動集計)

ハザードマップ表示		入力欄			施設機能			リスク分析			行動計画				
種別	平時入力値	種別	平時入力値	建物被害	停電 断水	ライフライン維持			孤立化	職員参集	避難方法	行動計画	緊急支援 要請内容		
種別	平時入力値	種別	平時入力値	建物被害	停電 断水	電気	水	食糧	孤立化	職員参集	避難方法	行動計画	緊急支援 要請内容		
浸水	高潮最大浸水(m)	1	建物構造	建物高層	3	半壊	可能性大				極めて高い	水路or空路	垂直避難	緊急物資要請	緊急物資支援
	津波最大浸水(m)	3		棟耐震状況	耐震	半壊	可能性大					極めて高い	水路or空路	垂直避難	緊急物資要請
	洪水最大浸水(m)	0.5	備蓄状況	自家食 備蓄日数	1	一部損壊	可能性中				高い	水路or空路	垂直避難	緊急物資要請	緊急物資支援
地震	液化化危険度	高い		飲料水 備蓄日数	3	被害リスク低	可能性大	1日	3日	3日	高い	水路or空路		緊急物資要請	緊急物資支援
	最大震度	7		食料 備蓄日数	3										
土砂災害	急傾斜の崩壊														
	土石流														
	地滑り														

仮想リスク分析では浸水、地震で垂直避難が求められ、緊急物資支援が必要と表示されています。

## 質 問

皆さんの施設のリスク分析はどのようなでしたか  
分析結果から次の状況のBCPはどう書いてありますか。

- 1 南海トラフ地震臨時情報巨大地震警戒発令時
- 2 気象レベル3以上の高齢者避難が発令されたとき

## 平時情報(施設基本情報報告)の送付

施設名	コア介護施設1
事業所番号	123456789
都道府県	愛知県
市区町村	名古屋市中区
町名番地	錦1丁目16-7
施設形態	介護老人保健施設
行動方針(予測)	緊急避難
行動方針(被害後)	緊急避難

平時入力

緊急時入力

詳細入力

集計

緊急・詳細初期化

全初期化

① 平時(施設基本情報)

CSV出力  
緊急時(施設被害状況一覧)

CSV出力  
詳細時(施設被害状況一覧・要  
聴者リスト・医療搬送リスト)



01 変更ア... > CSV > CSVの検索

③ 新しいフォルダー

名前	更新日時	種類
CSV	2025/10/08 14:33	ファイル フォ
CSV緊急情報被害状況	2025/10/08 13:27	ファイル フォ
② CSV施設基本情報	2025/10/08 13:26	ファイル フォ
CSV詳細情報	2025/10/08 13:38	ファイル フォ

フォルダ名(N): CSV施設基本情報

ツール(L) OK キャンセル

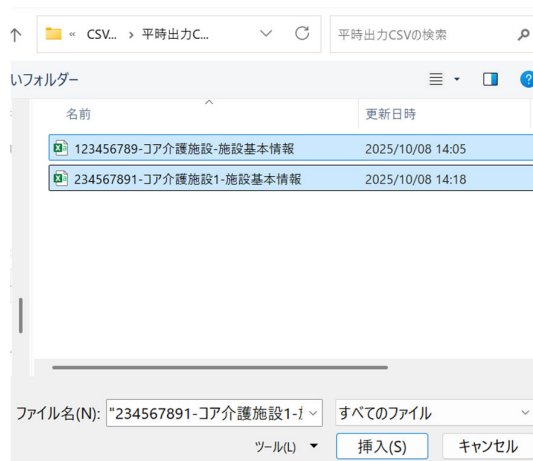
- ① 平時出力ボタンをクリック
- ② 保存先フォルダ名が表示されたら「CSV施設基本情報」に保存指定
- ③ 保存先フォルダがない場合は「新しいフォルダー」をクリックして「「CSV施設基本情報」とフォルダ名を作成し②同様に保存
- ④ 保存先フォルダから格納CSVを開け、内容を確認
- ⑤ メールにて施設基本情報報告CSVを市町村に送付

# 平時情報(施設基本情報報告)の送付

メールで直接送付してください

メールアドレスはコンタクトリストのおりです。

送付データは先ほど保存したフォルダから選択し添付します。



## コンタクトリスト

No.	市町村	施設名	担当者	PC	メールアドレス
1	津島市	特別養護老人ホーム長寿の里・津島	花木 美雄	持ち込み不可能	<a href="mailto:sisetu01@aichi-med-u.ac.jp">sisetu01@aichi-med-u.ac.jp</a>
2	愛西市	ガーデンハウス明範荘	大畑 勇樹	可能	<a href="mailto:soudan@meihansou.jp">soudan@meihansou.jp</a>
3	愛西市	さやの森	北村 一貴	可能	<a href="mailto:k_kazuki_toyo@yahoo.co.jp">k_kazuki_toyo@yahoo.co.jp</a>
4	愛西市	小規模多機能型居宅介護事業所悠縁	青木 弘光	可能	<a href="mailto:yuenkokibo4141@yahoo.co.jp">yuenkokibo4141@yahoo.co.jp</a>
5	愛西市	グループホーム悠縁	岡田 大輔	可能	<a href="mailto:gh_yuuen@yahoo.co.jp">gh_yuuen@yahoo.co.jp</a>
6	蟹江町	カリヨンの郷	靱山 英樹	可能	<a href="mailto:11250322hideki@infoseek.jp">11250322hideki@infoseek.jp</a>
7	飛島村	老人保健施設 ヴィラとびしま	伊藤 幸典	持ち込み不可能	<a href="mailto:sisetu02@aichi-med-u.ac.jp">sisetu02@aichi-med-u.ac.jp</a>
8	名古屋市南区	特別養護老人ホームケアマキス柴田	服部 正也	持ち込み不可能	<a href="mailto:sisetu03@aichi-med-u.ac.jp">sisetu03@aichi-med-u.ac.jp</a>
1	津島市	ケアハウス陽だまりの里	中野 高史	持ち込み不可能	<a href="mailto:sisetu04@aichi-med-u.ac.jp">sisetu04@aichi-med-u.ac.jp</a>
2	弥富市	にじいろあすなろ	横道 知里	可能	<a href="mailto:smile294@chic.ocn.ne.jp">smile294@chic.ocn.ne.jp</a>
3	愛西市	複合介護施設 悠縁 (グループホーム悠縁)	西尾 幸尚	持ち込み不可能	<a href="mailto:sisetu05@aichi-med-u.ac.jp">sisetu05@aichi-med-u.ac.jp</a>
4	飛島村	特別養護老人ホームやすらぎの里	黒木 貴哉	持ち込み不可能	<a href="mailto:sisetu06@aichi-med-u.ac.jp">sisetu06@aichi-med-u.ac.jp</a>
5	名古屋市	医療法人親和会 老人保健施設松和苑	池田 孝	持ち込み不可能	<a href="mailto:sisetu07@aichi-med-u.ac.jp">sisetu07@aichi-med-u.ac.jp</a>

### 市町村

No.	市町村	所属	氏名	PC	メールアドレス
1	津島市	津島市役所危機管理課	宇佐美 裕大	持ち込み不可能	<a href="mailto:yakusyo01@aichi-med-u.ac.jp">yakusyo01@aichi-med-u.ac.jp</a>
2	津島市	津島市役所福祉部高齢介護課	小川 和真	持ち込み不可能	
3	愛西市	愛西市役所 高齢福祉課	伊藤 拓真	持ち込み不可能	<a href="mailto:yakusyo02@aichi-med-u.ac.jp">yakusyo02@aichi-med-u.ac.jp</a>
4	愛西市	愛西市役所 危機管理課	加藤 義久	持ち込み不可能	
5	蟹江町	蟹江町 安心安全課	黒住	持ち込み不可能	<a href="mailto:yakusyo03@aichi-med-u.ac.jp">yakusyo03@aichi-med-u.ac.jp</a>

事務局 (仮想県・弥富市・蟹江町・飛島村・名古屋市)

愛知医科大学災害医療研究センター

[disaster@aichi-med-u.ac.jp](mailto:disaster@aichi-med-u.ac.jp)

PHASE1 気象情報警戒レベル3、南海トラフ地震臨時情報巨大地震警戒発令時

対策本部設置

1) 初動行動

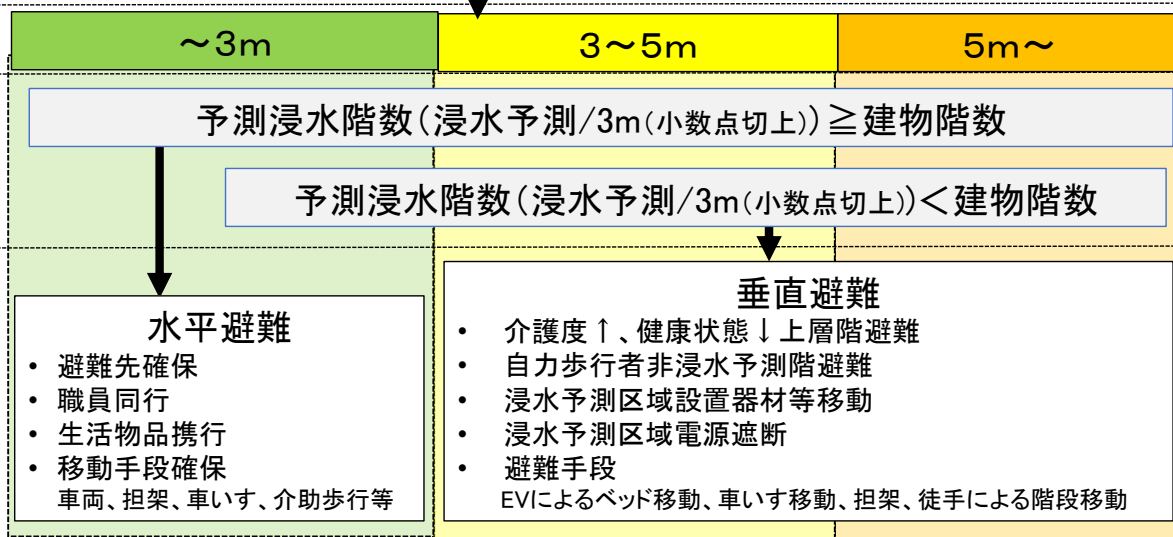
- ・ 職員参集・役割分担
- ・ 施設機能確認
- ・ 気象情報入手
- ・ 職員・利用者・建物リスク分析
- ・ 7) 提供介護サービスの検討
- ・ 避難方法決定

浸水対策(土嚢、止水板等)

2) 市町村等報告

初動報告・支援要請

3) 浸水予測



実習2

地震想定に基づく初動対応

被害想定に基づく緊急情報入力

# 緊急入力

- ただ今の時間、想定とおりの南海トラフ地震がきました。
- 河川近隣は液状化、地盤沈下により浸水が始まっています。
- 同時に大津波警報が発令されました。
- その状況下でBCPに基づき得た緊急被害状況を入力してください。

# 緊急入力

発災後、緊急確認した被害状況を① 緊急入力シートに入力

施設名	コア介護施設1
事業所番号	123456789
都道府県	愛知県
市区町村	名古屋市中区
町名番地	錦1丁目16-7
施設形態	介護老人保健施設
行動方針 (予測)	緊急避難
行動方針 (被害後)	緊急避難

※行動方針

予測	被害確認後
緊急避難	緊急避難
避難支援	避難支援
避難支援	避難支援
避難支援	避難支援
避難支援	避難支援

## 各入力シート

シート下段表示シート名を選択

- 建物被害緊急情報 (階層別被害)
- 職員被害緊急情報 (所在地・所在地)
- 利用者被害緊急情報 (安否・所在地)
- ライフライン被害緊急情報 (停電・断水状況)
- 備蓄状況緊急入力 (平時情報変更時入力)

	a.	b.	c.	d.	e.
INDEX	建物被害緊急情報	職員被害緊急情報	利用者被害緊急情報	ライフライン被害緊急情報	備蓄状況緊急入力

## 他ボタン機能

集計；建物被害、職員・利用者被害、施設被害状況、災害時情報共有システム入力一覧の印刷、閲覧

CSV；送付用施設機能基本情報、被害状況報告一覧  
要避難者リストのCSV化

# 緊急入力(建物被害緊急情報)

INDEX<										
更新日時: 2025/10/14 16:14										
場所	建物損壊	浸水	雨漏・漏水 /フロア	総合	損壊規模積算根拠					
1F	大規模半壊	半壊	半壊	大規模半壊	区分	積算式	全壊	大規模半壊	半壊	一部損壊
2F	大規模半壊	半壊	半壊	大規模半壊	建物損壊	「倒壊・倒壊の危険有」 階数/建物階数	70%以上	70%未満 50%以上	50%未満 10%以上	10%未満
3F	半壊	半壊	半壊	浸水	「床上浸水」階数 /建物階数					
					雨漏・漏水	「雨漏・漏水」階数 /建物階数				
					黄色セル	←入力・選択肢項目				
※上記以外は自動入力または平時入力からの参照で、編集不可。										

各階の被害状況は調査不能は全壊、生活機能ができるスペースの割合がおおよそ何%かで全壊、大規模半壊、半壊、一部損壊、無事を判断

# 緊急入力(職員被害緊急情報)

INDEX<								
No	更新日時	氏名	年齢	性別	職種	勤務体形	所在地	安否
01	2025/10/14 10:02 a		40	男	施設長	常勤	施設内	無事
02	2025/10/14 10:02 b		35	男	医師	常勤	施設内	負傷
03	2025/10/14 10:02 c		38	女	看護師	非常勤	施設内	死亡

- ① 氏名～勤務体形は平時入力時から変更があった場合修正選択入力
- ② 自動表示されている職員行黄色セルの所在地、安否状況を選択入力
- ③ 選択項目は下表のとおり

氏名	年齢	性別	職種	勤務体形	所在地	安否
カナ入力	数値入力	男	施設長	常勤	施設内	無事
		女	医師	非常勤	自宅	負傷
			看護師	支援者	出張	挟まれている・ 閉じ込められている
			介護士		他施設	死亡
			生活相談員		医療機関	不明
			理学療法士		施設外その他	
			厨房職員			
			事務員 その他			

# 緊急入力(利用者被害緊急情報)

INDEXへ

No	更新日時	居室室	居住階	氏名	年齢	性別	介護度	継続医療	安否	現在地	居住階被害
001	2025/10/14 10:03	101	1	aa	80	男	介護3	人工呼吸管理	無事	居室	大規模半壊
002	2025/10/14 10:03	101	1	bb	88	女	介護1	透析	不明		大規模半壊
003	2025/10/14 16:05	202	2	cc	75	男	介護5	酸素投与	負傷	廊下	大規模半壊
004	2025/10/14 16:05	301	3	dd	79	男	介護4	喀痰吸引	挟まれている・閉じ込められている	廊下	半壊
005	2025/10/14 16:23	302	3	ee	90	女	介護5	中心静脈栄養	死亡	居室	半壊

- ① 居室室～継続医療までは平時入力が自動表示され、変更時のみ選択入力
- ② 自動表示されている利用者行黄色セルの現在地、安否状況を選択入力
- ③ 居住階被害は建物構造緊急情報が入力されていれば自動表示。
- ④ 選択項目は下表のとおり

居室室	居住階	氏名	年齢	性別	介護度	在宅医療	安否	現在地
手入力	1	カナ入力	数値入力	男	支援1	人工呼吸管理	無事	居室
	2			女	支援2	酸素投与	負傷	食堂
	3			介護1	喀痰吸引	挟まれている 閉じ込められている	トイレ	
	4			介護2	インスリン投与	死亡	事務室	
	5			介護3	経管栄養	不明	避難階段	
	6			介護4	中心静脈栄養		エレベーター	
	7			介護5	透析		廊下	
	8						施設外	
	9							

# 緊急入力(ライフライン被害緊急情報)

INDEXへ

更新日時： 2025/10/14 10:01

■セルに選択項目を選択し入力。施設被害状況報告は自動反映

項目	入力方法	入力欄	入力内容
通信	固定電話	選択	通信可
	携帯電話	選択	通信可
	インターネット	選択	不通
電気	供給電力	選択	停電
飲料水	供給上水道	選択	断水

- 通信、電気、飲料水(水道)の外部からの供給状況を選択入力
- 施設被害状況報告には自動反映

## 【選択項目】

区分	機器	入力方法	選択項目
通信	固定電話	選択	通信可 不通
	携帯電話	選択	通信可 不通
	インターネット	選択	通信可 不通
電気	供給電力	選択	停電 有
飲料水	供給水道	選択	断水 有

# 緊急入力(備蓄状況緊急入力)

区分	備蓄物品	入力方法	入力欄	入力内容
通信	災害用時通信機器	変更時選択	衛星電話	平時入力から変更となった場合選択入力
電気	主要発電機種	変更時選択	自家発	平時入力から変更となった場合選択入力
	自家発電稼働日数(平時使用電力60%使用)	変更時選択	1	平時入力から変更となった場合選択入力
飲料水	飲料水備蓄方法	変更時選択	ペットボトル	平時入力から変更となった場合選択入力
	飲料水備蓄日数(日)	変更時選択	3	平時入力から変更となった場合選択入力

通信、電気、飲料水の施設備蓄状況は平時入力値が表示されます。  
備蓄品確認後、使用不可など変更があった場合は選択入力してください。

## 緊急情報(施設用被害状況)の確認

施設名	コア介護施設1
事業所番号	123456789
都道府県	愛知県
市区町村	名古屋市中区
町名番地	錦1丁目16-7
施設形態	介護老人保健施設
行動方針(予測)	緊急避難
行動方針(被害後)	緊急避難

平時入力	緊急・詳細初期化	CSV出力 平時(施設基本情報)
緊急時入力	全初期化	CSV出力 緊急時(施設被害状況一覧)
詳細入力		CSV出力 詳細時(施設被害状況一覧・要 聴音リスト・医療搬送リスト)
① 集計		

事業所番号	123456789																		
施設名	コア介護施設1																		
施設形態	介護老人保健施設																		
行動方針(予測)	緊急時待要請																		
行動方針(被災後)	緊急避難																		
在院者	16																		
①建物被害の状況	<table border="1"> <tr><td>建物の損傷</td><td>最大の被害あり</td></tr> <tr><td>建物損傷</td><td>半壊</td></tr> <tr><td>漏水被害</td><td>半壊</td></tr> <tr><td>電源・調水</td><td>半壊</td></tr> <tr><td>在院者数</td><td>16</td></tr> <tr><td>職員総数</td><td>6</td></tr> <tr><td>利用者総数</td><td>10</td></tr> <tr><td>人的被害</td><td>4</td></tr> </table>	建物の損傷	最大の被害あり	建物損傷	半壊	漏水被害	半壊	電源・調水	半壊	在院者数	16	職員総数	6	利用者総数	10	人的被害	4		
建物の損傷	最大の被害あり																		
建物損傷	半壊																		
漏水被害	半壊																		
電源・調水	半壊																		
在院者数	16																		
職員総数	6																		
利用者総数	10																		
人的被害	4																		
②人的被害の状況	<table border="1"> <tr><td>負傷者</td><td>2</td></tr> <tr><td>重傷者</td><td>0</td></tr> <tr><td>軽傷者</td><td>0</td></tr> <tr><td>死亡者</td><td>2</td></tr> <tr><td>行方不明者</td><td>2</td></tr> <tr><td>要医師者</td><td>0</td></tr> <tr><td>要薬剤者</td><td>14</td></tr> <tr><td>要医師総数</td><td>0</td></tr> <tr><td>要施設外総数</td><td>0</td></tr> </table>	負傷者	2	重傷者	0	軽傷者	0	死亡者	2	行方不明者	2	要医師者	0	要薬剤者	14	要医師総数	0	要施設外総数	0
負傷者	2																		
重傷者	0																		
軽傷者	0																		
死亡者	2																		
行方不明者	2																		
要医師者	0																		
要薬剤者	14																		
要医師総数	0																		
要施設外総数	0																		
③等の状況	<table border="1"> <tr><td>避難先種別</td><td>利用全施設等避難先あり</td></tr> <tr><td>避難先施設</td><td>利用全施設等避難先あり</td></tr> <tr><td>避難可能者</td><td>4</td></tr> <tr><td>要医師者</td><td>1</td></tr> <tr><td>介護職員</td><td>0</td></tr> <tr><td>その他</td><td>3</td></tr> </table>	避難先種別	利用全施設等避難先あり	避難先施設	利用全施設等避難先あり	避難可能者	4	要医師者	1	介護職員	0	その他	3						
避難先種別	利用全施設等避難先あり																		
避難先施設	利用全施設等避難先あり																		
避難可能者	4																		
要医師者	1																		
介護職員	0																		
その他	3																		
④必要な人的支援の状況	<table border="1"> <tr><td>国定高齢</td><td>不適</td></tr> <tr><td>県定高齢</td><td>不適</td></tr> <tr><td>災害用通信機器</td><td>衛星電話</td></tr> <tr><td>通信可能電話番号</td><td>876-0000-0000</td></tr> <tr><td>インターネット</td><td>不適</td></tr> <tr><td>使用可能メールアドレス</td><td>無</td></tr> </table>	国定高齢	不適	県定高齢	不適	災害用通信機器	衛星電話	通信可能電話番号	876-0000-0000	インターネット	不適	使用可能メールアドレス	無						
国定高齢	不適																		
県定高齢	不適																		
災害用通信機器	衛星電話																		
通信可能電話番号	876-0000-0000																		
インターネット	不適																		
使用可能メールアドレス	無																		
⑤電気の状況	<table border="1"> <tr><td>供給電力</td><td>停電</td></tr> <tr><td>自家発電</td><td>自家発</td></tr> <tr><td>燃料</td><td>軽油</td></tr> <tr><td>自家発電稼働日数(日)</td><td>1</td></tr> </table>	供給電力	停電	自家発電	自家発	燃料	軽油	自家発電稼働日数(日)	1										
供給電力	停電																		
自家発電	自家発																		
燃料	軽油																		
自家発電稼働日数(日)	1																		

- ① 集計ボタンをクリック
- ② 集計シートが表示されたら、施設用被害状況一覧を選択
- ③ 施設被害状況一覧で建物、人的、ライフライン被害状況を施設内で共有し、施設行動方針を検討

# 緊急情報(施設被害状況報告)の送付

施設名	コア介護施設1
事業所番号	123456789
都道府県	愛知県
市区町村	名古屋市中区
町名番地	錦1丁目16-7
施設形態	介護老人保健施設
行動方針(予測)	緊急避難
行動方針(被害後)	緊急避難

平時入力

緊急・詳細初期化

CSV出力  
平時(施設基本情報)

緊急時入力

全初期化

① CSV出力  
緊急時(施設被害状況一覧)

詳細入力

CSV出力  
詳細時(施設被害状況一覧・要  
難者リスト・医療搬送リスト)

集計

② CSV出力  
詳細時(施設被害状況一覧・要  
難者リスト・医療搬送リスト)

礼してください

1006... > 緊急時... > 緊急時出力CSVの検索

フォルダ

名前	更新日時
緊急時出力CSV	2025/10/08 1:27
詳細時出力CSV	2025/10/08 0:37
平時出力CSV	2025/10/08 2:21

②

フォルダ名(N): 緊急時出力CSV

ツール(L) [OK] [キャンセル]

- ① 緊急時出力ボタンをクリック
- ② 保存先フォルダ名が表示されたら「緊急時出力CSV」名で格納指定
- ③ 保存先フォルダから格納CSVを開け、内容を確認
- ④ メールにて施設被害状況報告CSVを市町村に送付

# 災害時情報共有システムへの入力

施設名	コア介護施設1
事業所番号	123456789
都道府県	愛知県
市区町村	名古屋市中区
町名番地	錦1丁目16-7
施設形態	介護老人保健施設
行動方針(予測)	緊急避難
行動方針(被害後)	緊急避難

平時入力

緊急・詳細初期化

CSV出力  
平時(施設基本情報)

緊急時入力

全初期化

CSV出力  
緊急時(施設被害状況一覧)

① 集計

CSV出力  
詳細時(施設被害状況一覧・要  
難者リスト・医療搬送リスト)

大項目	入力項目	入力方法	入力値	入力条件
人的被害の状況	人的被害	自動入力	人的被害者	必須入力
	負傷者	自動入力	負傷者5人	任意入力
	重傷者	自動入力	重傷者1人	任意入力
	軽傷者	自動入力	軽傷者2人	任意入力
	死亡者	自動入力	死亡者2人	任意入力
	行方不明者	自動入力	行方不明者1人	任意入力
建物被害の状況	被害の規模	自動入力	重大な被害有り	必須入力
	建物損壊	自動入力	大規模半壊	任意入力
	浸水被害	自動入力	床上浸水	任意入力
	雨漏被害	自動入力	大規模半壊	任意入力
避難の状況	避難	自動入力	避難の必要性あり	必須入力
	避難先	自動入力	<a href="#">利用施設集計参照</a>	任意入力
	避難先所在地	自動入力	<a href="#">利用施設集計参照</a>	任意入力
	避難先種別	自動入力	<a href="#">利用施設集計参照</a>	任意入力
必要な人的支援の状況	介護職員	自動入力	介護職員0人	任意入力
	看護職員	自動入力	看護職員1人	任意入力
	その他	自動入力	その他職員0人	任意入力
電気	供給電力	自動入力	停電有	任意入力
	非常用自家発電	自動入力	非常用自家発電あり	任意入力
	燃料	自動入力	今日の確保にも支障がある	任意入力
水道	電圧重の支援	自動入力	支援を要請(電圧不明)	任意入力
	供給上水道	自動入力	断水あり	必須入力
	飲料水の状況	自動入力	2~3日しかなく、その後については確保の見通しなし	任意入力
ガス	生活用水の状況	自動入力	2~3日しかなく、その後については確保の見通しなし	任意入力
	トイレの状況	自動入力	使用不可	任意入力
	代替えトイレ	自動入力	有	任意入力
	給水車の支援	自動入力	支援を要請	任意入力
冷暖房の状況	供給ガス	自動入力	供給なし	必須入力
	代替えガス	自動入力	対応可能な代替え設備なし	任意入力
物資	冷房	自動入力	使用可能	任意入力
	暖房	自動入力	使用可能	任意入力
	支援物資	記述		任意入力
物資の状況	燃料の状況	自動入力	支援を要請	任意入力
	燃料(行達・ガソリン)の状況	自動入力	支援を要請	任意入力

- ① 集計ボタンをクリック
- ② 集計シートが表示されたら、災害時情報共有システム入力項目を選択
- ③ 災害時情報共有システム項目を閲覧、もしくは印刷し、集計作成表示された入力情報を入力

## 実習3

### 利用者、職員の管理

- 平時入力・緊急入力シートを活用した詳細入力
- 職員・利用者・備蓄品の現状分析と施設活動方針
- 市町村に施設被害状況の報告

### 詳細入力

- 余震も治まりましたが、津波は到達しました。
- 津波浸水は想定とおりです。
- BCPに基づき、施設対応班は建物被害状況、看護班・介護班は職員、利用者の健康状態も把握できました。
- その状況下で得た被害状況(想像)詳細を入力してください。

# 詳細入力

経時的に確認した被害状況を① 詳細入力シートに入力

施設名 コア介護施設1  
 事業所番号 123456789  
 都道府県 愛知県  
 市区町村 名古屋市中区  
 町名番地 錦1丁目16-7  
 施設形態 介護老人保健施設  
 行動方針(予測) 緊急避難  
 行動方針(被害後) 緊急避難

① 詳細入力

集計

緊急・詳細初期化  
 全初期化

CSV出力  
 平時(施設基本情報)  
 緊急時(施設被害状況一覧)  
 詳細時(施設被害状況一覧、要  
 避難者リスト、医療搬送リスト)

## 各入力シート

シート下段表示シート名を選択

- 建物被害詳細情報 (階層、場所)
- 職員被害状況一覧 (健康状態、勤務状況、避難場所)
- 利用者被害状況一覧 (健康状態、避難場所)
- ライフライン詳細入力 (通信・電気・水道・ガス供給状況)
- 備蓄状況(平時情報変更時入力)

a.            b.            c.            d.            e.

建物被害詳細入力   職員被害状況一覧   利用者被害状況一覧   ライフライン詳細入力   備蓄状況詳細入力

## 他ボタン機能

集計；建物被害、職員・利用者被害、施設被害状況、災害時情報共有システム入力一覧の印刷、閲覧

CSV；送付用施設機能基本情報、被害状況報告一覧要避難者リストのCSV化

# 詳細入力(建物被害詳細情報)

INDEXへ

更新日時： 2025/10/14 16:14

①

場所	建物損壊	浸水	雨漏・漏水 /フロア	総合
1F	大規模半壊	半壊	半壊	大規模半壊
2F	大規模半壊	半壊	半壊	大規模半壊
3F	半壊	半壊	半壊	半壊

損壊規模積算根拠

区分	積算式	全壊	大規模半壊	半壊	一部損壊
建物損壊	「倒壊・倒壊の危険有」階数/建物階数	70%以上	70%未満 50%以上	50%未満 10%以上	10%未満
浸水	「床上浸水」階数/建物階数				
雨漏・漏水	「雨漏・漏水」階数/建物階数				

黄色セル ←入力・選択肢項目

※上記以外は自動入力または平時入力からの参照で、編集不可。

②

場所	建物損壊	浸水	雨漏・漏水 /フロア	総合
居室	半壊	半壊	半壊	半壊
食堂	半壊	半壊	半壊	半壊
トイレ	半壊	半壊	半壊	半壊
事務室	半壊	半壊	半壊	半壊
避難階段	半壊	半壊	半壊	半壊
エレベーター	半壊	半壊	半壊	半壊
廊下	半壊	半壊	半壊	半壊

- ①建物階層別被害を緊急情報入力要領に基づき再入力
- ②建物場所別被害を緊急情報入力要領に基づき再入力
- ③上記内容は利用者居住階、現在地被害状況に反映

# 詳細入力(職員被害詳細情報)

No.	更新日時	氏名	年齢	性別	職種	勤務形態	所在地	安否	会話	表情(顔面蒼白・発汗)	動作(体の動き)	呼吸	出血	帰宅希望	重症度	要医療	避難種別	今後の勤務	本日の勤務	明日の勤務	一時移動場所(手入力)	避難先	
1	2025/10/0 0:34	つた	50	男	施設長	常勤	出張	不明									不明	不明	不明				
2	2025/10/0 0:35	おざわ	70	男	生活相談員	非常勤	施設内	無事	普段どおり	普段どおり	普段どおり	普段どおり	無				施設内避難	可能					
3	2025/10/0 0:35	たかはし	40	女	医師	常勤	施設内	無事	普段どおり	普段どおり	普段どおり	普段どおり	無				施設内避難	可能					
4	2025/10/0 0:35	しばた	40	男	看護師	支援者	自宅	不明									不明	不明	不明				
5	2025/10/0 0:35	たち	45	男	準勤員	常勤	施設内	無事	普段どおり	普段どおり	普段どおり	普段どおり	無				施設内避難	可能					
6	2025/10/0 0:35	aaa	55	男	看護師	常勤	施設内	負傷									施設内避難	可能					

## (健康状態)

- 現在地・安否確認は変更のあった職員を修正選択入力
- 自動表示されている職員行黄色セルの健康状態(会話、表情、動作、呼吸、出血状況)を選択入力
- 安否状況で不明は健康状態未入力
- 安否状況で死亡は話せない・動かない・動かない・していない の自動表示
- 安否状況で無事はすべていつもの同じと自動表示
- 自動表示から変更のあった職員の健康状態を選択入力
- 重症度、要医療は健康状態の入力結果から自動表示

## (勤務状況)

- 帰宅希望は各職員に確認後選択入力
- 避難種別は建物被害情報、職員現在地情報をもとに自動表示
- 今後の勤務は安否・確認、帰宅希望、健康状態結果から自動表示

# 職員被害詳細情報 選択項目

No.	更新日時	氏名	年齢	性別	職種	勤務形態	所在地	安否	会話	表情(顔面蒼白・発汗)	動作(体の動き)	呼吸	出血	帰宅希望	重症度	要医療	避難種別	今後の勤務	本日の勤務	明日の勤務	一時移動場所(手入力)	避難先	
1	2025/10/0 0:34	つた	50	男	施設長	常勤	出張	不明									不明	不明	不明				
2	2025/10/0 0:35	おざわ	70	男	生活相談員	非常勤	施設内	無事	普段どおり	普段どおり	普段どおり	普段どおり	無				施設内避難	可能					
3	2025/10/0 0:35	たかはし	40	女	医師	常勤	施設内	無事	普段どおり	普段どおり	普段どおり	普段どおり	無				施設内避難	可能					
4	2025/10/0 0:35	しばた	40	男	看護師	支援者	自宅	不明									不明	不明	不明				
5	2025/10/0 0:35	たち	45	男	準勤員	常勤	施設内	無事	普段どおり	普段どおり	普段どおり	普段どおり	無				施設内避難	可能					
6	2025/10/0 0:35	aaa	55	男	看護師	常勤	施設内	負傷									施設内避難	可能					

## 【選択項目】

氏名	年齢	性別	職種	勤務体形	所在地	安否	会話	表情(顔面蒼白・発汗)	動作(体の動き)	呼吸	出血	帰宅希望	本日の勤務	明日の勤務	移動場所	避難先
カナ 数値 入力		男	施設長	常勤	施設内	無事	普段どおり	普段どおり	普段どおり	普段どおり	無	帰りたい	日勤夜勤	日勤夜勤	発災後 移動した 場所 カナ入力	調整中
		女	医師	非常勤	自宅	負傷	いつもと違う	いつもと違う	いつもと違う	いつもと違う	じわじわと出血or止まっている	帰れない	日勤	日勤		施設建物内
			看護師	支援者	出張	挟まれている・閉じ込められている	話せない	動かない	動かない	していない	ビュビュと出血	帰らない	準夜勤	準夜勤		施設敷地内
			介護士	他施設	死亡							出勤する	夜勤	夜勤		医療機関
			生活相談員	医療機関	不明							出勤できない	休み	休み		直近建物
			理学療法士	施設外												近隣施設・避難所
			厨房職員	その他												県内施設・避難所
			事務員	その他												隣接県 広域

# 詳細入力(利用者被害詳細情報)

No	更新日時	居室	居住階	氏名	年齢	性別	介護度	継続医療	安否	現在地
101	2025/10/8 0:36	101	1 a		80	女	介護3	人工呼吸管理	死亡	
102	2025/10/8 0:36	102	1 b		81	女	介護3	酸素投与	死亡	
103	2025/10/8 0:35	201	2 c		82	男	介護3	喀痰吸引	負傷	
104	2025/10/8 0:35	202	2 d		83	男	介護3	インスリン投与	負傷	
105	2025/10/8 0:36	203	2 e		84	女	介護3	経管栄養	挟まれている・閉じ込められている	
106	2025/10/8 0:36	203	2 f		85	女	介護3	中心静脈栄養	負傷	

居住階被害	現在地被害	会話	表情(顔面蒼白・発汗)	動作(体の動き)	呼吸	出血	重症度	要医療	避難種別	避難方法	一時移動場所(手入力)	避難先
全壊		話せない	動かない	動かない	していない	無	無		施設内避難	搬送		
全壊		話せない	動かない	動かない	していない	無	無		施設内避難	搬送		
一部損壊									施設内避難	搬送		
一部損壊									施設内避難	搬送		
一部損壊									施設内避難	搬送		
一部損壊									施設内避難	搬送		
無		普段どおり	普段どおり	普段どおり	普段どおり	無			施設内避難	搬送		
無		普段どおり	普段どおり	普段どおり	普段どおり	無			施設内避難	搬送		
無		普段どおり	普段どおり	普段どおり	普段どおり	無			施設内避難	搬送		
無		普段どおり	普段どおり	普段どおり	普段どおり	無			施設内避難	搬送		

## (健康状態)

- 自動表示されている利用者行黄色セルの健康状態(会話、表情、動作、呼吸、出血状況)を選択入力
- 安否状況で不明は健康状態未入力
- 安否状況で死亡は話せない・動かない・動かない・していないの自動表示
- 安否状況で無事はすべていつもの同じと自動表示
- 自動表示から変更のあった利用者の健康状態を選択入力
- 重症度、要医療は健康状態、平時情報要医療の入力結果から自動表示

## (避難場所)

- 避難種別は建物被害情報、安否・確認、康状態結果から自動表示
- 避難方法は平時情報入力介護度入力の結果から自動表示

# 詳細入力利用者被害詳細情報 選択項目

## 【選択項目】

居室	居住階	氏名	年齢	性別	介護度	在宅医療	安否	現在地	会話	表情(顔面蒼白・発汗)	動作(体の動き)	呼吸	出血	移動場所	避難先
手入力	1	カナ入力	数値入力	男	支援1	人工呼吸管理	無事	居室	普段どおり	普段どおり	普段どおり	普段どおり	無	発災後移動した場所 カナ入力	調整中
	2			女	支援2	酸素投与	負傷	食堂	いつもと違う	いつもと違う	いつもと違う	いつもと違う	じわじわと出血or止まっている		施設建物内
	3				介護1	喀痰吸引	挟まれている・閉じ込められている	トイレ	話せない	動かない	動かない	していない	ビュービューと出血		施設敷地内
	4				介護2	インスリン投与	死亡	事務室							医療機関
	5				介護3	経管栄養	不明	避難階段							直近建物
	6				介護4	中心静脈栄養		エレベーター							近隣施設・避難所
	7				介護5	透析		廊下							県内施設・避難所
	8								施設外						隣接県
	9														広域

## 判断基準

重症度	色	判断基準
赤	赤	会話・表情・動作・呼吸とも”いつもと違う”
黄	黄	表情・呼吸=”いつもと違う” & 出血”ビュービュー”
緑	赤、緑、白以外	
黒	黒	会話・表情・動作・呼吸とも”普段どおり” & じわじわ出血
白	白	会話・動作・呼吸とも”話せない、動かない、していない”
	白	会話・表情・動作・呼吸とも”普段どおり”

要医療 ◎ 緊急搬送 重症度=赤

# 詳細入力(ライフライン被害詳細情報)

項目		入力方法	入力欄	入力内容
通信	固定電話	変更時選択	不通	固定電話の通信状況を入力
	携帯電話	変更時選択	不通	携帯電話の通信状況を入力
	インターネット	変更時選択	不通	スマートフォン、PC等のインターネット通信状況を入力
電気	供給電力	変更時選択	停電	入力時点の外部送電状況を入力
水道	供給上水道	変更時選択	断水	入力時点の外部送水状況を選択入力
	下水道排水	選択		入力時点の下水道排水状況を入力
ガス	供給ガス	選択		入力時点の外部供給ガス状況を選択入力

通信、電気、飲料水(水道)、下水道、ガスの  
外部供給状況の現況を選択入力

# 詳細入力(備蓄状況詳細入力)

区分	備蓄物品	入力方法	入力欄	入力方法
通信	災害時通信機器	変更時選択	衛星電話	入力時のものを選択入力
電気	主要発電機種	変更時選択	自家発	
	※併用がある場合	変更時選択	発動発電機	
	主要発電機燃料油種	変更時選択	軽油	
	主要燃料タンク設置位置	変更時選択	屋外	
	主要配電盤設置場所	変更時選択	屋外	
	自家発電稼働日数(平時使用電力60%使用)	変更時選択	1	
	蓄電池	変更時選択	有	
飲料水	飲料水備蓄対象	変更時選択	入所者+職員	
	飲料水備蓄方法	変更時選択	ペットボトル	
	飲料水備蓄量(ℓ)	変更時選択	3000	
	飲料水備蓄日数(日)	変更時選択	3	
生活用水	生活用水備蓄対象	変更時選択	入所者+職員	
	生活用水備蓄方法	変更時選択	貯水槽落下式	
	生活用水備蓄量(ℓ)	変更時選択	3000	
	生活用水備蓄日数(日)	変更時選択	3	
トイレ	災害用トイレの有無	変更時選択	有	
	災害用トイレ種別	変更時選択	おむつ	
食糧	食料備蓄対象	変更時選択	入所者+職員	
	食料備蓄日数(日)	変更時選択	3	
冷暖房	災害時冷房装置	変更時選択	スポットクーラー	
	災害時暖房装置	変更時選択	ストーブ(灯油)	
ガス	供給ガス種類	変更時選択	都市ガス	
	補完ガス種類	変更時選択	なし	

通信、電気、飲料水の施設備蓄状況は平時入力値が表示  
備蓄品確認後、使用不可など変更があった場合は選択入力

# 詳細情報(施設用被害状況)の確認

施設名	コア介護施設1
事業所番号	123456789
都道府県	愛知県
市区町村	名古屋市中区
町名番地	錦1丁目16-7
施設形態	介護老人保健施設
行動方針(予測)	緊急避難
行動方針(被害後)	緊急避難

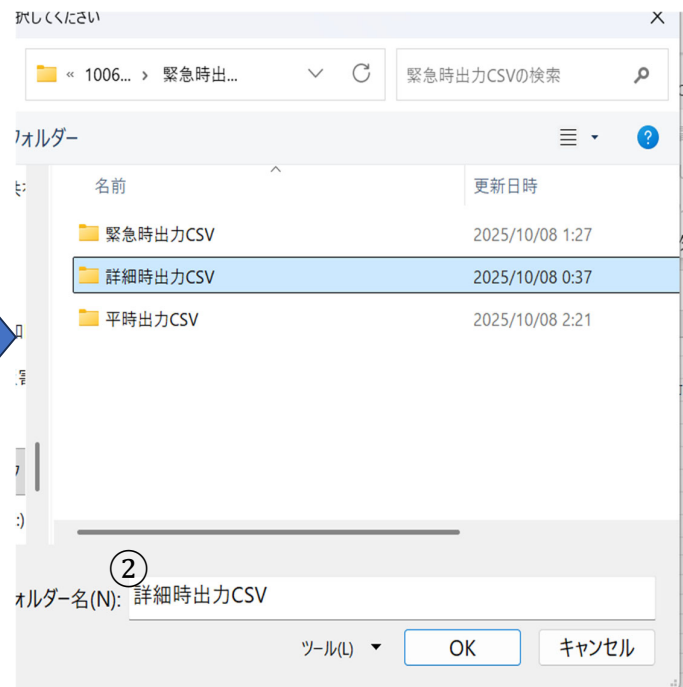


事業所番号	123456789	
施設名	コア介護施設1	
施設形態	介護老人保健施設	
行動方針(予測)	緊急物資要請	
行動方針(被災後)	無城避難	
避難者	16	
被害の概要	被害の有無	重大な被害有り
① 建物被害の状況	建物損壊	半壊
	洪水被害	半壊
	雨漏り・漏水	半壊
	圧入被害	16
② 人的被害の状況	職員被害	6
	利用者被害	10
	人的被害	4
	負傷者	2
	重症者	0
	軽傷者	0
③ 物の状況	死亡者	2
	行方不明者	2
	要避難者	0
	要避難者数	14
	要避難避難者数	0
	要施設外避難者数	0
④ 必要な人的支援の状況	避難者選定	利用者選定済
	避難者選定	利用者選定済
	避難可能者	4
	要支援職員	1
	介護職員	0
	その他	3
⑤ 通信の状況	固定電話	不通
	携帯電話	不通
	災害用通信機器	衛星電話
	通信可能電話番号	876-0000-0000
	インターネット	不通
⑥ 電気・ガス等の状況	備用可能メールアドレス	無
	供給電力	停電
	自家発電	自家発電
	燃料	枯渇
自家発電稼働日数(日)	1	

- ① 集計ボタンをクリック
- ② 集計シートが表示されたら、施設用被害状況一覧を選択
- ③ 施設被害状況一覧で避難者選定、補充物品を選定し、施設内共有後、施設行動方針を検討

# 詳細情報(施設被害状況報告)の送付

施設名	コア介護施設1
事業所番号	123456789
都道府県	愛知県
市区町村	名古屋市中区
町名番地	錦1丁目16-7
施設形態	介護老人保健施設
行動方針(予測)	緊急物資要請
行動方針(被害後)	籠城避難



- ① 詳細時出力ボタンをクリック
- ② 保存先フォルダ名が表示されたら「詳細時出力CSV」名で格納指定
- ③ 保存先フォルダから格納CSVを開け、内容を確認
- ④ メールにて施設被害状況報告CSV市町村に送付

# 検討

No	更新日時	居住階	居住階	年齢	性別	介護度	継続医療	安否	現在地	居住階被害	現在地被害	会話	顔面蒼白	動作(体の動き)	呼吸	出血	要医療	避難種別	避難方法	一時移動場所(手入力)	避難先	
101	2025/10/8 0:36	101	1 a	80	女	介護3	人工呼吸管理	死亡		全壊		話せない	動かない	動かない	していない	無	黒		施設内避難	護送		
102	2025/10/8 0:36	102	1 b	81	女	介護3	酸素投与	死亡		全壊		話せない	動かない	動かない	していない	無	黒		施設内避難	護送		
103	2025/10/8 0:35	201	2 c	82	男	介護3	喀痰吸引	負傷		一部損壊									施設内避難	護送		
104	2025/10/8 0:35	202	2 d	83	男	介護3	インスリン投与	負傷		一部損壊									施設内避難	護送		
105	2025/10/8 0:35	203	2 e	84	女	介護3	経管栄養	挟まれている・閉じ込められている		一部損壊									施設内避難	護送		
106	2025/10/8 0:36	203	2 f	85	女	介護3	中心静脈栄養	負傷		一部損壊									施設内避難	護送		
107	2025/10/8 0:36	301	3 g	86	男	介護3	透析	無事		無		普段どおり	普段どおり	普段どおり	普段どおり	無			施設内避難	護送		
108	2025/10/8 0:36	301	3 h	87	男	介護4		無事		無		普段どおり	普段どおり	普段どおり	普段どおり	無			施設内避難	担送		
109	2025/10/8 0:36	302	3 i	88	女	介護4		無事		無		普段どおり	普段どおり	普段どおり	普段どおり	無			施設内避難	担送		
110	2025/10/8 0:36	302	3 j	89	女	介護4	酸素投与	無事		無		普段どおり	普段どおり	普段どおり	普段どおり	無			施設内避難	担送		

- 作成した利用者被害状況一覧、建物被害状況一覧を参考とし、どの利用者をどこへ避難させるかを検討してください。

(参考項目)

- 居住階被害、要医療、避難種別、避難方法

## 要避難者リスト作成

施設名	コア介護施設1
事業所番号	123456789
都道府県	愛知県
市区町村	名古屋市中区
町名番地	錦1丁目16-7
施設形態	介護老人保健施設
行動方針(予測)	緊急避難
行動方針(被害後)	緊急避難

- 集計ボタンをクリック
- 集計シート内職員・利用者別要避難者リスト、医療搬送リストが自動作成されているので該当シートを選択し閲覧共有印刷する。
- 要避難者リストは職員・利用者被害状況施設外搬送該当者を抽出
- 要医療搬送リストは職員・利用者被害状況要医療者を抽出
- 要避難者リストの市町村送付はCSV出力詳細時をクリックして作成送付する。



No	居住階	居住階	年齢	性別	介護度	継続医療	安否	現在地	注階被害	現在地被害	会話	顔面蒼白	動作(体の動き)	呼吸	出血	要医療	避難種別	避難方法	
1	101	1	80	女	介護3	死亡		居室	全壊	全壊	話せない	動かない	動かない	していない	無	黒		施設外避難	護送
2	101	1	81	女	介護:透析	挟まれている・閉じ込められている		居室	全壊	全壊	いつもと違う	いつもと違う	いつもと違う	いつもと違う	ビュ-ビュ-と出血	赤	◎	医療搬送	護送
3	101	1	82	女	介護3	負傷		居室	全壊	全壊	話せない	普段どおり	普段どおり	普段どおり		黄		施設外避難	護送
4	102	1	83	女	介護:透析	無事		トイレ	全壊	半壊	普段どおり	普段どおり	普段どおり	普段どおり	無			施設外避難	護送
5	102	1	84	女	介護3	負傷		居室	全壊	全壊	いつもと違う	いつもと違う	動かない	普段どおり	じわじわと出血or止まっている	黄		施設外避難	護送
6	102	1	85	女	介護3	無事		食堂	全壊	全壊	普段どおり	普段どおり	普段どおり	普段どおり	無			施設外避難	護送
7	103	1	86	女	介護3	死亡		食堂	全壊	全壊	話せない	動かない	動かない	していない	無	黒		施設外避難	護送
8	103	1	87	女	介護4	負傷		居室	全壊	全壊	普段どおり	いつもと違う	普段どおり	普段どおり	じわじわと出血or止まっている	黄		施設外避難	担送
9	103	1	88	女	介護:中心	無事		廊下	全壊	半壊	普段どおり	普段どおり	普段どおり	普段どおり	無			施設外避難	担送

## PHASE4 平時の準備

浸水予測	~3m	3~5m	5m~
建物内 浸水状況	予測浸水階数(浸水予測/3m(小数点切上)) ≥ 建物階数		
	予測浸水階数(浸水予測/3m(小数点切上)) < 建物階数		
1) 事前準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 耐震構造: 1981年以前の建築物は耐震補強 耐震診断1.0以上</li> <li>□ 事故防止: 利用者活動範囲の落下物防止、施設家財固定</li> <li>□ 垂直避難対策: 避難先・避難経路確保、避難手段(担架・車いす等)</li> <li>□ 止水対策: 土嚢、止水板。盛土</li> </ul> <p>(備蓄)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 飲料水: (利用者数+職員数) × 2ℓ × 10日</li> <li>□ 食糧(備蓄、流動食含めて): (利用者数+職員数) × 1500kcal × 10日</li> <li>□ 電気: 自家発、太陽光電池、発動発電機、乾電池</li> <li>□ 非常用通信機材: ラジオ・衛星携帯・無線</li> <li>□ 夜間照明: ランタン、懐中電灯</li> <li>□ 冷暖房: スポットクーラー</li> <li>□ 寝具(毛布・段ボール・寝袋・布団): 避難者数 × 1セット</li> <li>□ トイレ: 簡易トイレ、おむつ</li> </ul>		
2) 避難先確保 (協定等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 法人グループ内他施設</li> <li>➢ 施設協会等の関連施設</li> <li>➢ 地域連携施設</li> <li>➢ 市町村福祉避難所</li> <li>➢ 医療機関</li> </ul>		
3) 訓練	机上演習、避難・搬送訓練、情報伝達訓練、他機関連携訓練等		

## フェーズによる提供介護サービスの目安

主眼	(平時)	フェーズ1 発災前 避難	フェーズ2 発災直後 救命・避難	フェーズ2 発災~排水 フレイル予防 公衆衛生対策	フェーズ3 復興期 フレイル予防 公衆衛生対策
提供サービス	食事介助 慢性疾患ケア 排泄介助 入浴介助 生活介助 共同生活 リハビリ	トリアージ 避難介助 応急手当 食事介助 慢性疾患ケア 排泄介助→オムツ等 入浴介助→清拭 生活介助→声掛け 共同生活→避難生活 リハビリ→中止	安否確認 トリアージ 応急手当 避難介助 食事介助 排泄介助→オムツ等	トリアージ 避難介助 応急手当 食事介助 慢性疾患ケア 排泄介助→オムツ等 入浴介助→清拭 生活介助→声掛け 共同生活→避難生活 リハビリ→縮小	トリアージ 食事介助 慢性疾患ケア 排泄介助 入浴介助 生活介助 共同生活 リハビリ 避難介助
照明	通常	通常	ランタン等	ランタン等	通常
冷暖房	通常	通常	換気	スポットクーラー	スポットクーラー
食糧・飲料水	通常	通常	備蓄品	備蓄品	通常・配給品
生活用水	通常	通常	無	無	配給
電気	○	○	×	×	△
水道	○	○	×	×	△
下水	○	○	×	×	△

← 生命維持・生命維持介護が困難な場合は順次水平移動 →

## DH-Wins実証訓練(令和7年度愛知県南海トラフ地震時医療活動訓練)留意事項

令和7年度厚生労働省老人保健健康増進等事業「広域的長期浸水(湛水)・液状化被害による長期孤立が予測される海拔ゼロメートル地帯における災害時福祉医療連携ネットワークモデルの作成を目指した調査研究事業」におけるDH-Wins実証訓練の留意事項を下記のとおりお知らせします。

検証訓練はDH-Wins活用マニュアル(以下「マニュアル」)の検証も含めていますのでマニュアル記載事項に従い、行動してください。

## 記

## 1 実証訓練時程と活動内容(図1)

## ① 施設

自施設内でマニュアル(施設編)に基づき活動を行い、自施設BCPとの相違検証願います。

## a. 施設基本情報送付

施設被害市町村から依頼があった施設基本情報調査で未回答の施設はマニュアル(施設編)3頁～17頁を参照し、表1 訓練使用貴施設管轄市町村アドレスあてにCSVをメール送付してください。

## b. 施設被害状況報告送付

図2被害想定からDH-Winsリスク分析を活用し、自施設建物、職員、利用者の被害状況を予測しマニュアル(施設編)19頁～49頁を参照し、1月21日 12時30分までに、訓練使用貴施設管轄市町村アドレスあてにCSVをメール送付してください。

## ② 市町村

## (留意事項)

a. 会場:図3のとおりです。

b. 集合:事前説明を行いますので1月21日12時30分まで会場に直接お越しください。

c. 服装:服装は自由ですが、事務局よりビブスを配付しますのでご着用ください。

## d. パソコン等

仮想アドレス設定し、DH-wins市町村用ファイル一式をダウンロードしたPCを事務局で準備しますので、当日はマニュアル(市町村編)を持参してください。

## e. 施設基本情報

事前に貴市町村で収受した施設基本情報は、保存した平時読込CSVフォルダを使用仮想市町村アドレス宛、フォルダ事メール送信を1月20日までに送付してください。

訓練当時、使用パソコン内にダウンロードします。

## (訓練当日の活動)

マニュアル(市町村編18頁～24頁)に基づく活動を行います。

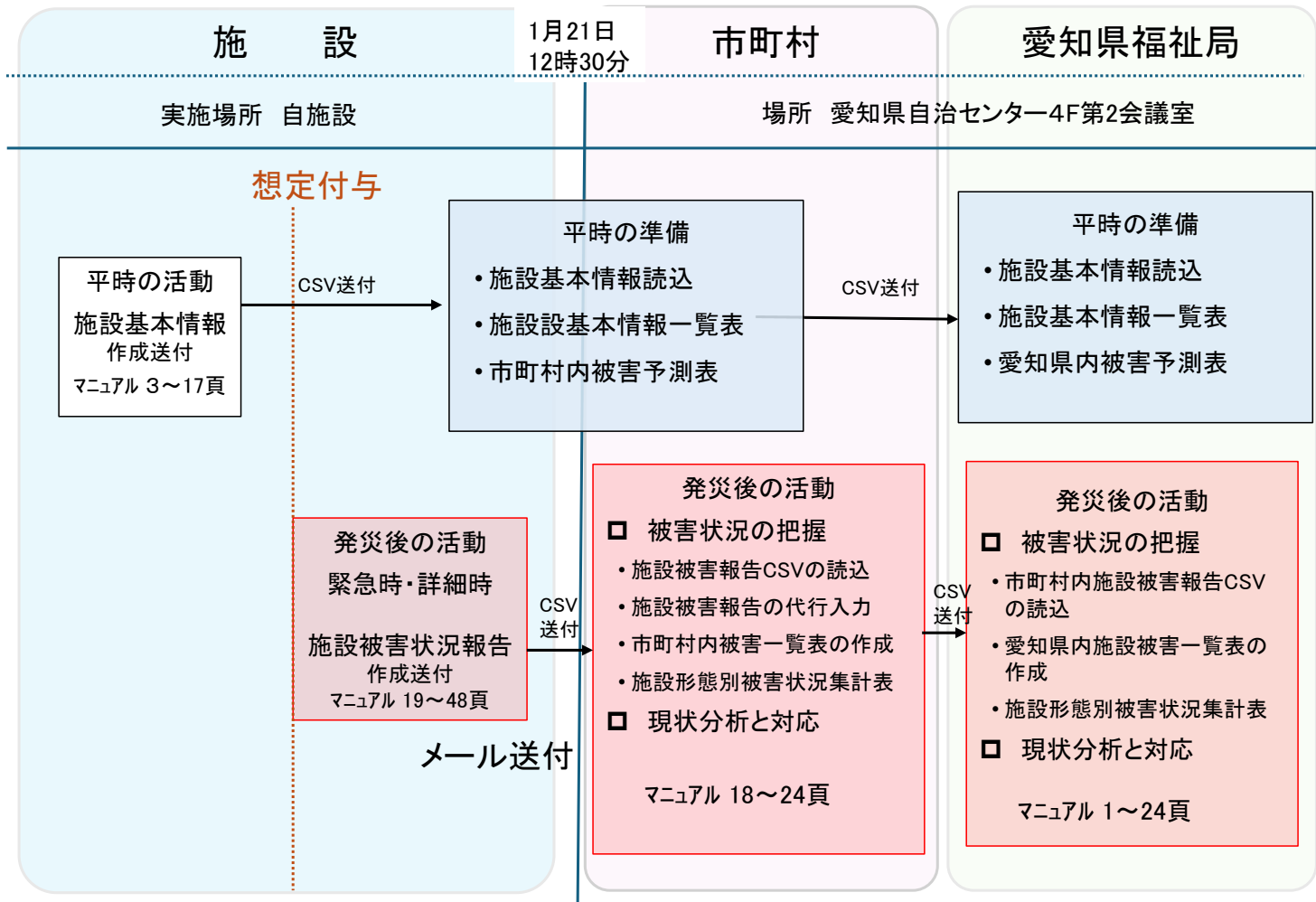
## a. 被害状況の把握

- 施設被害報告CSVの読込
- 施設被害報告の代行入力
- 市町村内被害一覧表の作成
- 施設形態別被害状況集計表

## b. 現状分析と対応

各市町村の施設形態別被害状況集計表をホワイトボードに転記し、8市町村合同で対応策を検討します。

# 図1 訓練時程と訓練項目



## 2 訓練想定

(時程)

令和8年1月20日9時00分 南海トラフ地震陸側強震動生成域でM9の地震発生

10時00分 大津波警報発令

10時30分 愛知県外海沿岸部に津波到達

11時00分 愛知県内海沿岸部に津波到達

(震源地)

太平洋(遠州灘)沖南海トラフ地震陸側強震動生成域

(最大震度)

震度7: 尾張西部、知多半島、西三河南部、東三河南部

震度6強: 名古屋市、尾張東部、西三河北部、

震度6弱: 尾張北部、名古屋市、尾張東部、西三河北部、東三河北部

(市町村別震度)

震度7、6強: 弥富市

震度6強: 名古屋市西部、津島市、愛西市、あま市、蟹江町、大治町、飛島村

震度6弱: 名古屋市東部

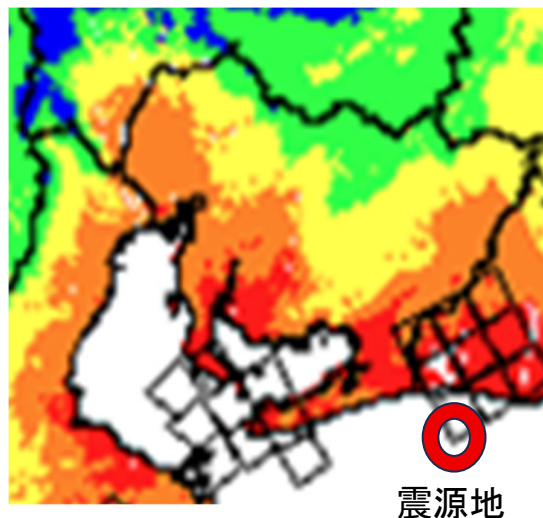
(ライフライン) 1月21日11時現在

電気: 愛知県全域停電、復旧の見込みたらず

水道: 愛知県全域停電、復旧の見込みたらず

道路: 愛知県内高速道路 21日12時に指定車両のみ通行可

国道・一般道: 愛知県西部: 三河沿岸部は復旧の見込みたらず、他地域は23日頃主幹線道路のみ指定車両通行可  
インターネット: 愛知県西部、三河沿岸部で断絶



# 表1 訓練使用アドレス

アドレス名	アドレス
仮想名古屋市	<a href="mailto:city.nagoya@aichi-med-u.ac.jp">city.nagoya@aichi-med-u.ac.jp</a>
仮想津島市	<a href="mailto:city.tsushima@aichi-med-u.ac.jp">city.tsushima@aichi-med-u.ac.jp</a>
仮想愛西市	<a href="mailto:city.aisai@aichi-med-u.ac.jp">city.aisai@aichi-med-u.ac.jp</a>
仮想弥富市	<a href="mailto:city.yatomi@aichi-med-u.ac.jp">city.yatomi@aichi-med-u.ac.jp</a>
仮想あま市	<a href="mailto:city.ama@aichi-med-u.ac.jp">city.ama@aichi-med-u.ac.jp</a>
仮想大治町	<a href="mailto:town.oharu@aichi-med-u.ac.jp">town.oharu@aichi-med-u.ac.jp</a>
仮想蟹江町	<a href="mailto:town.kanie@aichi-med-u.ac.jp">town.kanie@aichi-med-u.ac.jp</a>
仮想飛島村	<a href="mailto:vill.tobishima@aichi-med-u.ac.jp">vill.tobishima@aichi-med-u.ac.jp</a>
愛知県福祉局	<a href="mailto:fukushi-somu@pref.aichi.lg.jp">fukushi-somu@pref.aichi.lg.jp</a>

## 図3 訓練会場(自治センター)レイアウト

自治センター4F 第2会議室 訓練当日レイアウト変更の可能性もあります。

